

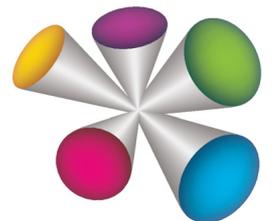


# intuos<sup>®</sup>.4



## ユーザーズガイド for Windows<sup>®</sup> / Macintosh<sup>®</sup>

- ペンを使う
- ペンのカスタマイズ
- トラブルシューティング
- タブレットを使う
- タブレットのカスタマイズ
- デジタルインク
- マウスを使う
- マウスのカスタマイズ
- ラジアルメニューの使い方と設定
- 特定のアプリケーションに対する設定



#### 製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから1年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

#### 電波障害自主規制等について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

#### 商標について

Wacom、Intuos は、株式会社ワコムの登録商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Reader、Photoshop は、アドビシステムズ社の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Apple、Apple ロゴ、Macintosh は、米国およびその他の国で登録されたアップルコンピュータ社の登録商標です。

Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。

#### 著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、及び本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

Intuos<sup>®</sup> 4 ユーザーズガイド for Windows<sup>®</sup>/Macintosh<sup>®</sup>

© 2008 Wacom Co., Ltd. All rights reserved.

上記の年は、このマニュアルが作成された年を示しています。

しかしながら、マニュアルがユーザーに公開される日は、該当するワコム製品が市場に導入される時と同時です。

## 目次

本書について	5	タブレットを画面にマッピングする	36
本書の使い方	6	タブレットの向き	38
<b>Intuos4 を使う</b>	7	表示エリア	38
タブレットの機能	8	縦横比を保持	39
ペン、マウス、ペンスタンド	10	タブレット操作エリア	40
姿勢と作業環境を整える	11	マルチディスプレイへのマッピング	41
グリップペンを使う	12	ボタン機能	42
ペンの持ち方	12	ラジアルメニューの使い方と設定	47
ポインタの移動	13	マッピング画面切り替えを使う	48
クリック	14	複数デバイスでの作業	50
ドラッグ	14	特定のアプリケーションに対する設定	51
サイドスイッチを使う	15	特定のアプリケーションに対する設定を	
筆圧を使って描画する	16	作成する	52
傾きを使って描画する	16	特定のアプリケーションに対する設定を	
消しゴム	17	変更する	53
画面を見ながらペンを使う	17	特定のアプリケーションに対する設定を	
マウスを使う	18	削除する	53
タブレットを使う	19	トラブルシューティング	54
タブレットの向きを設定する	20	タブレットのテスト	55
USB 接続ケーブルの接続	20	入力デバイスのテスト	56
タブレットの操作エリアについて	21	ペンのテスト	57
ファンクションキーを使う	22	タッチホイールのテスト	58
タッチホイールを使う	23	ファンクションキーのテスト	58
コントロールパネルの使い方	24	マウスのテスト	59
コントロールパネルを開く	24	トラブルシューティング情報	60
コントロールパネル概要	25	一般の問題	60
コントロールパネルの設定	26	Windows の問題	64
ペンのカスタマイズ	27	Macintosh の問題	65
ペン先の感触とダブルクリックの調整	28	テクニカルサポート	66
消しゴムの感触を調整する	29	ドライバのダウンロード	67
ペン先と消しゴムの詳細な設定	29	付録	68
サイドスイッチのカスタマイズ	30	タブレットと入力デバイスのお手入れ	68
傾きのカスタマイズ	31	芯を交換する	69
マウスのカスタマイズ	31	タブレットドライバのアンインストール	70
マウスボタンのカスタマイズ	32	タブレットモードの変更	71
タブレット機能のカスタマイズ	33	複数タブレットの設置	71
ファンクションキーのカスタマイズ	34	オプション設定	72
タッチホイールのカスタマイズ	35	ファンクションディスプレイの最適化	73
		タブレットコントロールができる処理が	
		組み込まれたアプリケーションを使う	73





エアブラシとアートペンを使う	74
Intuos4 レンズカーソル	75
レンズカーソルのカスタマイズ	76
レンズカーソルの診断	76
AutoCAD での作業	77
Wintab と互換性のあるデジタイザに対する AutoCAD の設定	77
AutoCAD におけるタブレットメニューとスクリーンポインティングエリアの設定	78
AutoCAD での Intuos4 の位置調整	79
Windows Vista でのペンおよびデジタルインク入力機能	80
Windows Vista Tablet PC 入力パネルについて	81
製品仕様	82
Intuos4 タブレット共通の仕様	82
Intuos4 S (PTK-440) タブレット	82
Intuos4 M (PTK-640) タブレット	82
Intuos4 L (PTK-840) タブレット	83
Intuos4 XL (PTK-1240) タブレット	83
Intuos4 グリップペン (KP-501E)	83
Intuos4 エアブラシ (KP-400E)	83
Intuos4 インクペン (KP-130)	83
Intuos4 アートペン (KP-701E)	84
Intuos4 クラシックペン (KP-300E)	84
Intuos4 マウス (KC-100)	84
Intuos4 レンズカーソル (KC-210)	84
製品情報	84
部品と付属品の注文	85
利用可能な部品と付属品	85
安全上のご注意	87
警告	87
注意	87
用語	89
索引	92





## 本書について

本書は、Intuos4 に関する情報を即座に入手することができます。本書に記載される情報は、Windows と Macintosh コンピュータに共通するもので、特に指定のない限り、Windows の画面を使用しています。

- [目次](#)または[索引](#)の項目をクリックすると、目次や索引のページへ移動します。
- [Intuos4 を使う](#)では、Intuos4 の使い方を習得します。Intuos4 タブレットの多くの機能が紹介されています。タブレットのさまざまな機能、各 Intuos4 入力デバイスの特徴と機能を説明しています。初めて利用する方たちには、Intuos4 の使い方の練習になります。
- [コントロールパネルの使い方](#)では、コントロールパネルの変更方法を説明しています。使いやすいように、Intuos4 タブレットと入力デバイスを設定します。
- [トラブルシューティング](#)では、タブレットと入力デバイスのテストおよびトラブルシューティングの情報が記載されています。[トラブルシューティング情報](#)で、多くの共通した質問に対する答えが見つかります。
- [付録](#)には、タブレットとそのほかの機器のお手入れについて、ソフトウェアのアンインストール方法、ライセンスなどさまざまな情報が掲載されています。AutoCAD で作業するとき役立つ情報や Windows Vista でみられる新しいペンと[デジタルインク機能](#)の概要が掲載されています。

**補足：** 本書では、タブレットのインストールに関する情報は、記載しておりません。ワコムタブレットのインストールについては、製品に付属する「クイックスタートガイド」、およびドライバ CD にある自動ソフトウェアインストーラを参照してください。

電子マニュアルを初めて利用する場合、[本書の使い方](#)を読んで確認してください。

- 「」で囲まれた文字は、ダイアログボックス、コントロールパネル等のオプションの名前を特定するのに使用しています。
- 表示画面のマニュアルのサイズを大きくするには、ビューアのズームインツールを使用してください。
- 特定のコンピュータハードウェア、オペレーティングシステム、アプリケーションソフトウェアに関する情報は、この製品には含まれておりません。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、アプリケーションに付属するマニュアルをお読みください。
- 多くのアプリケーションには、Intuos4 機能（筆圧、傾き、消しゴム機能など）へのサポートが組み込まれています。アプリケーションで、Intuos4 の機能を最大限に活用する方法については、アプリケーションについてのマニュアルの説明をご覧ください。[製品情報](#)もまたご覧ください。

タブレットドライバおよび本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。



## 本書の使い方

次のボタンやテキストをクリックして、ページを移動させます。



表紙へ移動します。

目次

目次のはじめへ移動します。

索引

索引のはじめへ移動します。



見た順に表示を戻ります。



ページ番号順に戻ったり、進んだりします。

[トピック](#)

トピックへ移動します。



次のトピックへ進みます。

Adobe Reader により、マニュアルの使用および印刷のためのツールが提供されます。使い方については、Adobe Reader のヘルプをご覧ください。

## Intuos4 を使う

このセクションで、Intuos4 ペンタブレットを紹介します。Intuos4 は、作業エリアとして使用するタブレットとタブレット上で使用する[ペンやマウス](#)で構成されています。次のセクションを読んで、Intuos4 入力デバイスおよびタブレットの使い方を習得してください。

[タブレットの機能](#)

[ペン、マウス、ペンスタンド](#)

[姿勢と作業環境を整える](#)

[グリップペンを使う](#)

[マウスを使う](#)

[タブレットを使う](#)

## タブレットの機能

### ステータスランプ

LED は、電源がオンになるとほんのり明るくなります。ペンやマウスのスイッチを押すと白く光ります。タッチホイール機能を切り替えたとき、対応する LED は白く点灯します。

### タッチホイール

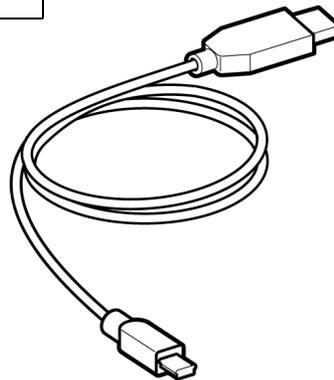
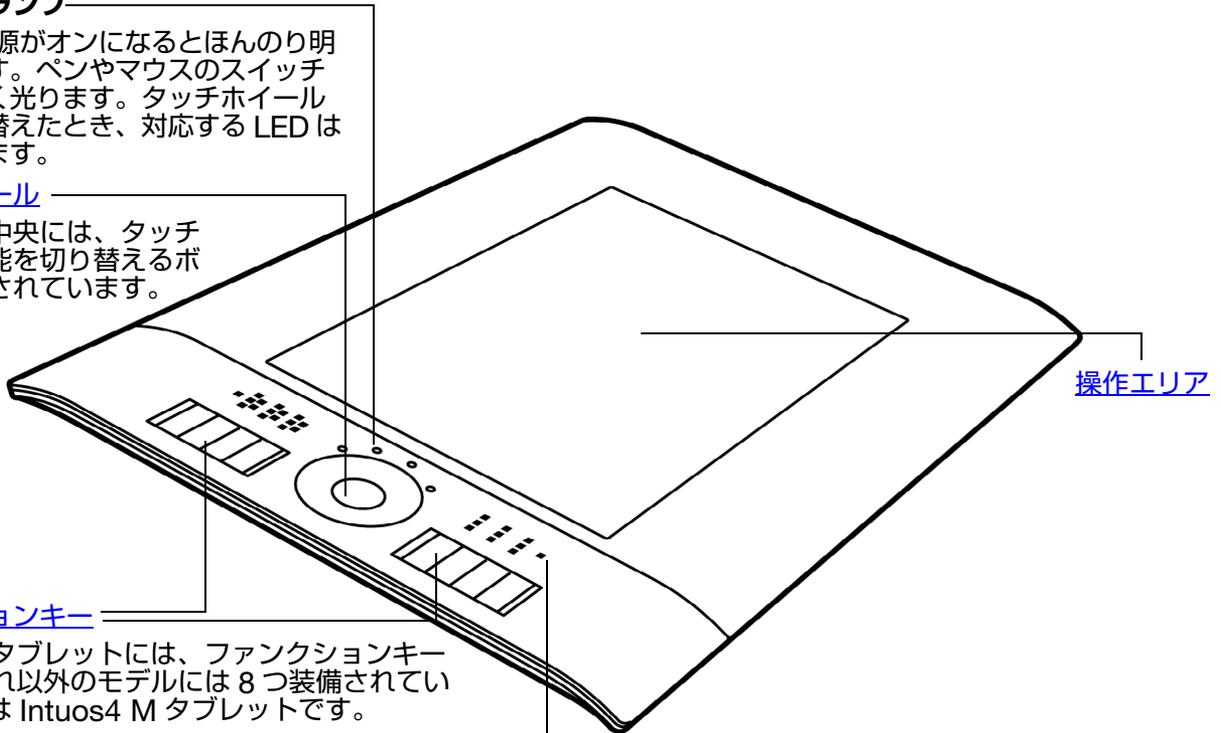
ホイールの中央には、タッチホイール機能を切り替えるボタンが装備されています。

### ファンクションキー

Intuos4 S タブレットには、ファンクションキーは 6 つ、それ以外のモデルには 8 つ装備されています。右図は Intuos4 M タブレットです。

### ファンクションディスプレイ

現在のファンクションキーの設定を表示します。  
Intuos4 S タブレットには、ファンクションディスプレイは装備されていません。



### USB 接続ケーブル

Intuos4 S/M/L タブレットについては取り外しが可能です。

Intuos4 S タブレットには 2 つのケーブルが付属しています。右利きまたは左利き用にタブレットを設定し、それに合わせてどちらかのケーブルを接続します。

Intuos4 XL タブレットのケーブルはタブレットに直付けになっています。

[USB 接続ケーブルの接続も](#)ご覧ください。



**USB ポート**

右利きの方がタブレットを設置したときに、コンピュータと接続しやすい位置にあります。Intuos4 M/L タブレットに装備されています。

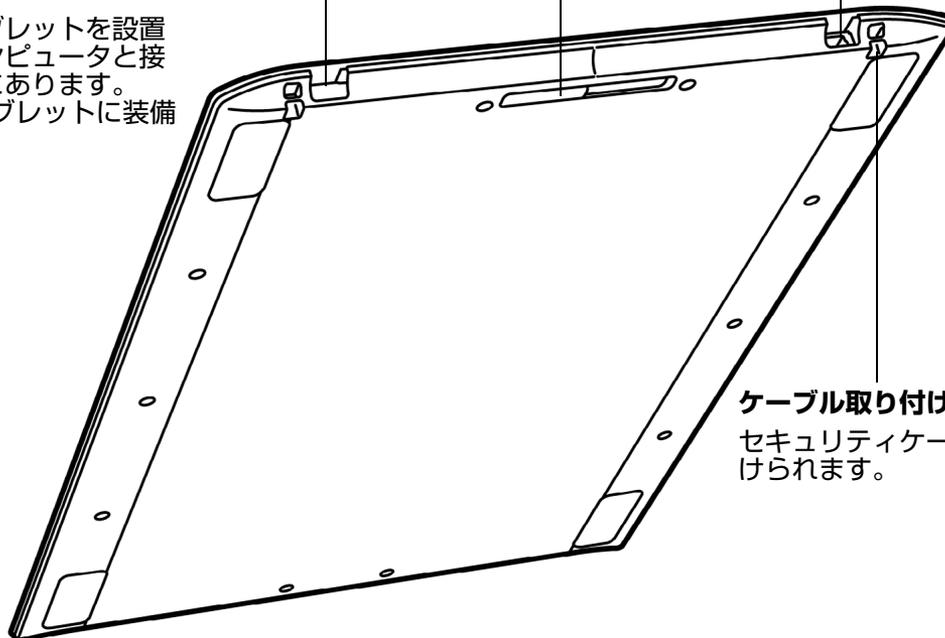
**USB ポートアクセススライダ**

スライダを動かしてカバーをスライドさせ、適切な USB ポートを選択します。[タブレットの向きを設定する](#)をご覧ください。

**重要：** Intuos4 S タブレットには USB ポートは1つだけ装備されています。アクセスカバーはありません。Intuos4 XL タブレットには USB 接続ケーブルは直付けになっています。着脱式ではありません。

**USB ポート**

左利きの方がタブレットを設置したときに、コンピュータと接続しやすい位置にあります。Intuos4 M/L タブレットに装備されています。



**ケーブル取り付け穴**

セキュリティケーブルなどを取り付けられます。

## ペン、マウス、ペンスタンド

Intuos4 入力デバイスにはコードおよび電池がありません。各デバイスにはそれぞれ固有の [デバイス ID](#) が書き込まれています。デバイス ID により、ペンなどを個別にカスタマイズすることができ、複数のペンやマウスをそれぞれ別の設定で使用することができます。

[テールスイッチ](#)

(消しゴム)

[ラバーグリップ](#)

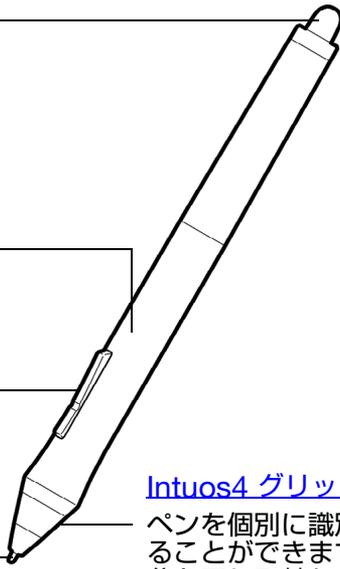
(交換可能)

[サイドスイッチ](#)

(取り外しできます)

[芯](#)

(交換可能)



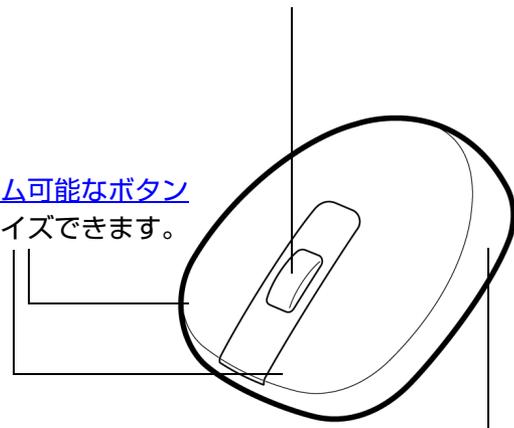
### Intuos4 グリップペン

ペンを個別に識別できるようにすることができます。ペンの先端部分を回して軸から外し、ラバーグリップとの間のリングを他の色のリングに取り替えることができます。Intuos4 グリップペンには、他の色のリングが同梱されています。

[ホイール](#)

[プログラム可能なボタン](#)

カスタマイズできます。



### Intuos4 マウス

補足：

- 製品構成によっては、マウスが同梱されている場合があります。
- Intuos4 XL タブレットには、製品構成によっては、[Intuos4 レンズカーソル](#) が同梱されている場合があります。

### ペンスタンド

ペンスタンドの下部を回して外し、芯抜きと交換用の芯を取り出すことができます。



[芯抜き](#)

[交換用の芯](#)

- 標準芯 (5 本、黒色)
- ハードフェルト芯 (3 本、グレー)
- エラストマー芯 (1 本、中心が白色、外縁が黒色)
- ストローク芯 (1 本、白色、バネ付き)

その他ペンやマウス、オプション品の情報については [部品と付属品の注文](#) をご覧ください。

## 姿勢と作業環境を整える

疲労が軽減するように、作業環境を整えて楽に作業できるようにしてください。タブレット、入力デバイス、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。目を疲れさせずに、楽に見ることができるような場所へディスプレイを置いてください。画面のポインタがタブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するようにタブレットを置いてください。



- 作業の合間に休憩をとり、筋肉を伸ばしたり、リラックスさせてください。
- ペンやマウスを持つときはなるべく力を抜いてください。
- 1日のうちで性質の異なる作業を入れ替えて行ってください。
- 不快感を伴う不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。
- 作業姿勢に不快感を感じたら、姿勢を変えてください。

右手でお使いになる場合、タブレットの操作エリアがファンクションキーの右側にくるようにタブレットを置きます。左手でお使いになる場合、タブレットの操作エリアがファンクションキーの左側にくるようにタブレットを置きます。詳細については、[タブレットの向きを設定する](#)をご覧ください。

**補足：**Intuos4 が原因と思われる反復性ストレスの徴候、障害、あるいは症状についての治療や予防の説明、約束、保証はいたしかねます。必ず医師の診断を受け、適切な処置をとるようにしてください。

## グリップペンを使う

ペンの基本的な使い方は、ポインタの移動、クリック、ダブルクリック、ドラッグの4つです。ペンを使うことに慣れない場合は、次のページからの練習を行ってください。

[ペンの持ち方](#)

[ポインタの移動](#)

[クリック](#)

[ドラッグ](#)

[サイドスイッチを使う](#)

[筆圧を使って描画する](#)

[傾きを使って描画する](#)

[消しゴム](#)

[画面を見ながらペンを使う](#)

## ペンの持ち方

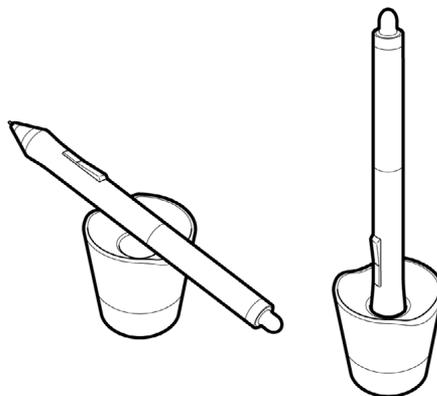
鉛筆やボールペンと同じようにお持ちください。サイドスイッチが、親指、または人差し指でスイッチを押せるような位置にあることを確認してください。誤ってサイドスイッチを押さないようにしてください。描きやすさを感じる方向にペンを傾けてください。



タブレットからすぐ手の届くところにペンスタンドを置いてください。ペンスタンドには、ペンを立てるか横にして置いておくことができます。

**重要:** Intuos4 ペンを使用しない場合、ペンスタンドに置くか、または机の上にペンを横にして置いてください。ペン先や消しゴムが押されてしまうような入れ物でペンを保管しないでください。ペン先や消しゴムが押された状態でペンを収納すると、故障する場合があります。

Intuos4 入力デバイスをタブレット上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使用する際、画面のポインタの位置決めができなくなる場合があります。ペンを使わない場合、タブレットの上に置いたままにすると、コンピュータの節電モードの妨げにもなります。

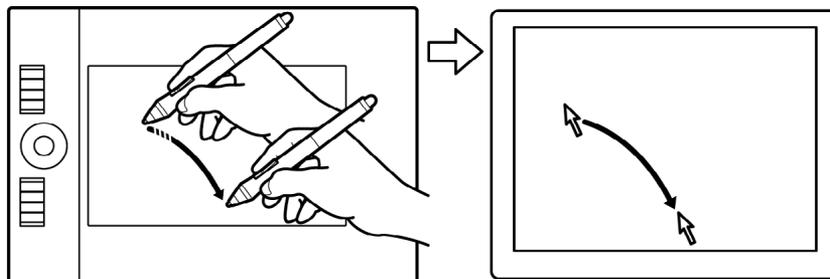


## ポインタの移動

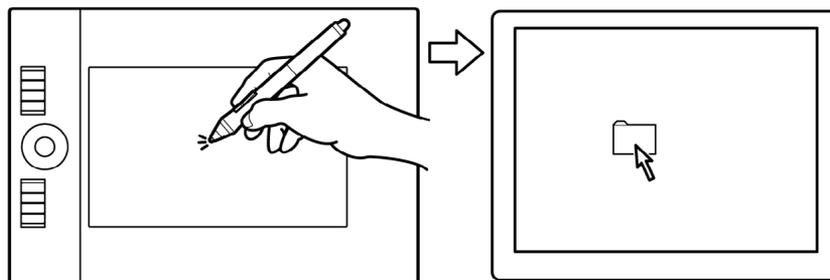
画面にポインタ（またはカーソル）を置きます。

ペンを少し持ち上げてポインタを移動させ、新しい場所へペン先を置きます。ポインタが新しい場所へジャンプします。

[タブレットの操作エリアについて](#)をご覧ください。



デスクトップ上のアイコンやフォルダを選択するには、ペンでポインタを操作してオブジェクトの上に置き、そのまま押します。

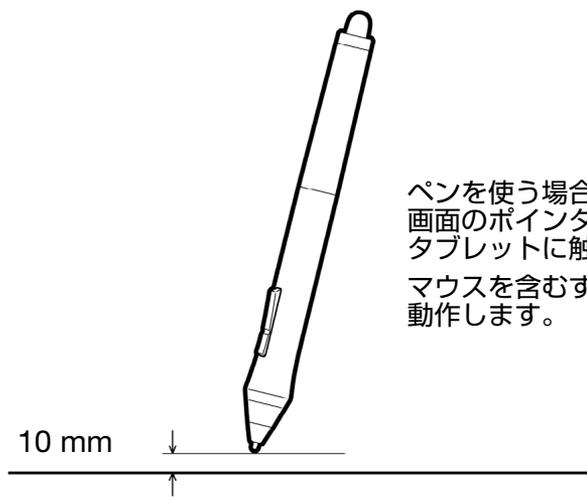


### ヒント:

- ペンによる操作に少し違和感を感じる場合、[画面を見ながらペンを使う](#)を参照してください。
- 画面のポインタが、タブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するようにタブレットを置くと、ポインタを簡単に操作できるようになります。

画面のポインタは、絶対位置 ([ペンモード](#)) または相対位置 ([マウスモード](#)) のどちらかで配置できます。

- ペンモードでは、タブレットの操作エリアは、コンピュータ画面に割り当てた表示部と一致します。タブレットの操作エリアで指定する点は、ディスプレイ画面上の1点に正確に対応します。タブレットにペンを置くと、画面のポインタは画面上の対応する点にジャンプします。これはペンの標準設定です。
- マウスモードでは、通常のマウスのように、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。



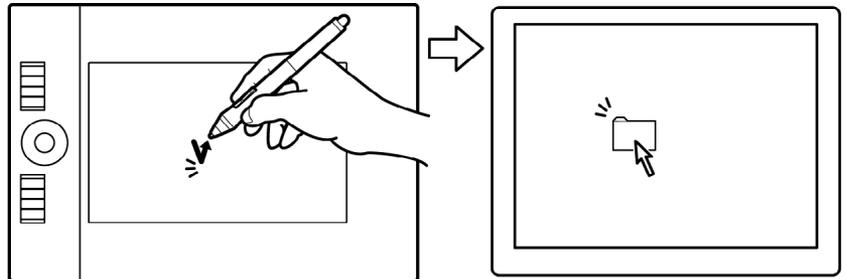
ペンを使う場合、ペン先をタブレット面から 10mm 以内に近づけます。画面のポインタを移動させたり、サイドスイッチを使用するのにペン先でタブレットに触れる必要はありません。

マウスを含むすべてのIntuos4入力デバイスはタブレットの操作面でのみ動作します。

## クリック

画面上にあるものをハイライトさせたり、または選択したりする場合、クリックします。開くにはダブルクリックします。

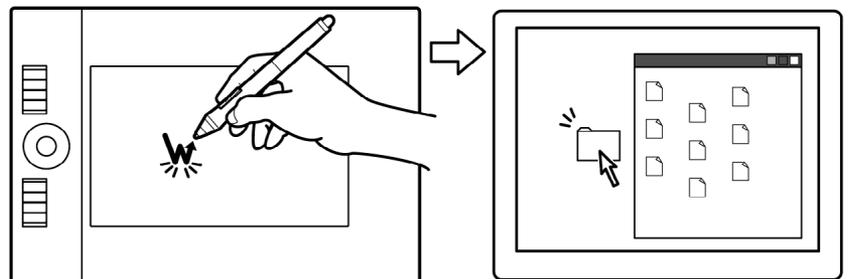
**クリック：**クリックするには、タブレットを1度ペン先で軽くたたきます。または、強めにタブレットにペン先を押し当てます（ペン先のクリック音は聞こえません）。フォルダアイコン上に画面のポインタを移動させ、ペン先を押してアイコンをクリックしてみてください。フォルダアイコンを押すと、ハイライトされます。



**ヒント：**ポインタをアイコンの上に置き、シングルクリックによるアイコンの起動を選択するように Windows を設定できます。この操作に切り替えるには、初めにフォルダを開きます。

- Windows Vista の場合：「整理」プルダウンメニューから、「フォルダオプション」を選択します。「全般」タブで、「シングルクリックで開く」を選択します。
- Windows XP の場合：任意のフォルダを開いて「整理」メニューを選択し、プルダウンメニューから「フォルダと検索のオプション」を選択します。「全般」タブの「クリック方法」から「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

**ダブルクリック：**ダブルクリックするには、ペン先で同じ場所を短く2回たたきます。マウスボタンで2回クリックするのと同じです。フォルダアイコンを開くには、ダブルクリックしてみてください。

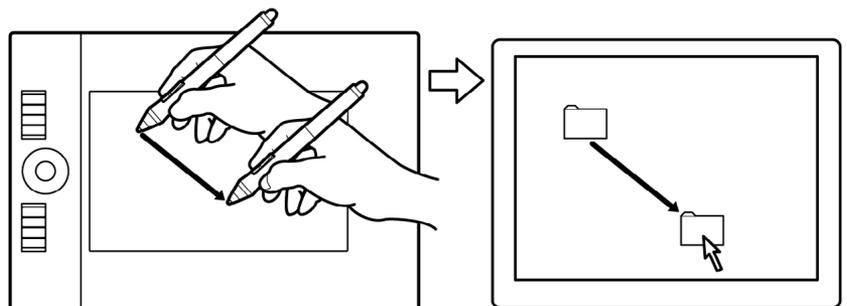


**ヒント：**[上側のサイドスイッチ](#)を押すと、ペン先で2回タブレットをたたくよりも簡単にダブルクリックすることができます。

## ドラッグ

ペンで画面上のオブジェクトをドラッグするには、オブジェクトを指定してから、ペン先をタブレットに押し当てます、次に、タブレット面の上を滑るように移動させます。選択したオブジェクトは、画面上を移動します。

テキストを選択するには、画面のポインタを行の開始位置に移動させます。次にタブレット上でペンをドラッグさせ、テキストをハイライトします。



## サイドスイッチを使う

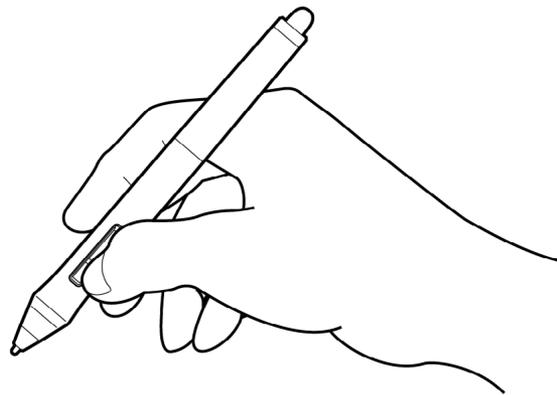
Intuos4 グリップペンにはサイドスイッチが装備されています。このスイッチには、2つのプログラム可能な機能があり、どちらのスイッチも押して操作します。

**補足：**ペン先がタブレットの操作面から高さ 10mm 以内にある場合に、サイドスイッチを使用することができます。ペン先がタブレットに触れていなくても、サイドスイッチは使用できます。

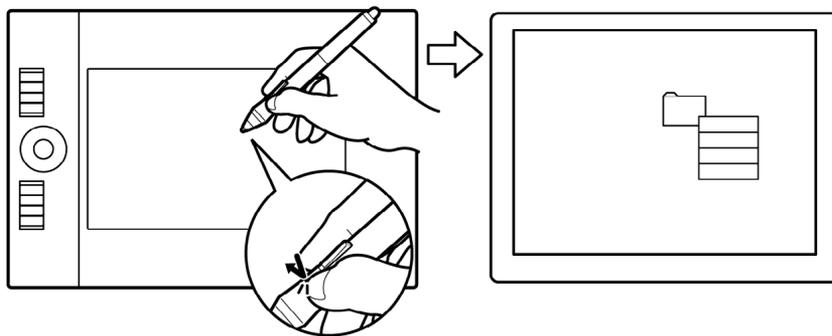
サイドスイッチの初期設定

サイドスイッチ	右ボタンクリック
セカンドサイド スイッチ	ダブルクリック

**ダブルクリック：**ダブルクリックするには、上側のサイドスイッチを押します。ペン先で2度、タブレットの面をたたくよりも簡単にダブルクリック操作を行うことができます。



**右クリック：**特定のアプリケーション、または特定のアイコンのメニューを表示させるには、右クリックを使います。



新しいスイッチ機能を割り当てるには、[サイドスイッチのカスタマイズ](#)をご覧ください。

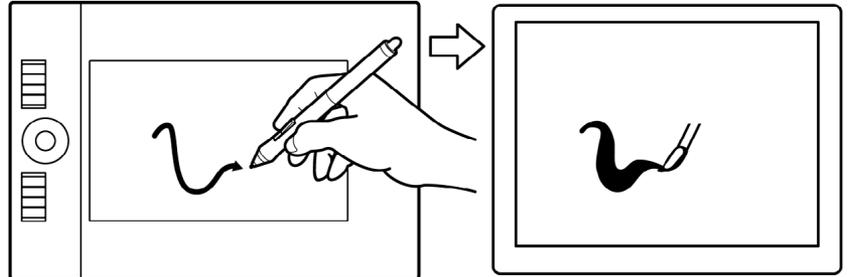
## 筆圧を使って描画する

Intuos4 ペンは手の動きに反応し、自然な感じのペンとブラシのストロークを作成します。ほとんどのグラフィックアプリケーションには描画機能が備わっています。筆圧対応のアプリケーションは、ペンに加えられた筆圧に反応します。Windows Vista と Office 2007 の [デジタルインク機能](#) も筆圧に反応します。

筆圧を利用して描画するには、最初にアプリケーションのツールパレットから筆圧ツールを選択します。次にペン先を下向きにして筆圧荷重をいろいろ変えながら、タブレット面に描画します。線を太くしたり、色を濃くするにはペンを強めに押します。線を細くしたり、色を薄くするにはペンを柔らかく押します。

ペン先の感触を調整するには、[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください。

筆圧をサポートするグラフィックアプリケーションについては、ワコムホームページをご覧ください。本書の [製品情報](#) もご覧ください。



## 傾きを使って描画する

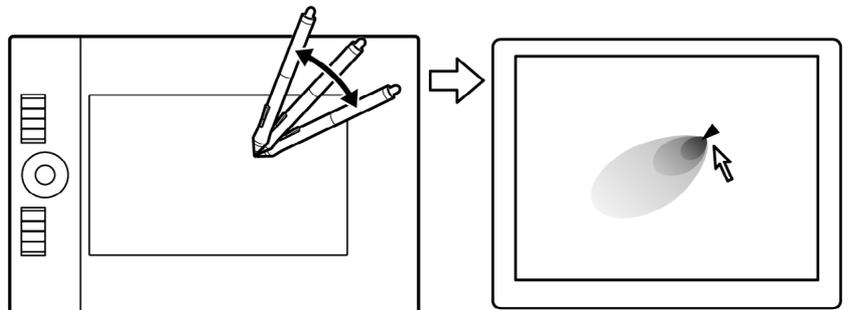
筆圧と同様に、タブレットは、垂直線を基準にペンの傾く角度を検出します。グラフィックアプリケーションのなかには、線の形や太さのコントロールに傾きが使用できるものがあります。これはエアブラシと同様で、ペンを傾けた場合は線が太くなり、ペンが垂直な状態にある場合は線が細くなります。アプリケーションによっては、傾きを調整して、太さ、色、不透明度のようなブラシの特性を定義することができます。

傾きをテストするには、傾きをサポートするPainterのようなグラフィックアプリケーションで曲線を描いてみてください。アプリケーションの傾き機能が有効であることを確認し、次にブラシで線を描きながらペンの傾きを変えて、線の形や太さが変わることを確認します。

例として、Photoshop のブラシの形を傾きに対応するように構成した場合、ペンを傾けることにより長く引き伸ばされたパターンが作成されます。これにより、塗面から角度をつけるエアブラシのスプレー効果をシミュレートすることができます。

アプリケーションで、必要な傾き効果をあらわすのにペンの傾き加減を調整するには、[傾きのカスタマイズ](#)をご覧ください。

傾きをサポートするアプリケーションについては、ワコムホームページをご覧ください。



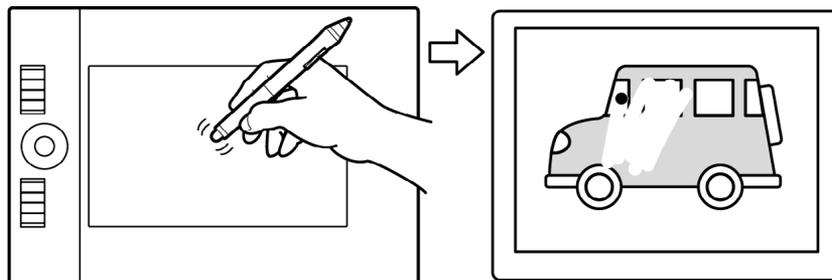
## 消しゴム

Intuos4 ペンの消しゴムは、鉛筆の消しゴムのように働きます。

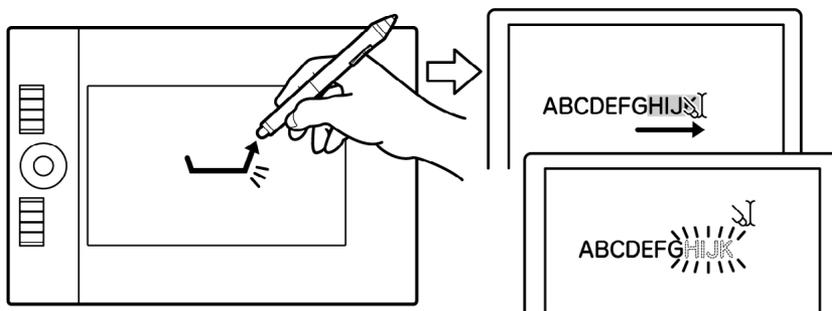
消しゴムをサポートするグラフィックアプリケーションで、直感的に消すことができます。ペンの消しゴムを使うと、自動的に消しゴムツールに切り替わります。

筆圧をサポートするアプリケーションで、ツールパレットから筆圧対応ツールを選択して、ペンで使用する筆圧の荷重を変えるように、消しゴムの縦と横の大きさを変化させることができます。

消しゴムの使用については、[消しゴムの感触を調整する](#)をご覧ください。



Windows Vista と Office 2007 で、[デジタルインク](#)によるメモやスケッチを削除する場合や、Office アプリケーションでのテキストや表計算セルを選択・削除する場合に、消しゴムが利用できます。

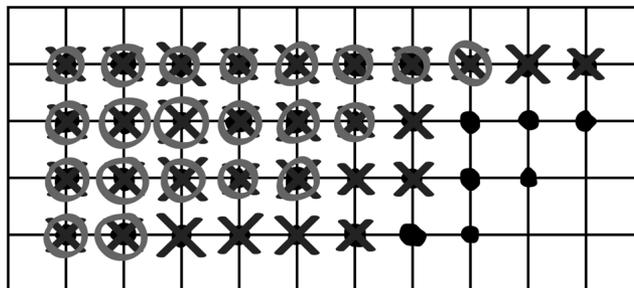


消しゴムをサポートするグラフィックアプリケーションのリストについては、ワコムのホームページをご覧ください。消しゴムがサポートされていないアプリケーションでも、ポインタを操作したり、絵を描いたりするのに消しゴムを使用することができます。

## 画面を見ながらペンを使う

この練習は、ペンを使用するために、目と手の連動に慣れるために作られています。

1. グラフィックアプリケーションを開きます。線ツールを使って2～2.5cmの間隔で格子を描きます。マウスを使ってもよいでしょう。
2. フリーハンドツールを選択して、格子の交点にペンで点を打ちます。
3. 格子の交点にペンでX印をつけます。
4. 最後に、格子の交点を○で囲んでください。下の図のようになります。

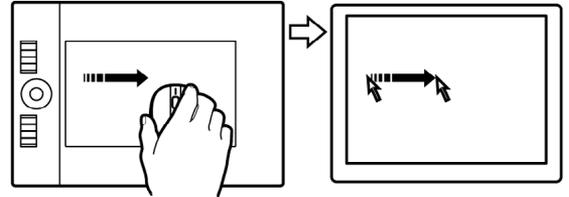


5. 今度は、画面をクリアして好きな絵を描いてみてください。ペンを使うほど、絵を描いたりポインタを操作することが楽しくなっていきます。

## マウスを使う

Intuos4 マウスはコードレスで、電池がありません。Intuos4 タブレット上で動作します。

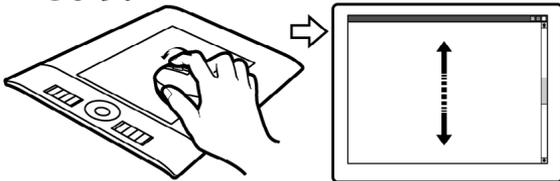
注意：製品構成によってはマウスが付属している場合があります。



### ホイール

ホイールは回転させたり、設定したボタン機能を実行するときには、押したりして使用します。

- 標準設定ではホイールを回転させると、ほとんどのウィンドウとアプリケーションでスクロール操作が設定されています。ホイールを奥へ回転させると、上方向にスクロールし、手前に引くと、下方向にスクロールします。



- ホイールを押すと、「中ボタンクリック」が実行されます。

**ヒント：**ホイールマウスをサポートする Office アプリケーションでは、[Ctrl] キーを押しながらホイールを回転させると、ズーム操作を実行することができます。

### 右ボタン

押すと、コンテキストメニューが表示されます。

### 左ボタン

標準設定で「クリック」が設定されています。オブジェクトの選択で使用します。

### マウスボタンの初期設定

左ボタン	「クリック」
右ボタン	「右ボタンクリック」
中ボタン	「中ボタンクリック」
奥	「進む」
手前	「戻る」

### 奥と手前のボタン

インターネットブラウザで、「進む」機能と「戻る」機能が設定されています。

**重要：**Intuos4 マウスを使用しないときは、机の上に置いてください。Intuos4 入力デバイスをタブレットの上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使うとき、ポインタの位置決めができなくなる場合があります。また、コンピュータの節電モードの妨げにもなります。

[マウスのカスタマイズ](#)もご覧ください。

## タブレットを使う

Intuos4 タブレットの中央部分が、ペンとマウスを使うことができる操作エリアです。タブレットの操作エリアにペンを置くと、ポインタは、画面上の対応点にジャンプします。使い方については、[グリップペンを使う](#)と[マウスを使う](#)参照してください。

下図は Intuos4 M タブレットです。

Intuos4 S タブレットでは、ファンクションキーは6つで、ファンクションディスプレイは装備されていません。

### 操作エリア

### ファンクションキー

ファンクションキーを押すことによって、よく使われる機能やキーストロークを実行したり、ボタンのクリックや修飾キーを実行できます。ファンクションキーはカスタマイズが可能です。

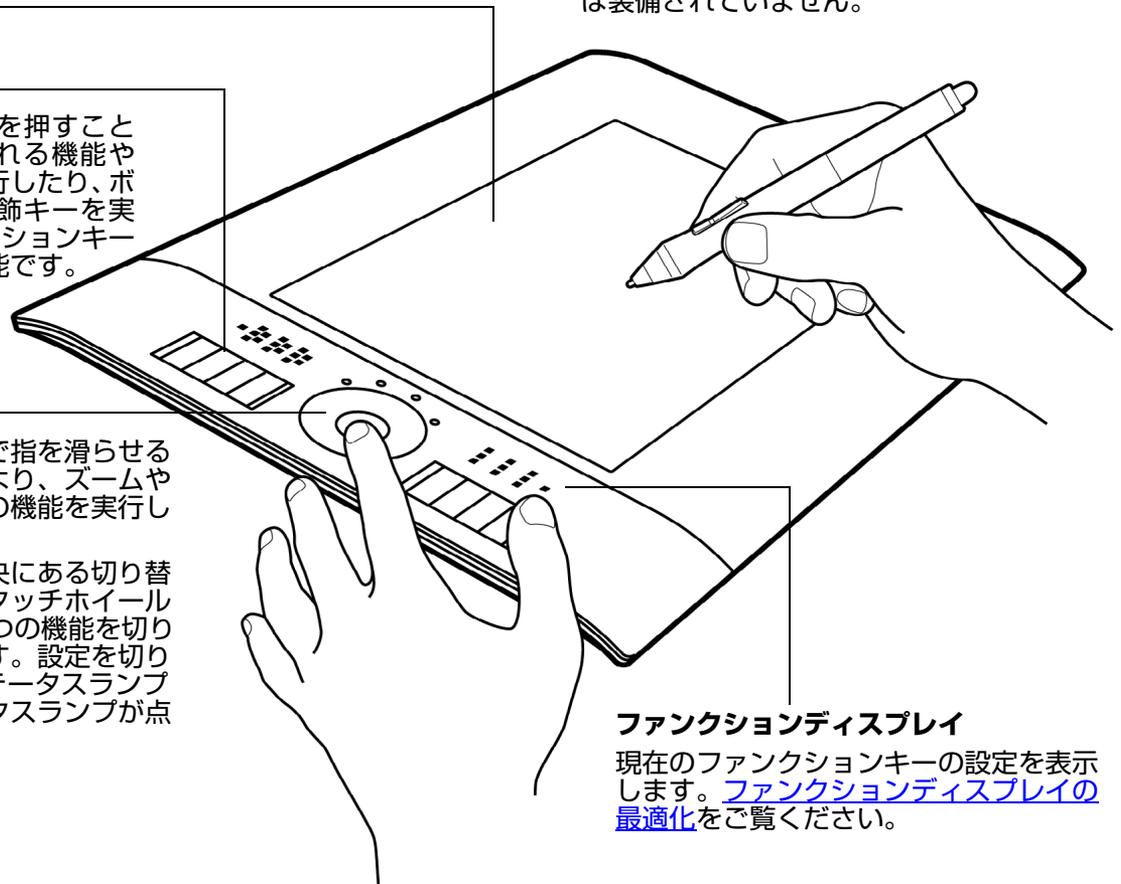
### タッチホイール

タッチホイールの上で指を滑らせるように動かすことにより、ズームやスクロール、その他の機能を実行します。

タッチホイールの中央にある切り替えボタンを押して、タッチホイールに割り当てられた4つの機能を切り替えることができます。設定を切り替えると、4つのステータスランプの内対応するステータスランプが点灯します。

### ファンクションディスプレイ

現在のファンクションキーの設定を表示します。[ファンクションディスプレイの最適化](#)をご覧ください。



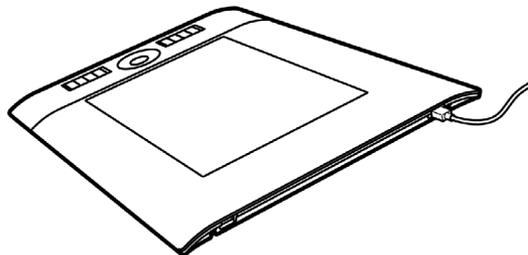
## タブレットの向きを設定する

ペンを持った利き手で操作中「ファンクションキー」を不意に押さないように、「ファンクションキー」を利き手と反対側に配置することをお勧めします。次のように、Intuos4 を右利き用または左利き用に設定します。

### タブレットを右利き用に設定する

ワコムタブレットコントロールパネルを開いて、「マッピング」タブを選択します。[「タブレットの向き」](#) オプションを「ファンクションキーを左側」に設定します。右利き用に自動的にタブレットの設定（ワコムタブレットのプロパティに含まれます）がタブレットドライバによって調整されます。

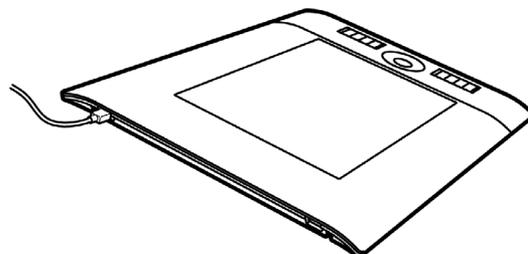
次に、タブレットを回転させて、タッチホイールが左側に配置されるようにします。[USB 接続ケーブルの接続](#)を再度行います。



### タブレットを左利き用に設定する

ワコムタブレットコントロールパネルを開いて、「マッピング」タブを選択します。[「タブレットの向き」](#) オプションを「ファンクションキーを右側」に設定します。左利き用に自動的にタブレットの設定（ワコムタブレットのプロパティに含まれます）が、タブレットドライバによって調整されます。

次に、タブレットを回転させて、タッチホイールが右側に配置されるようにします。[USB 接続ケーブルの接続](#)を再度行います。



**補足:** タブレットドライバ CD-ROM からタブレットドライバをインストールしたとき、標準設定としてのタブレットの向きを選択するように、メッセージが表示されます。ログインおよびユーザ切り替え画面においては、ドライバインストール時に選択されたタブレットの向きが使用されます。

いつでもタブレットの置き方を変更することができます。標準設定としてのタブレットの向きを変えたい場合、タブレットドライバ CD-ROM からドライバを再インストールしてください。

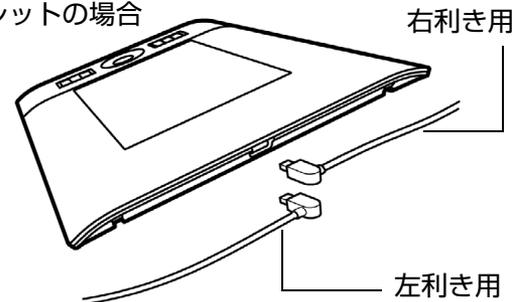
## USB 接続ケーブルの接続

タブレットの機種に応じて、操作に適切な [USB ポート](#) またはケーブルの接続を選択してください。

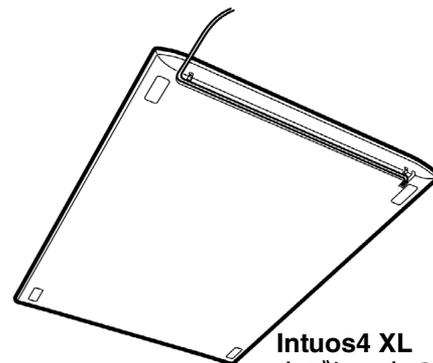
- Intuos4 M/L タブレットでは、USB ポートアクセスカバーをスライドさせて、両端にある USB ポートからいずれかを選択します。次に USB 接続ケーブルを接続します。
- Intuos4 S タブレットでは、右利き用または左利き用の USB 接続ケーブルのどちらかを選択し、タブレットの USB ポートに接続します。ケーブルのコネクタがタブレットの USB ポートに正しく接続するようにご注意ください。
- Intuos4 XL タブレットでは、タブレット裏面のケーブル配線溝に USB 接続ケーブルを通して、ケーブルの出る位置を変更することができます。

次に USB 接続ケーブルの片側をコンピュータに接続します。

Intuos4 S  
タブレットの場合



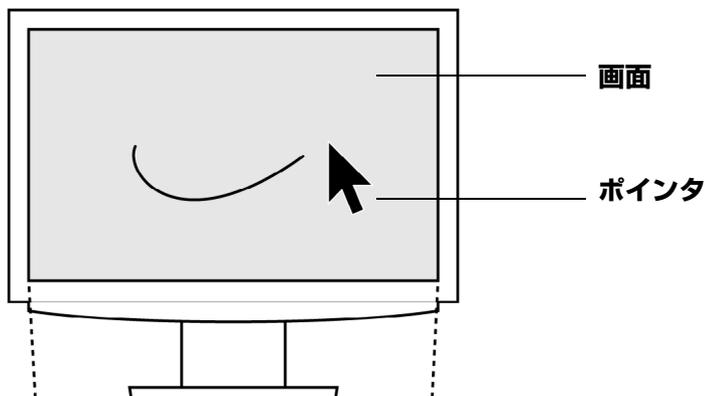
Intuos4 XL  
タブレットの場合



## タブレットの操作エリアについて

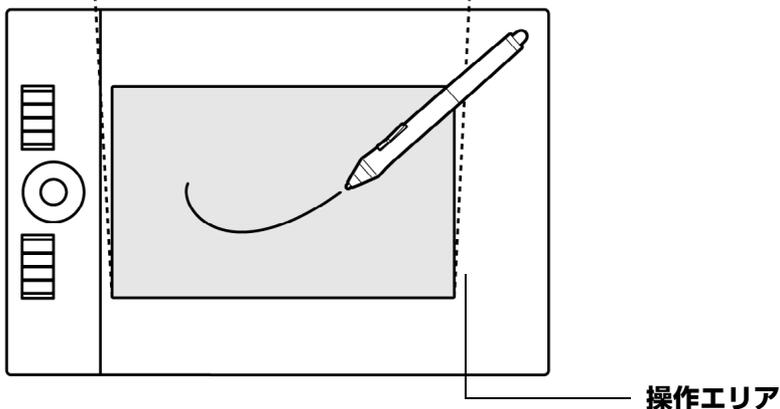
[操作エリア](#)は、ペンの動作を検知する操作面の領域です。

タブレットにペンを置くと、画面上のポインタは対応点にジャンプします。これはペンの標準設定です。



画面上のポインタはペンの位置を示します。ポインタはペンの動きに従います。

Intuos4 のペンやマウスは、タブレットの操作エリアでのみ動作します。



**補足：**タブレットの操作エリアは、コンピュータ画面に割り当てられた領域です。標準設定で、画面全体、またはディスプレイが複数ある場合はすべてのディスプレイが割り当てられています。タブレットとディスプレイのマッピングを設定するには、[タブレットを画面にマッピングする](#)をご覧ください。

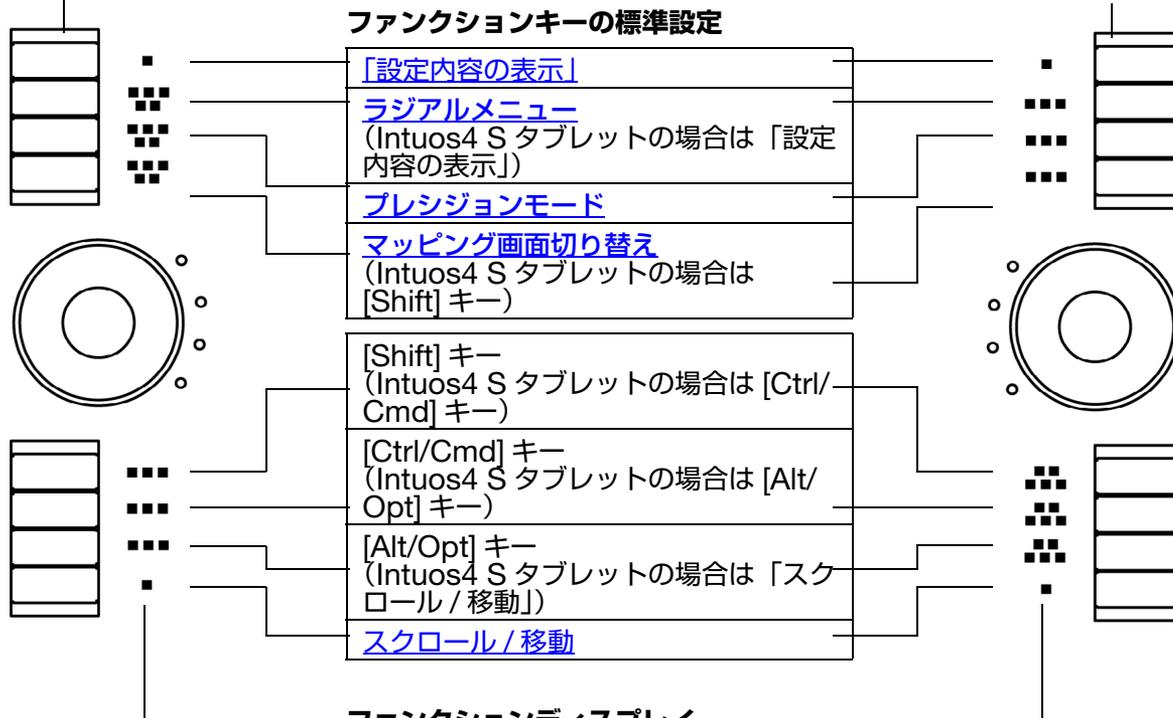
## ファンクションキーを使う

ファンクションキーは、単独で、または他のファンクションキーと組み合わせて使用できます。ファンクションキーは、Intuos4 の入力デバイスといっしょに使うこともできます。これによって、片方の手でペンを使いながら、もう片方の手でアプリケーションなどの機能の変更を行うことができます。

タブレットの左側にファンクションキーが配置された場合  
(ファンクションキー左側)

タブレットの右側にファンクションキーが配置された場合  
(ファンクションキー右側)

### ファンクションキーの標準設定

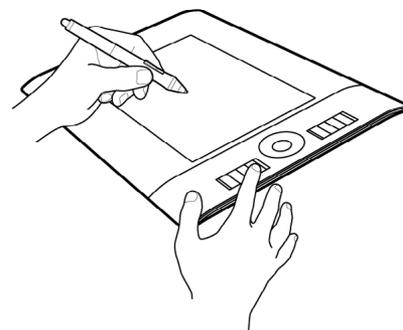
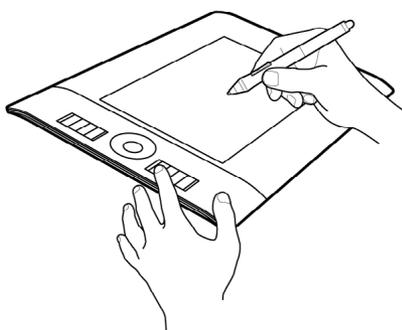


### ファンクションディスプレイ

自動的に更新され、実行中のアプリケーションにおけるファンクションキーの設定が表示されます。ファンクションキーが無効の場合、そのキーに対しては何も表示されません。[ファンクションディスプレイの最適化](#)もまたご覧ください。

ファンクションキーの設定を変更するには、[ファンクションキーのカスタマイズ](#)をご覧ください。

補足：Intuos4 S タブレットにはファンクションキーは 6 つ装備されています。ファンクションディスプレイは装備されていません。



**重要：**アプリケーションによっては、ファンクション機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたアプリケーションを使う](#)をご覧ください。

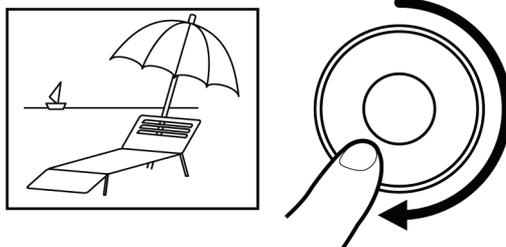
**ヒント：**Adobe Photoshop や他の多くのグラフィックスアプリケーションでは、キーが押されている間は、ALT、CTRL、SHIFT キーはツール（または補助ツールへの切り替え）の変更に使われます。

## タッチホイールを使う

タッチホイールを使って、表示中の文書や画像をスクロールしたり、拡大縮小したりすることができます。または、割り当てられたキーストロック機能を実行することもできます。

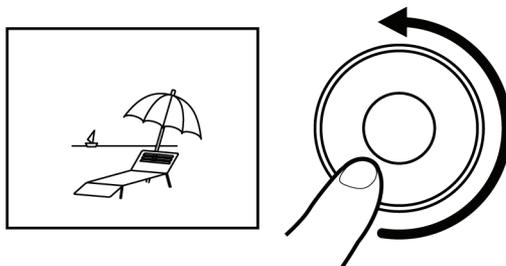
### 拡大の例

円に沿うように指を時計回りに動かすと、多くのアプリケーションでは拡大、または下方方向へスクロールします。



### 縮小の例

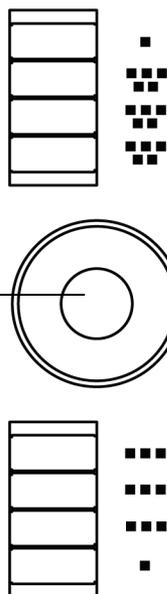
指を反時計回りに動かすと、縮小するか上方方向へスクロールします。



### タッチホイールの標準設定

切り替えボタンを押すと、タッチホイールの機能が切り替わります。

機能が切り替わると、対応するステータスランプが明るくなります。機能が設定されていない場合は、順番が飛ばされます。



#### 設定 1: 「オートスクロール / ズーム」

多くのグラフィックアプリケーションでズーム機能に、他のアプリケーションではスクロール機能に設定されます。

ページ単位のスクロールには、対応していません。

**補足:** アプリケーションのなかには、ズーム機能がスクロール機能とみなされスクロール機能が働いたり、あるいはまったく働かない場合があります。同様に、スクロール機能がズーム機能とみなされたり、まったく働かない場合もあります。

#### 設定 2: 「キーストロック、レイヤー切り替え」

Adobe Photoshopで、ファイルに複数のレイヤーがある場合、レイヤーウィンドウのレイヤーを上方または下方方向に切り替えることができます。円に沿って時計回りになぞると、上方方向のレイヤーへと切り替わります。

#### 設定 3: 「キーストロック、ブラシサイズ」

Adobe Photoshopで、ブラシのサイズを大きくしたり小さくできるようにします。

#### 設定 4: 「キーストロック、キャンバスの回転」

Adobe Photoshopで、画像全体を回転させたり反転させることができます (Adobe Photoshop CS4 またはそれ以降対応)。

タッチホイールの設定を変更するには、[タッチホイールのカスタマイズ](#)をご覧ください。

**重要:** アプリケーションによっては、タッチホイール機能が操作できなったり制限されたりします。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたアプリケーションを使う](#)をご覧ください。

## コントロールパネルの使い方

タブレットの基本的な使い方を習得したら、Intuos4 での作業方法をカスタマイズします。この章では、コントロールパネルの使い方を説明します。

上級ユーザは[特定のアプリケーションに対する設定](#)を作成することにより、Intuos4 の最適な使い方を習得することができます。

[コントロールパネルを開く](#)

[コントロールパネル概要](#)

[コントロールパネルの設定](#)

[ラジアルメニューの使い方と設定](#)

[マッピング画面切り替えを使う](#)

[複数デバイスでの作業](#)

[特定のアプリケーションに対する設定](#)

### コントロールパネルを開く

タブレットをカスタマイズする Intuos4 のペンやマウスを使用して、コントロールパネルを開きます。

- **Windows** : Windows の「スタート」ボタンをクリックして、「すべてのプログラム」を選択します。次に「ワコム タブレット」→「ワコムタブレットのプロパティ」を選択します。
- **Macintosh** : 「Finder」の「アップル」メニューあるいは「アプリケーション」フォルダから「システム環境設定」を開きます。「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。コントロールパネルを開いて、Intuos4 のカスタマイズを始めます。

コントロールパネルを開いて、Intuos4 をカスタマイズします。

**補足** : ユーザごとの設定がサポートされています。ログインしたあと、各ユーザはワコムタブレットコントロールパネルに個人の設定を行うことができます。別のユーザに切り替えると、自動的にそのユーザの設定が読み込まれます。

## コントロールパネル概要

コントロールパネルを使用して、Intuos4 をカスタマイズすることができます。

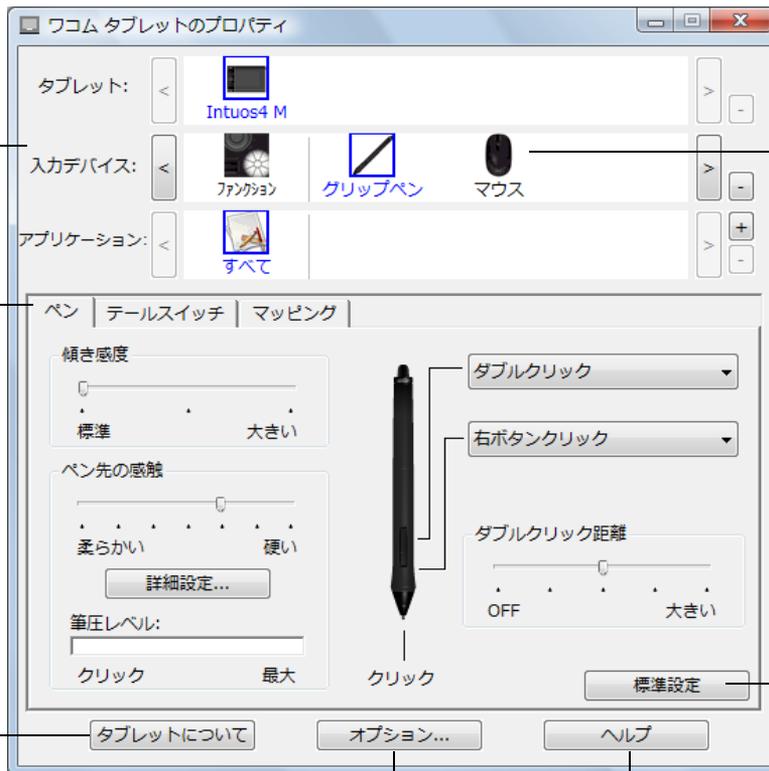
コントロールパネルの上方には、「タブレット」、「入力デバイス」、「アプリケーション」を表すアイコンが表示されます。

タブには、選択したペンやマウスに対してカスタマイズが可能な設定が表示されます。

[コントロールパネルの設定](#)をご覧ください。

タブレットとソフトウェアの情報を表示します。「診断」ダイアログボックスにアクセスできます。

[オプション設定](#) ダイアログを表示します。



ファンクションキー、タッチホイール、[ラジアルメニュー](#)の設定をカスタマイズするには「ファンクション」を選択します。

Intuos4 ペンの設定をカスタマイズするには「ペン」を選択します。

Intuos4 マウスの設定をカスタマイズするには「マウス」を選択します。

タブの設定を標準設定の状態に戻します。

「電子マニュアル」を表示します。

いろいろと設定を試してください。変更はすぐに反映されます。標準設定の状態にタブを戻すには「標準設定」をクリックします。

ヒントはほとんどのコントロールパネルの項目の上に表示されます。項目の上に画面のポインタを置いて静止させておくだけで、ヒントがすぐにポップアップします。

さらに、キーボードのタブと矢印キーでコントロールパネルを操作できます。



**コントロールパネルリストとタブ：**コントロールパネルの「タブレット」、「入力デバイス」、「アプリケーション」リストから、目的のタブレット、入力デバイス、アプリケーションを選択して設定を変更します。デバイスの設定を変更するには、ペンやマウスを使ってコントロールパネルを開きます。デバイスが自動的に「入力デバイス」リストに選択され、適切なタブが表示されます。別のデバイスに対する設定をカスタマイズするには、「入力デバイス」リストからアイコンをクリックして選択します。（適切なタブが表示されます。）詳細については[ペンのカスタマイズ](#)、[マウスのカスタマイズ](#)、[タブレット機能のカスタマイズ](#)をご覧ください。

「タブレット」リストには、システムにインストールされていて、サポートされたタブレットのアイコンが表示されます。このリストの下に表示される設定はすべて、選択したタブレットに適用されます。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」とタブレットに使用される各 Intuos4 デバイスのアイコンが表示されます。

**補足：**新しいデバイスが、初めてタブレットで使用されると、自動的に「入力デバイス」リストに追加され、標準設定の状態で作動します。[複数デバイスでの作業](#)もご覧ください。

「アプリケーション」リストによって、特定のアプリケーションに対してのみ適用するペンやマウスの設定を定義できます。[特定のアプリケーションに対する設定](#)をご覧ください。

[複数タブレットの設置とタブレットモードの変更](#)もご覧ください。

**補足：**コントロールパネルの「アプリケーション」リストは、上級ユーザ向けの機能です。

## コントロールパネルの設定

次のセクションで、タブと設定が複雑な項目についての詳細な情報を提供します。セクションの多くには、カスタマイズに役立つヒントも含まれています。

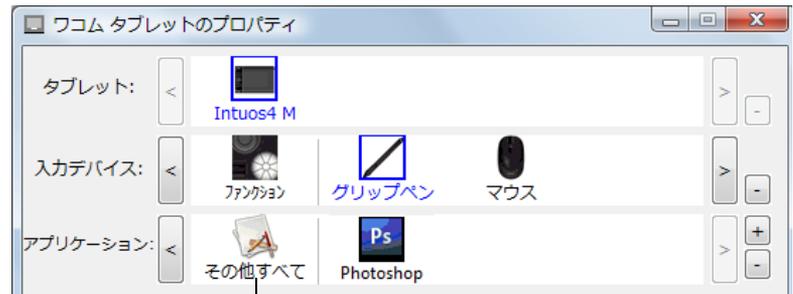
[ペンのカスタマイズ](#)

[マウスのカスタマイズ](#)

[タブレット機能のカスタマイズ](#)

[タブレットを画面にマッピングする](#)

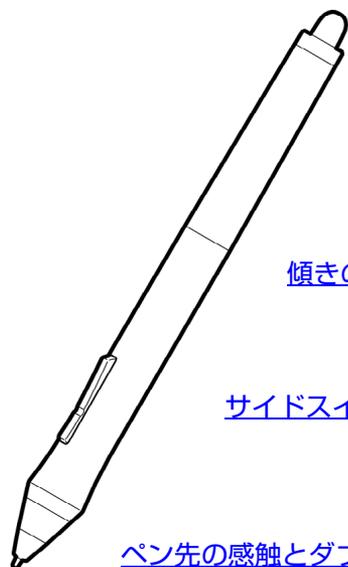
[ボタン機能](#)



現在、選択されているものがハイライトされます。

## ペンのカスタマイズ

ペンを使用してコントロールパネルを開きます。グリップペンが「入力デバイス」リストで選択され、適切なタブが表示されます。

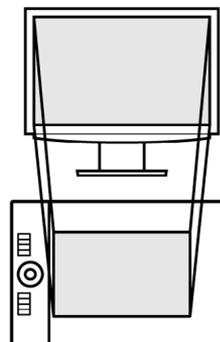


[消しゴムの感触を調整する](#)

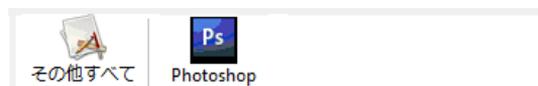
[傾きのカスタマイズ](#)

[サイドスイッチのカスタマイズ](#)

[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)



[タブレットを画面にマッピングする](#)



[特定のアプリケーションに対する設定](#)

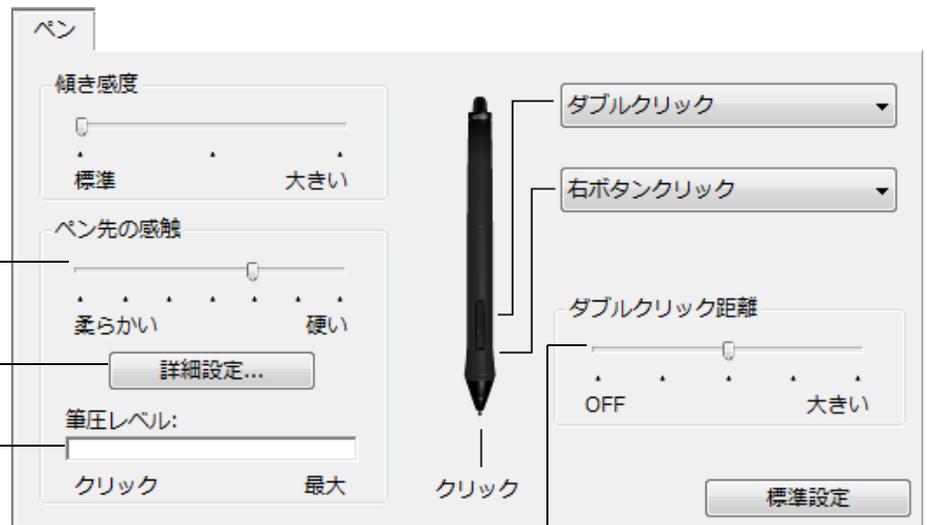
## ペン先の感触とダブルクリックの調整

「ペン」タブを選択します。

クリックしたり線を描いたりするのに必要な、ペン先にかかる荷重をカスタマイズします。

### 「感触の詳細設定」

ダイアログボックスが表示され、ペン先の感触をさらにカスタマイズすることができます。



ペン先でタブレットの操作面を押して、現在の「ペン先の感触」の設定をテストします。「ペン先の感触」スライダを調整して、筆圧の最大値を得るのに必要な力がどのくらいかを確認することができます。

ダブルクリックする領域の大きさを調整します。[ダブルクリックアシスト](#)が必要ない場合は、スライダを OFF 位置へドラッグします。

### ヒント:

- 「ペン先の感触」を柔らかいほうへ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックアプリケーションでは、この設定をお勧めします。
- アプリケーションによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。ペンを少し押しただけでブラシが画面に大きく広がったりします。このような場合は、「ペン先の感触」の設定を硬くしてみてください。
- ダブルクリック：ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリックする範囲（ダブルクリック距離）を大きくします。

**補足：**グラフィックアプリケーションによっては、ダブルクリック距離を大きくしたことにより、ブラシストロークの開始が遅れる場合があります。ドラッグ操作やインクのストロークの開始が遅れたりすることもあります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチを使用してダブルクリックしてみてください。（[サイドスイッチを使う](#)をご覧ください。）ファンクションキーにダブルクリックを設定することもできます。

## 消しゴムの感触を調整する

「テールスイッチ」タブを選択します。

消しゴムを使用する場合に実行する [ボタン機能](#) を選択します。

消すのに必要な、テールスイッチにかける荷重をカスタマイズします。スライダをドラッグして柔らかい、または硬いに設定します。

「感触の詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。消しゴムの感触をさらにカスタマイズすることができます。

デスクトップ上の何も無いところにポインタを置き、消しゴムでタブレットの操作面を押して、現在の「消しゴムの感触」をテストします。「消しゴムの感触」スライダを調整して、筆圧の最大値を得るのに必要な力がどのくらいかを確認することができます。



## ペン先と消しゴムの詳細な設定

ペン先、あるいは消しゴムの筆圧を設定する場合、「ペン」、または「テールスイッチ」タブから「詳細設定」ボタンをクリックして、「感触の詳細設定」ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスのオプションにより、ペン先または消しゴムの筆圧の感触とクリックのしきい値の設定を変更することができます。

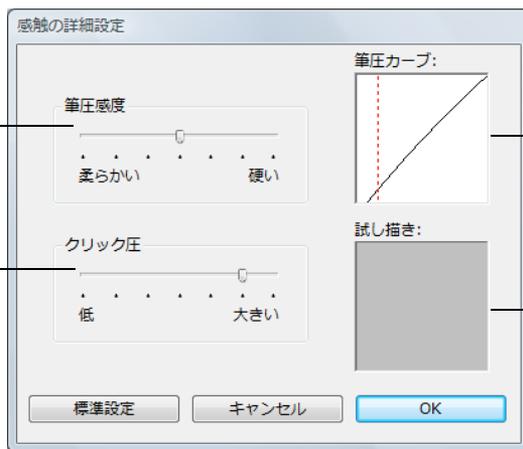
**重要:** 「ペン先の感触」、または「消しゴムの感触」のスライダは、詳細な筆圧の設定より優先されます。詳細な設定をカスタマイズしてから、スライダをドラッグすると、詳細設定で設定した内容が削除されます。

スライダをドラッグして、筆圧感度の設定を選択します。

柔らかいタッチの場合、柔らかい設定を選択します。

スライダをドラッグして、クリックのしきい値を調整します。

この設定により、ペン先でのクリックに必要な荷重が設定されます。

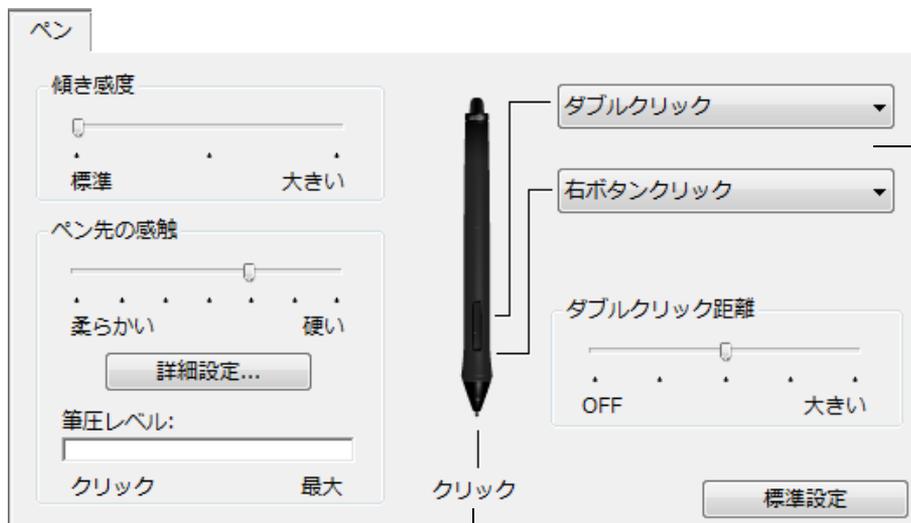


「筆圧カーブ」は、選択した筆圧感度の曲線と「クリック圧」の設定が図で示されます。

急激な増加を表す曲線は、ペンの感度が高いことを示します。

ペン先、または消しゴムを使って、ボックス内を何度か試し描きしてみて、変更結果をテストしてください。

## サイドスイッチのカスタマイズ 「ペン」タブを選択します。



上部、または下部のサイドスイッチを押した場合に働く [ボタン機能](#) を選択します。

**ヒント：**簡単にダブルクリックを行うには、「ダブルクリック」を選択すると、自動的にサイドスイッチが「ダブルクリック」に設定されます。

ペン先に割り当てられた機能を変更するには、現在「クリック」が設定されている箇所をクリックします。

### 注意：

- クリックが設定されていないと、ペンでウィンドウの操作ができなくなる場合があります。サイドスイッチの1つに、必ず「クリック」機能を設定してください。
- グラフィックアプリケーションで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

**補足：**右クリック、または他のクリック機能を実行する場合の方法を変えることができます。詳細については [オプション設定](#) をご覧ください。

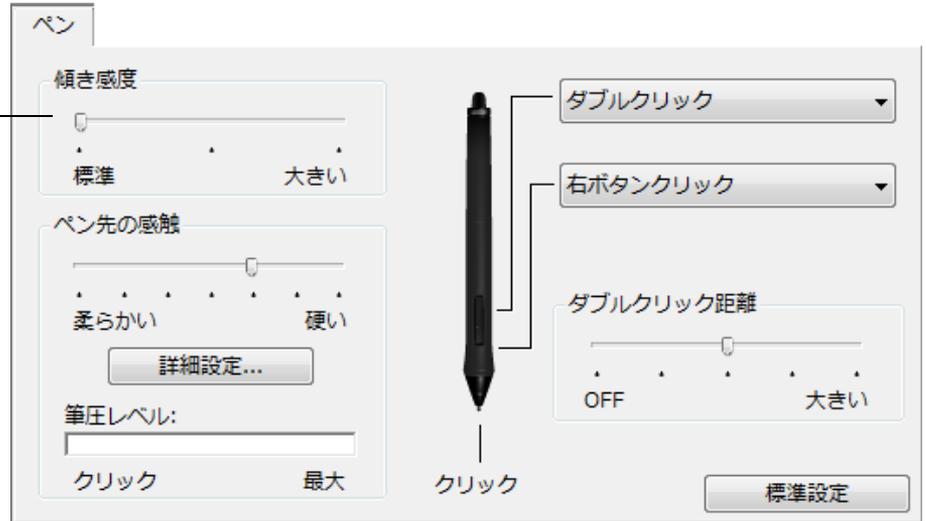
## 傾きのカスタマイズ

Intuos4 ペンの傾きを調整するには、「ペン」タブを選択します。

傾きに対応するアプリケーションで、ペンをどれくらい傾げるかを決めて、ペンの傾き効果が最大限に発揮できるようにします。高い感度では、低い感度ほどペンを傾げる必要はありません。

スライダをドラッグして、「傾き感度」を高くしたり、低くしてください。次に、傾きをサポートするアプリケーションで新しい設定をテストします。傾きの設定はペン先および消しゴムの両方に適用されます。

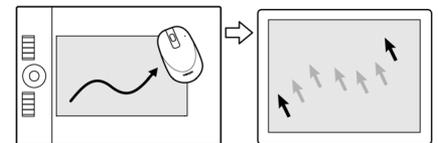
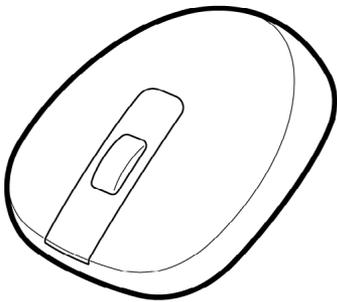
**補足：**傾きは方向に反応します。アプリケーションによっては、ブラシの方向をコントロールするのに使用することができます。



現在、傾きをサポートするアプリケーションについてはワコムのホームページをご覧ください。

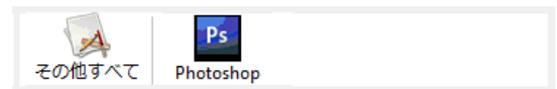
## マウスのカスタマイズ

マウスでコントロールパネルを開いてください。「マウス」が「入力デバイス」リストで選択され、適切なタブが表示されます。タブを選択して、利用可能なオプションから選択します。製品構成によっては、マウスは含まれません。



マウスモードの設定

マウスボタンのカスタマイズ

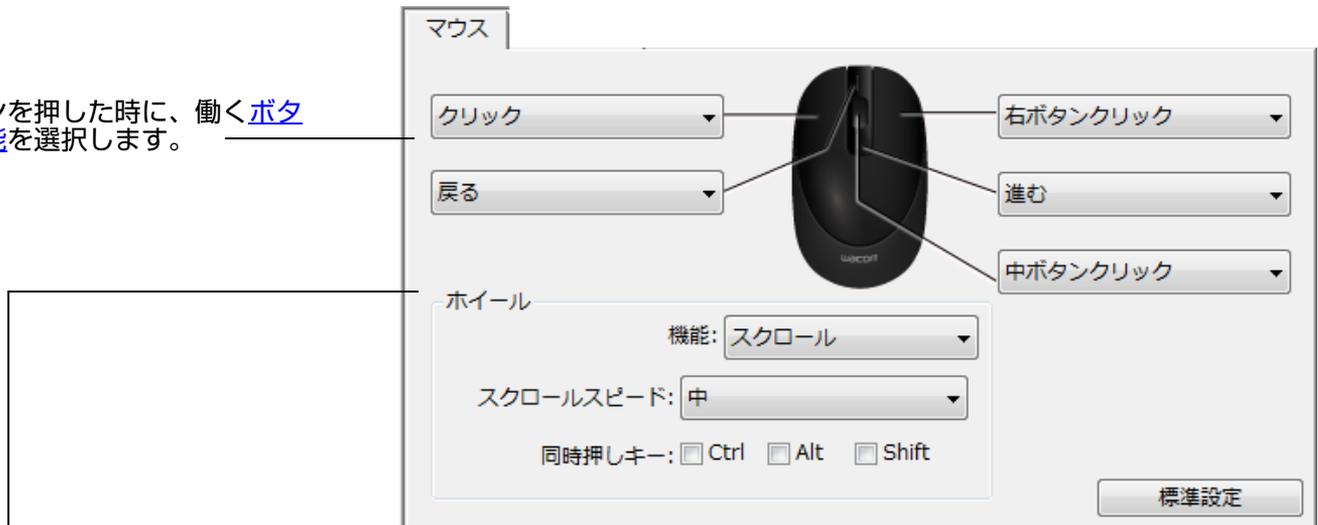


特定のアプリケーションに対する設定

## マウスボタンのカスタマイズ

Intuos4 マウスでコントロールパネルを開き、「マウス」タブを選択します。

ボタンを押した時に、働く **ボタン機能** を選択します。



「ホイール」で、ホイール機能を設定します。標準設定は「スクロール」です。

「スクロール」 「スクロール」を選択すると、タブにはスクロールに関する設定項目が表示されます。「スクロールスピード」から、ホイールを1ノッチ（目盛り）回転させたときのスクロールの速度を選択します。「同時押しキー」すなわち修飾キーオプションを選択すると、選択した修飾キーが、各スクロールイベントとともにアプリケーションに送られます。これはズーム操作、または他の操作をアプリケーション内で作成するのに使用することができます。

Macintosh : [option]、[command (アップルキー)]、[control]、[shift] キーを利用することができます。

「キーストローク」 **「キーストローク」** オプションを選択して、機能をホイールに割り当てます。繰り返しの多い機能を使用する場合に役立ちます。設定したキーストロークは、ホイール動作の各ノッチ（目盛り）に1度送られます。

**ヒント：**キーストローク動作の速度を2倍にするには、「キーストロークを登録」ダイアログボックスで2度キーストロークを入力してください。

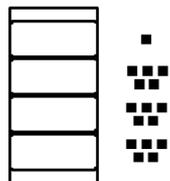
「無効」 「ホイール」オプションを無効にします。

マウスは複数ボタンの同時押しが可能です。例えば、1つのボタンに [Ctrl] キーを、別のボタンに [Alt] キーストロークをシミュレートするようにプログラムした場合、両方のボタンを押すと、[Ctrl]+[Alt] がシミュレートされます。

**補足：**左手操作用の Intuos4 マウスを設定するには、必要に応じてボタン機能を再度割り当てます。ワコムタブレットコントロールパネルを開いて、「オプション」をクリックして、「利き手の設定」で「左」を選択します。

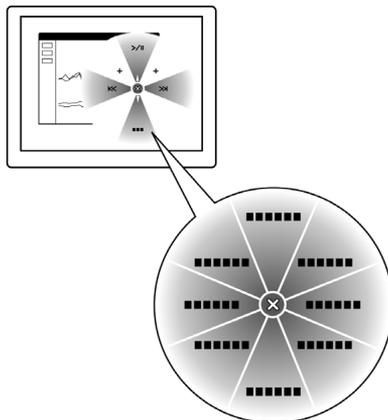
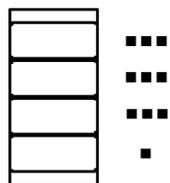
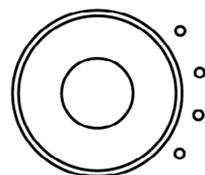
## タブレット機能のカスタマイズ

ファンクションキー、タッチホイール、他のタブレット機能をカスタマイズするには、ワコムタブレットコントロールパネルを開いて、「入力デバイス」リストから「ファンクション」アイコンを選択します。カスタマイズするタブを選択して、利用可能なオプションを使用して設定を変更します。

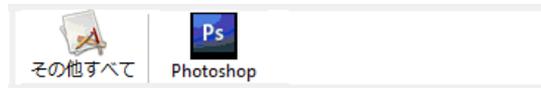


[ファンクションキーのカスタマイズ](#)

[タッチホイールのカスタマイズ](#)



[ラジアルメニューの使い方と設定](#)



[特定のアプリケーションに対する設定](#)

## ファンクションキーのカスタマイズ

「ファンクションキー」タブを選択すると、現在設定されている各ファンクションキーの機能が対応するプルダウンメニューに表示されます。さらに、タブレットのファンクションディスプレイはファンクションキーの設定を表示します。

Intuos4 の使用中、ファンクションディスプレイは自動的に更新され、画面の最前面のアプリケーションに対するキーの設定が表示されます。ファンクションキーに「無効」が設定されている場合、そのキーについては何も表示されません。

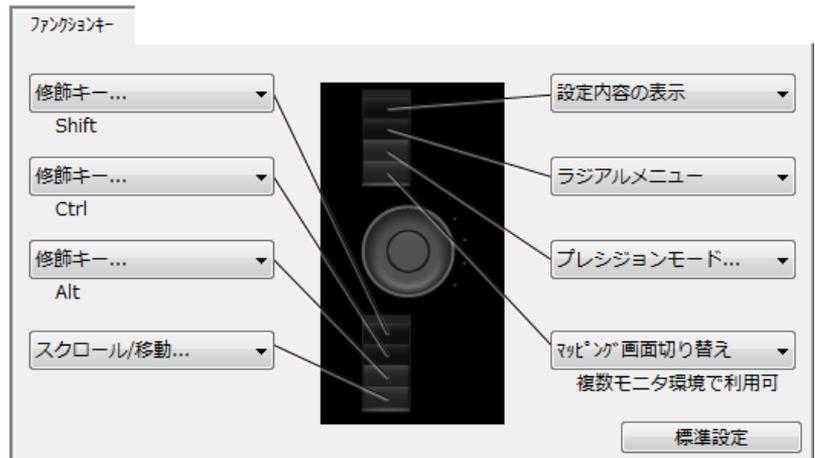
**補足：**タッチホイールの LED とファンクションディスプレイの明るさを調節するには、コントロールパネル下部にある「オプション」ボタンを選択し、「オプション」ダイアログボックスを表示させます。必要に応じて「ファンクションディスプレイの明るさ」で、スライダをドラッグして調節してください。

キーをカスタマイズするには、キーを押した場合に実行される機能を選択します。標準設定は、[ファンクションキーを使う](#)をご覧ください。

Intuos4 S タブレットにはファンクションキーは 6 つ装備されています。ファンクションディスプレイは装備されていません。

**補足：**ファンクションキー機能は、[特定のアプリケーションでの使用](#)に定義することができます。

### 「ファンクションキー」タブ (右利き用)



[タブレットの向き](#)がファンクションキー右側に設定されている場合、ファンクションキーを 180 度回転させられます。

### 「ファンクションキー」タブ (左利き用)



**重要：**アプリケーションによっては、ファンクションキー機能が操作できなかつたり制限されたりします。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたアプリケーションを使う](#)をご覧ください。

## タッチホイールのカスタマイズ

「タッチホイール」タブを選択すると、現在設定されているタッチホイール機能が表示されます。ズーム機能、スクロール機能あるいはキーストローク機能を実行するようにタッチホイールをカスタマイズできます。

**補足：**特定のアプリケーションで使うために、タッチホイール機能を設定することができます。このタブで行った変更は、コントロールパネルの「アプリケーション」リストで選択されているアイコンに適用されます。

以下のコントロールパネルタブは、右利き（ファンクションキー左側）用に構成されたタブを表しています。

The screenshot shows the 'Touch Wheel' control panel. On the left is a '切り替えボタン' (Toggle Button) with a circular touch wheel. The main area is divided into '機能' (Function) and 'ポインタの速度' (Pointer Speed). Under '機能', there are four dropdown menus: 'オートスクロール/ズーム', 'キーストローク... レイヤー切り替え', 'キーストローク... ブラシサイズ', and 'キーストローク... キャンパスの回転'. Each dropdown is followed by a slider ranging from '遅い' (Slow) to '速い' (Fast). A '標準設定' (Default) button is at the bottom right. A text box on the right explains that pointer speed can be set for each function, affecting zoom and scroll speeds, and that a hint for Adobe Photoshop CS3 involves menu settings.

タッチホイールの使用中に、実行する機能を選択します。標準設定は次の通りです。

「オートスクロール/ズーム」	多くのグラフィックアプリケーションでズーム機能を、他のアプリケーションではスクロール機能を設定します。ページ単位のスクロール操作はサポートされません。 画面を拡大するか、または下方向へスクロールするには、円に沿って時計回りに指を動かします。画面を縮小するか、上方向へスクロールするには、反時計回りに指を動かします。 <b>補足：</b> アプリケーションのなかには、ズーム機能がスクロール機能とみなされスクロール機能が働いたり、あるいはまったく働かない場合があります。同様に、スクロール機能がズーム機能とみなされたり、まったく働かない場合もあります。
「キーストローク」「レイヤー切り替え」	作業中のファイルに複数のレイヤーがある場合、レイヤーウィンドウのレイヤーを上方向、または下方向に切り替えることができます。
「キーストローク」「ブラシサイズ」	ブラシのサイズを大きくしたり、または小さくできるようにします。
「キーストローク」「キャンパスの回転」	画像全体を回転させたり、または反転させることができます (Adobe Photoshop CS4 またはそれ以降対応)。

タッチホイールに他の操作を設定するに、「キーストローク」オプションを選択します。次にキーストローク機能を定義します。アプリケーションによるキーストロークショートカットのサポートについては、アプリケーションに付属する取扱説明書をご覧ください。

切り替えの順番からスキップされるようにタッチホイールの切り替えボタンを設定するには、「SKIP」を選択します。詳細については[タッチホイールを使う](#)をご覧ください。

**重要：**アプリケーションによっては、タッチホイール機能が操作できなかつたり制限されたりします。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたアプリケーションを使う](#)をご覧ください。

## タブレットを画面にマッピングする

「マッピング」タブを選択して、タブレット操作面での入力デバイスの動作とディスプレイ画面でのポインタの動作の関係を設定します。「座標検出モード」オプションで、画面のポインタの動き方をコントロールします。

選択する「モード」により、画面のポインタの動き方が異なります。[ペンモード](#)では、Intuos4 の位置に対応するように画面のポインタの動作を設定します。タブレットに入力デバイスを置くと、ディスプレイ画面上のポインタは対応する位置へ移動します。

[「タブレットの向き」](#)を選択します。「タブレットの向き」は各タブレットに設定することができます。設定は、すべての入力デバイスとアプリケーションに適用されます。他の「マッピング」は特定のデバイスとアプリケーションに対して設定することができます。

[表示エリア](#)：タブレットに割り当てるディスプレイ画面の領域を選択します。

[縦横比を保持](#)：チェックすると、タブレットと画面は比例する関係で割り当てられます。

ディスプレイ画面に割り当てる[タブレット操作エリア](#)を選択します。



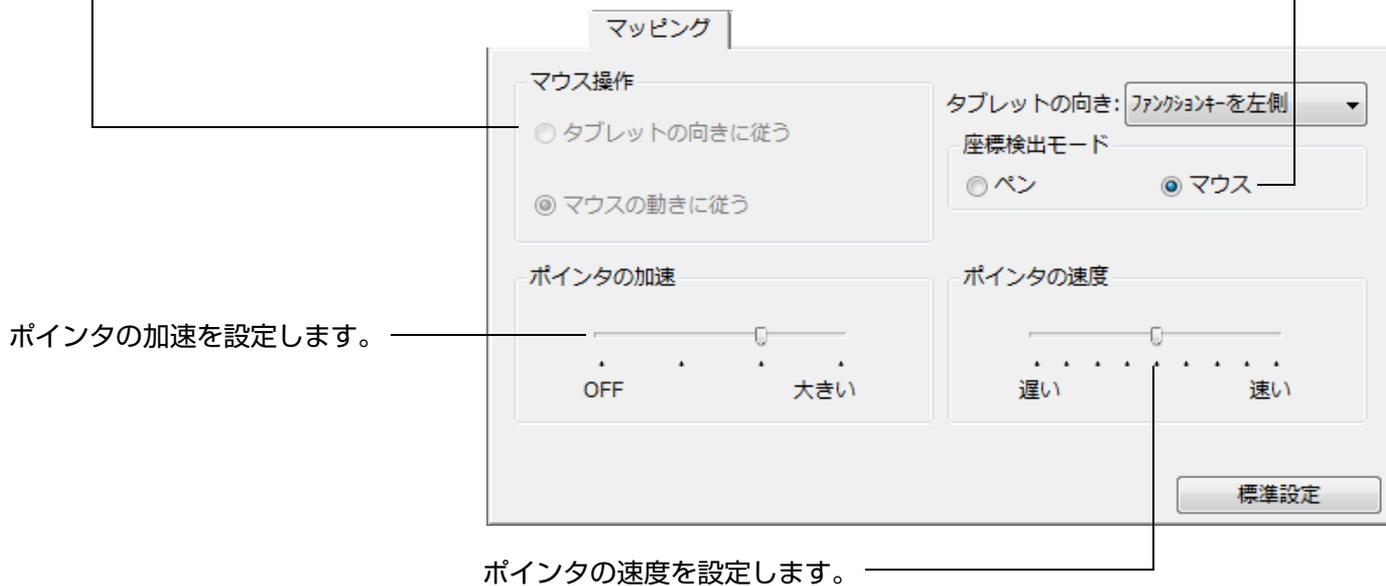
タブレットとディスプレイ画面の画像は直ぐに更新され、選択したマッピングの関係が表示されます。

「マウス」モードを選択すると、マウスの操作について設定することができます（「マウス操作」オプションは Intuos4 に対してのみ適用します）。

- 「タブレットの向きに従う」を選択すると、タブレットの上部へマウスを移動させると、ポインタも画面の上へ移動します。このモードでは、タブレットの操作エリアすべてがマウスの操作領域になります。
- 「マウスの動きに従う」を選択すると、マウスを上へ移動させると、ポインタも画面の上へ移動します。このモードでは、操作エリアの一部分で、マウスを操作できます。これは、Intuos4 タブレット（Intuos4 S 以外）の標準設定です。

**注意：** Intuos4 S タブレットについては、「マウスの動きに従う」オプションは、操作エリアが小さいためお勧めしません。

「マウス」モードを選択すると、通常のマウスを使うように、画面上のポインタを移動させることができます。



#### 補足：

- 画面の [ラジアルメニュー](#) を使用して、「ペン」モードと「マウス」モードを切り替えることもできます。
- 「ペン」モードと「マウス」モードをよく切り替える場合は、ボタンに「ペン⇄マウスモード」機能を割り当てることもできます。

## タブレットの向き

「マッピング」タブから、他の「タブレットの向き」を選択して、次に「タブレットの向き」に合わせてタブレット本体を回転させます。この機能から、左利き用、または右利き用にタブレットを設定することができます。または、縦長のディスプレイで作業できるようにタブレットを設定することもできます。[タブレットの向きを設定する](#)をご覧ください。

ファンクションキーを左側      タブレットは横に置かれます。タッチホイールとファンクションキーの位置は左側になります。これは、右利きのユーザのための設定です。

ファンクションキーを上側      タブレットを時計回りに90度回転させ、タッチホイールとファンクションキーの位置を上側にします。

ファンクションキーを右側      タブレットは横に置かれます。タッチホイールとファンクションキーの位置が右側になります。このオプションが選択されると、タブレットの操作とワコムタブレットコントロールパネルオプションは左利き用に自動的に設定されます。

**補足：** Intuos4 マウスまたはレンズカーソルがある場合、コントロールパネルの「オプション」ボタンをクリックして、デバイスを右利き、また左利き用に設定します。[オプション設定](#)をご覧ください。

ファンクションキーを下側      タブレットを反時計回りに90度回転させ、タッチホイールとファンクションキーの位置を下側にします。

コントロールパネルで「タブレットの向き」を設定したら、試しにタブレット上でペンを上方向へ移動させて、タブレットの向きが正しく設定されたことを確認してください。画面上のポインタが上方向に移動すれば、正しく設定されています。選択した「向き」は共通の設定であり、すべてのアプリケーションに適用します。

## 表示エリア

「マッピング」タブの「表示エリア」オプションで、タブレットをディスプレイ画面のどの部分に割り当てるかを定義することができます。

最大      ディスプレイ全体が割り当てられます。標準設定です。詳細については [マルチディスプレイへのマッピング](#) をご覧ください。

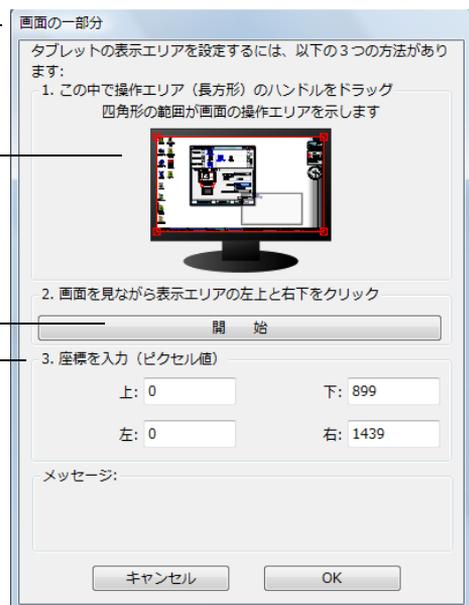
モニタ 1      選んだシングルディスプレイの領域全体に割り当てます。複数のディスプレイがシステムに接続されている場合、検出されるそれぞれのディスプレイにオプションを適用することができます。

一部領域      タブレットに対してディスプレイ画面の一部分を割り当てることができます。「一部領域」を選択すると、「画面の一部分」ダイアログボックスが表示されます。

画面の一部分を定義する方法を選択します。

- 前面の四角形の角をドラッグして、表示エリアを選択します。背景の図は、画面全体を表します。
- 表示エリアを指定するのに画面のポインタを移動させます。「開始」ボタンを選択します。画面の一部分を定義しながら、メッセージに従って、マッピングに使用する表示画面の領域を設定します。
- 画面表示エリアの上、下、左、右の境界に対してピクセルの値を入力します。値は、画面の上の左隅から測定されます。メッセージに従って確認してください。

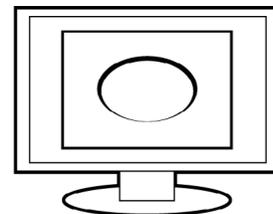
画面の一部領域を定義したあと、表示エリアのその他の領域にアクセスするには、通常のマウスなどを使用してください。



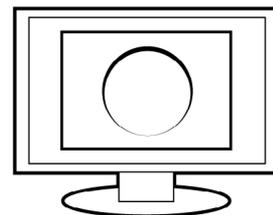
## 縦横比を保持

「マッピング」タブの「縦横比を保持」ボックスをチェックするか、またはチェックをはずして、タブレットと画面との関係を設定します。

「縦横比を保持」のチェックをはずした場合、正確な縮尺、比率は保持されません。選択したタブレットの操作エリアが、選択した画面の表示エリアに割り当てられます。タブレットに円を描くと、画面に楕円が描かれます。標準設定です。



「縦横比を保持」をチェックすると、タブレットと画面との間で、正確な垂直比率と水平比率が保持されます。タブレットに描かれた円は、表示画面の円と一致します。設定によりませんが、このオプションが選択されている場合、タブレットの操作エリアで利用できない領域があります。



**補足：**Intuos4 が 16 : 10 の縦横比表示での利用に最適化されていても、標準設定は自動的に他の縦横比表示での利用に調整されます。

## タブレット操作エリア

「マッピング」タブの「タブレット操作エリア」で、画面に割り当てるタブレットの操作領域を定義することができます。

最大

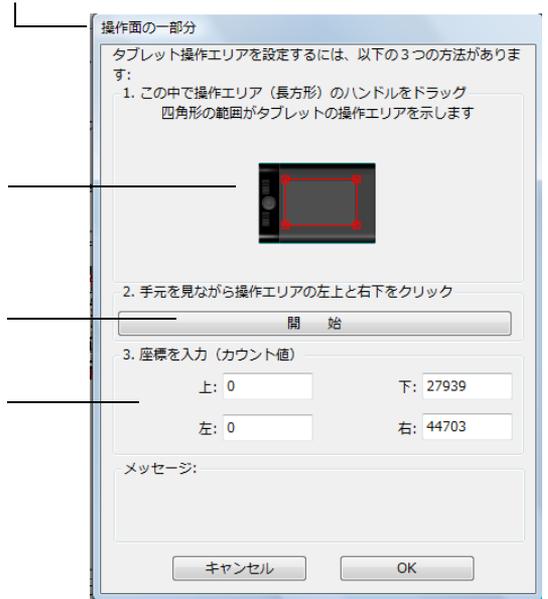
タブレットの操作エリア全体を割り当てます。標準設定です。

一部領域

「一部領域」を選択すると、「操作面の一部分」ダイアログボックスが表示されます。

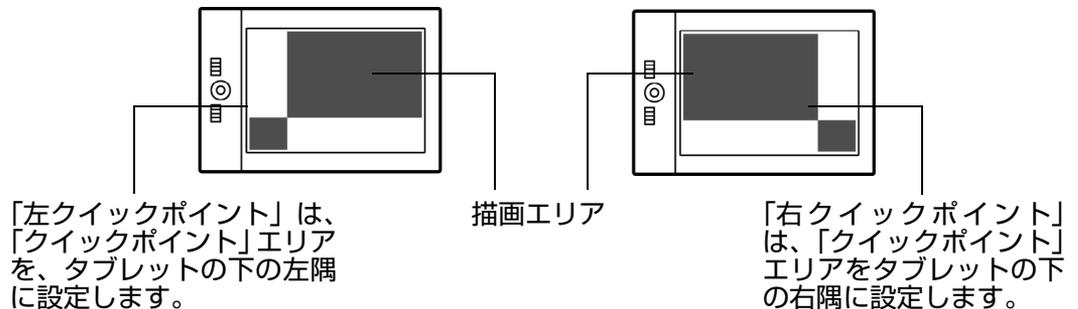
次の中から、タブレットの一部分を定義する方法を選択してください。

- 前面の四角形の角をドラッグして、画面に割り当てるタブレット操作エリアを設定します。
- 「開始」ボタンをクリックして、ペンでタブレット上の操作エリアを指定します。表示されるメッセージに従って、割り当てるタブレットの領域を設定します。
- タブレット操作エリアの上、下、左、右の境界に数値を入力します。



左クイックポイントと  
右クイックポイント

Intuos4 L/XL タブレットで利用することができます。描画のための大きな領域と、メニューの選択や機能の実行などシステムの実行を行うクイックナビゲーションのための小さな領域の 2 つにタブレットを分割します。2 つの領域は、「操作面の一部分」ダイアログボックスで定義する表示エリアに割り当てられるか、または標準設定でディスプレイ全体に割り当てられます。

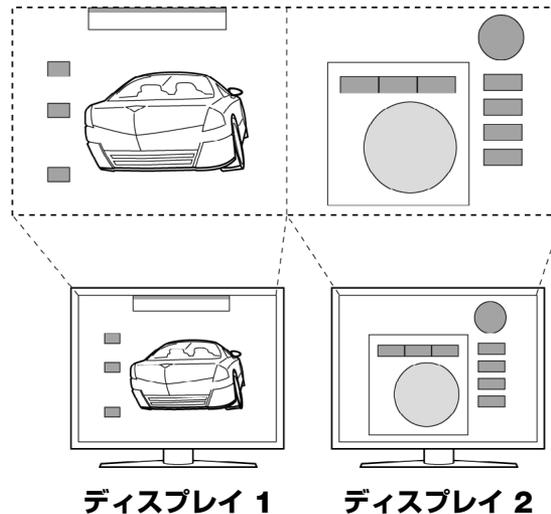


**補足:** クイックポイントエリアと描画エリアは、タブレット作業面のクロスマークで指示されます。

## マルチディスプレイへのマッピング

お使いのコンピュータに複数のディスプレイが接続されている場合、ディスプレイが「画面のプロパティ」ダイアログでどのように設定されているかに基づいて、Intuos4 はディスプレイにマッピングされます。

- 複数のディスプレイが設定されていて、拡張ディスプレイモードをお使いの場合、複数のディスプレイを1つの大きなディスプレイとして、タブレットはディスプレイ全体に割り当てられます。



- ミラーモードをお使いの場合、タブレットは各ディスプレイのスペース全体に割り当てられます。ポインタは各ディスプレイに同時に表示されます。

複数ディスプレイでのご利用について、コンピュータとオペレーティングシステムの設定に関する詳細については、コンピュータ本体とオペレーティングシステムの取扱説明書をご覧ください。

複数ディスプレイでのご利用のために、コンピュータを正しく設定したあと、ワコムタブレットコントロールパネルを開いて、適切なオプションを設定することによりタブレットのマッピングを調整することができます。

**ヒント:** システムが複数のディスプレイで構成されている場合、「マッピング画面切り替え」機能をファンクションキーに割り当てます。これによって、システムデスクトップまたはプライマリディスプレイと他のディスプレイ間で現在のタブレットのマッピングとポインタを切り替えることができます。[「マッピング画面切り替え」機能を使う](#)をご覧ください。

## ボタン機能



サイドスイッチ、ファンクションキー、タッチホイール、ラジアルメニューの設定に利用可能なオプションを説明します。必ずしもすべてのオプションが利用できるわけではありません。

### 機能名

### 内容

#### クリック

- クリック  
クリックを行います。ポインタの操作やクリックが行えるように、必ずボタンの1つに設定してください。
- 右ボタンクリック  
右クリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
- 中ボタンクリック  
中ボタンクリックを行います。
- ダブルクリック  
ダブルクリックを行います。ペン先で2度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
- クリックロック  
スイッチを1回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放すことに相当します。クリックロックは、オブジェクトをドラッグするか、またはテキストブロックを選択するのに利用可能です。
- 第4ボタンクリック  
マウスの第4ボタンを押すことに相当します。
- 第5ボタンクリック  
マウスの第5ボタンを押すことに相当します。

#### 消しゴム

消しゴムとして働きます。消しゴムの使用については[消しゴム](#)をご覧ください。



機能名

内容

キーストローク ....

キーストロークをシミュレートすることができます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが表示されます。

1つのキーストロークか、またはキーストロークを組み合わせて「キー」ボックスに入力することができます。キーストロークには、文字、数、F3のようなファンクションキー、修飾キー（Windowsでは[Shift]、[Alt]、[Ctrl]、Macintoshでは[shift]、[option]、[command]、[control]キー）を組み合わせたことができます。「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択することもできます。

キーストロークを入力したら、「OK」をクリックします。

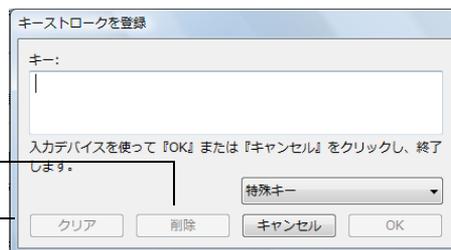
**重要：[Enter]キー(Windows)と[Return]キー(Macintosh)は、定義するキーストロークとして入力することができます。「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択するのに、使用しないでください。必ずIntuos4入力デバイスを使用して「OK」ボタンをクリックしてください。**

ダイアログが表示されたら、キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれコントロールまたはポップアップメニューに表示されます。

アプリケーションごとにキーストローク機能を設定することができます。詳細については [特定のアプリケーションに対する設定](#) をご覧ください。

キーストローク入力ボックスに入力した最新の内容のみ削除します。

キーストローク入力ボックスをクリアにします。



タッチホイールまたはマウスホイールにキーストロークを割り当てる場合、ダイアログボックスには2つの「キー」入力ボックスが表示されます。

上記で述べたように、タッチホイール上での時計回りおよび反時計回りの回転動作やマウスホイールの奥と手前への回転動作にキーストローク機能を割り当てます。

割り当てた一組のキーストロークに名前を入力して、「OK」をクリックします。



アプリケーションでサポートされているキーストロークショートカットについては、アプリケーションに付属の取扱説明書をご覧ください。



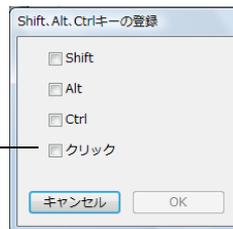
機能名

内容

修飾キー ....

修飾キー (Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー、Macintosh では [shift]、[option]、[command]、[control] キー) をシミュレートすることができます。多くのアプリケーションでは、修飾キーを使用してメニューやツールを切り替えます。

複数のキーオプションを選択します。「クリック」ボックスをチェックすると、スイッチを押すと必ずマウスのクリックが実行されるようになります。



ラジアルメニュー

画面上にラジアルメニューを表示します。ラジアルメニューの各階層メニューは、8つの項目から構成され、オプション機能を設定することができます。

アプリケーションの設定に従う

(Windows システムと Intuos4 マウスのみ) アプリケーションにボタンの数のみ知らせます。この機能は、CAD プログラムのように、Intuos4 マウスまたはオプションのレンズカーソルに対するサポートが組み込まれたアプリケーションに有効です。

この機能もまた、高度な統合アプリケーションによってペンタブレットファンクションキーとタッチホイールが直接コントロールされることがあります。

戻る

ブラウザアプリケーションで「戻る」機能を実行します。

進む

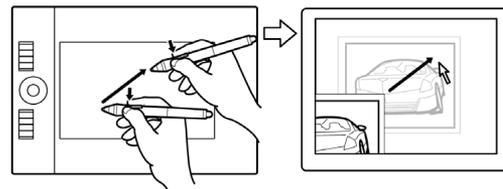
ブラウザアプリケーションで「進む」機能を実行します。

スクロール / 移動 (ペンのみ)

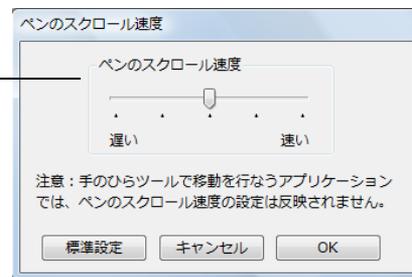
「スクロール / 移動」に設定されたサイドスイッチを押して、タブレットの操作エリアでペン先を滑らせるように動かすと、文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。

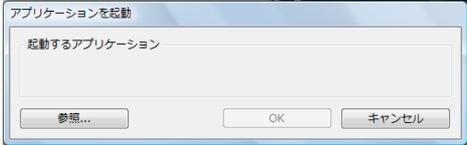
「スクロール / 移動」を選択すると、「ペンのスクロール速度」ダイアログボックスが画面に表示されます。

設定値を小さくすると、スクロールの速度が遅くなります。画像を正確にコントロールしなければならないような細かい作業に有効です。

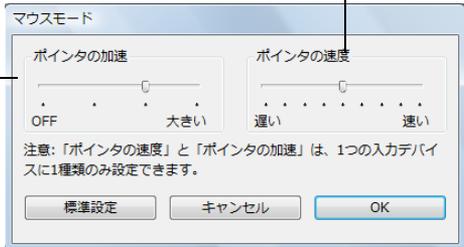


書類または画像内での手のひらツールの移動機能をサポートしていないアプリケーションでのスクロール速度が設定できます。



機能名	内容
オートスクロール／ズーム	ほとんどのグラフィックアプリケーションでズーム操作、他のアプリケーションでスクロール操作が行われるように、タッチホイールを設定します。
スクロール	スクロール動作にタッチホイールを設定します。
ズーム	ズーム動作にタッチホイールを設定します。
デスクトップを表示	開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。
タスク切り替え	起動中のアプリケーションで、前面に表示させたいアプリケーションがタスク切り替えダイアログから選択できます。Aero を搭載した Windows Vista システムでは、3D フリップが起動して、前面に表示させたいアプリケーションを選択できます。
開く／起動 ....	<p>ダイアログボックスを開いて、起動する特定のアプリケーション、ファイル、またはスクリプトを選択することができます。</p> <p>「参照」 ボタンをクリックして、起動するアプリケーションを選択します。選択したアプリケーションが、「起動するアプリケーション」 ボックスに表示されます。「OK」 をクリックします。</p>  <p>ダイアログボックスが閉じます。選択した「アプリケーションを起動」 オプションをデバイスボタンオプションとして割り当てます。スイッチやボタンを押すだけで、割り当てたオプションが実行します。</p> <p>ラジアルメニューに選択した場合、ラジアルメニューリストに表示されるようになります。</p>
Inkwell	(Macintosh) Ink の「手書き認識」機能をオンとオフに切り換えます。Inkwell は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、インクをオンにする必要があります。Inkwell の使い方については、Macintosh のヘルプをご覧ください。
タブレット PC	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Tablet PC 入力パネル</li> </ul>	<p>(Tablet PC 入力パネルをサポートするタブレット PC および Windows Vista システム)</p> <p>Tablet PC 入力パネルが開きます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Tablet PC の設定に従う</li> </ul>	<p>(Tablet PC 入力パネルをサポートするタブレット PC と Windows Vista)</p> <p>以下のダイアログの設定に従い、ボタン機能を設定します：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows Vista 「タブレット PC 設定」と「ペンと入力デバイス」</li> <li>• Windows XP Tablet Edition 「タブレットとペンの設定」</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows Journal</li> </ul>	<p>(Windows Journal を含んだ Windows Vista および Tablet PC システム)</p> <p>Windows Journal を開きます。</p>
Expose	(Macintosh)：画面に開いているウィンドウをタイル表示します。



機能名	内容
筆圧一定	ボタンを放すまで、筆圧レベルをロックして現在の筆圧を維持します。例えば、ブラシが好みのサイズになるまで、筆圧感触を使いながら線を描きます。次にボタンを押すと、ボタンを放すまで同じブラシのサイズで描き続けることができます。
プレジジョンモード	現在のペン先位置周辺のマッピングの比率を変更します。ペンを大きく動かしても画面上のポインタは、その 2 分の 1 の距離だけ移動します。このモードを有効にするには、機能が割り当てられたサイドスイッチを押したままにします。サイドスイッチを放すと、通常のマッピングに戻ります。 ペンやマウスが「マウスモード」の場合、ポインタの動作について、加速は「OFF」、速度は「遅い」で動作するように調整されます。
マッピング画面切り替え	マルチディスプレイ環境で使用します。この機能が割り当てられたファンクションキーを押すと、ディスプレイ間でタブレットのマッピングやポインタの位置を切り替えることができます。 <a href="#">マッピング画面切り替えを使う</a> をご覧ください。
設定内容の表示	タブレットのファンクションキーとタッチホイールの図が表示され、各ボタンに対する機能の設定を確認できます。
ペン⇄マウスモード ....	<a href="#">ペンモード</a> と <a href="#">マウスモード</a> を切り替えます。初めてこの機能をデバイスボタンに設定した場合、「マウスモード」ダイアログボックスが表示され、マウスの加速とスピードを調節することができます。  マウスモードの場合に、ポインタの速度を設定します。  マウスモードの場合に、ポインタの加速を設定します。
	
	<b>補足:</b> 「マウスモード」は、コントロールパネルの多くのダイアログからアクセスして設定することができます。マウスの加速とスピードの設定は、入力デバイスとアプリケーションをカスタマイズしている場合1つしか設定できません。
無効	ボタン機能を無効にします。
スキップ	切り替えの順番から飛ばされるように設定します。
標準設定	標準設定にボタンを戻します。

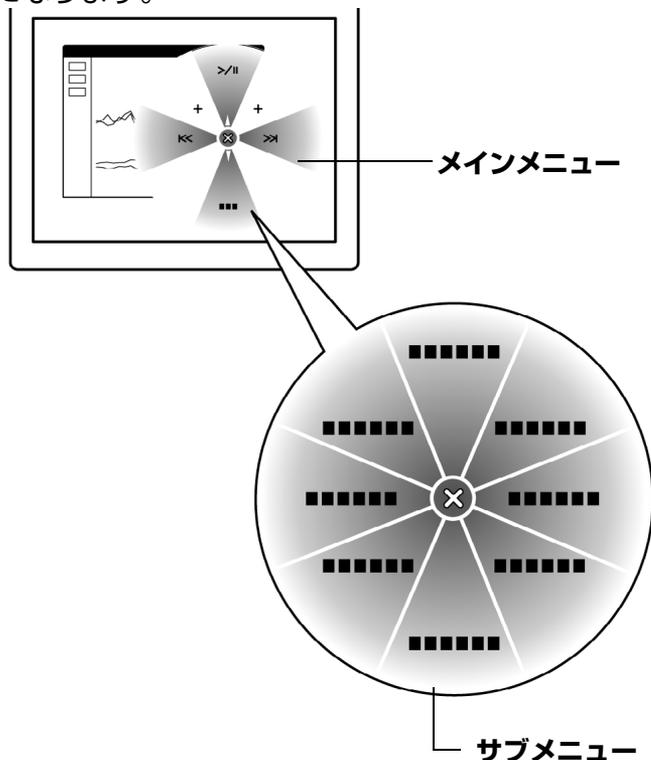
## ラジアルメニューの使い方と設定

ラジアルメニューは円型のポップアップメニューです。ラジアルメニューをカスタマイズすると、編集、ナビゲーション、メディア操作などが簡単に行えるようになります。

- ラジアルメニューを表示するには、ペンのスイッチやマウスのボタン、またはファンクションキーに「ラジアルメニュー」機能を設定します。ボタンを押すと、ラジアルメニューはポインタの位置を中心として表示されます。
- ラジアルメニューは円形で表示され、機能はデスクトップ全体に広がります。ラジアルメニューは階層で構成されています。メニューの各レベルは、8つの項目で構成され、各項目にはさまざまな機能と選択可能なオプションが設定できます。
- ラジアルメニュー内でオプションをクリックします。項目によってはサブメニューが表示され、利用可能なオプションをさらに選ぶことができます。

ラジアルメニューを呼び出すボタンを押すと、ラジアルメニューを表示したままメニュー項目をクリックすることができます。

- ラジアルメニューからオプション機能を選択すると、メニューは終了します。機能を選択せずにメニューを終了する場合、メニュー中央の「X」ボタンをクリックするか、またはオプション機能が割り当てられていない空の項目をクリックしてください。「ラジアルメニュー」が割り当てられたサイドスイッチを押しても、メニューを終了することができます。



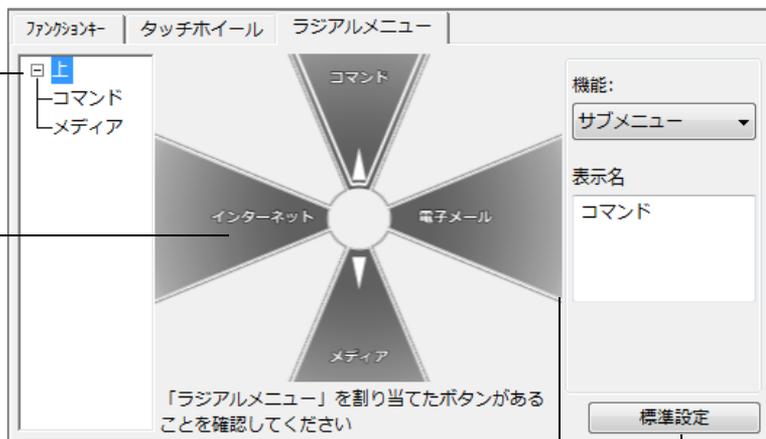
ラジアルメニュータブで、ラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。

- メニューまたはサブメニューを選択します。

- 項目を選択して、設定をカスタマイズします。

- 実行する「機能」を選択します。

**補足:** 「Enter (Return)」キーを押すと、テキストを複数行追加できます。



現在、表示されているラジアルメニューを標準設定に戻します。

## マッピング画面切り替えを使う

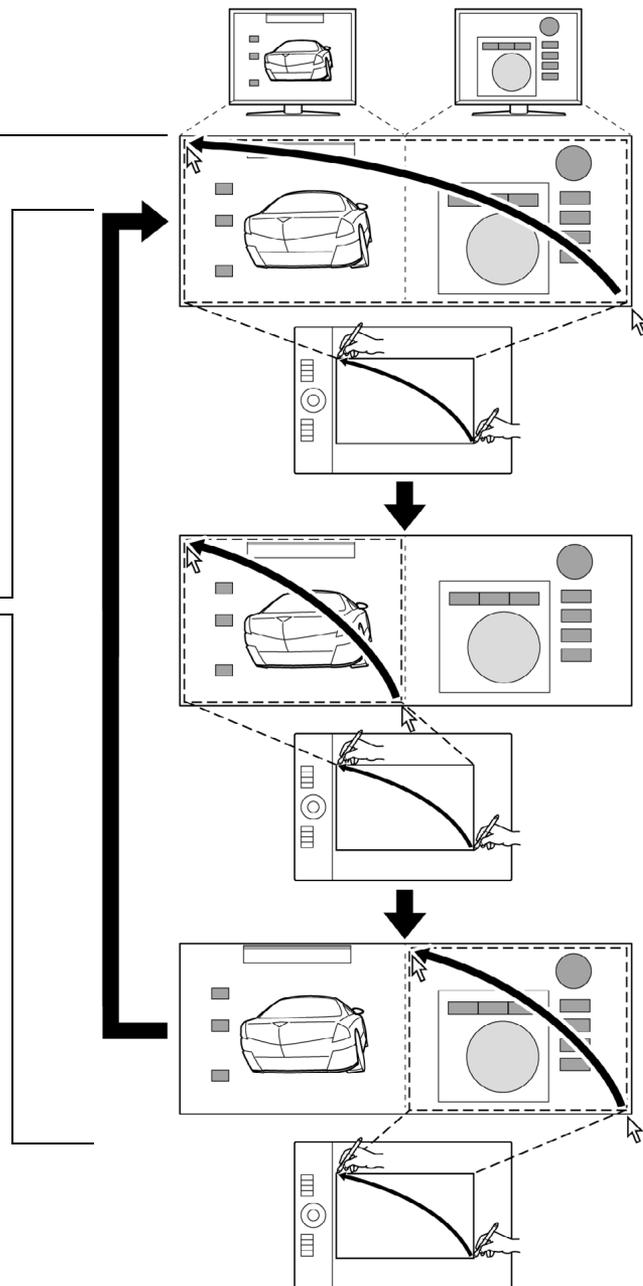
「マッピング画面切り替え」は、システムがマルチディスプレイで構成されている場合にお使いになれます。この機能を使うと、タブレット1台でディスプレイ全体、または1つのディスプレイで作業することができます ([マルチディスプレイへのマッピング](#)をご覧ください)。

ファンクションキーを「マッピング画面切り替え」に設定した後、ボタンを押して、基本のマッピング(「マッピング」タブの設定)と他のディスプレイ間のタブレットのマッピングを順番に切り替えます。

例：

1. マルチディスプレイの表示領域全体が拡張モードに設定されていて、Intuos4の操作エリアに割り当てられています。

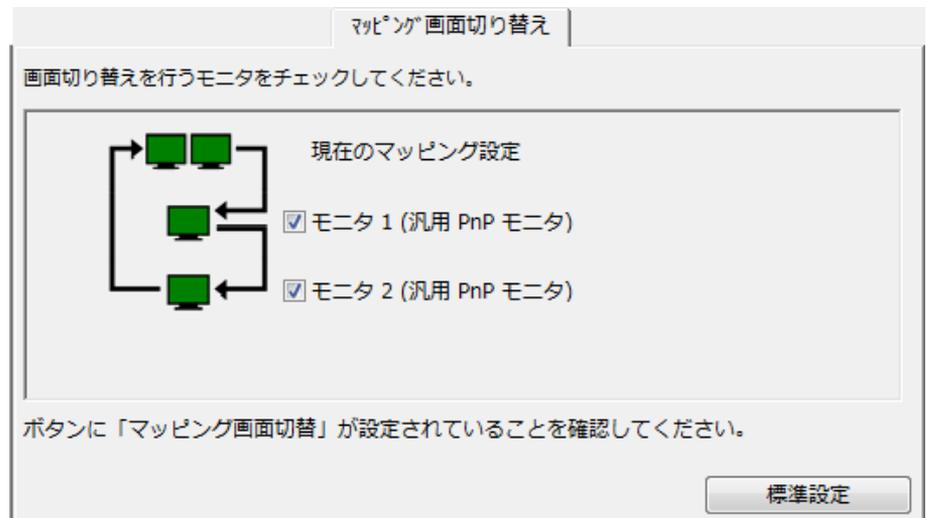
2. 「マッピング画面切り替え」機能が割り当てられたボタンを押すと、タブレットのマッピングを次のディスプレイへ切り替えます。



Intuos4 タブレットがマルチディスプレイ環境に接続されている場合、ワコムタブレットコントロールパネルには「マッピング画面切り替え」タブが表示されます。このタブで、ディスプレイを切り替える順番を設定します。

「マッピング画面切り替え」タブでは、初期設定で、すべてのモニタが選択されています。モニタのチェックをはずすと、切り替えの順番からそのモニタを飛ばすことができます。

- 基本のマッピングは、「マッピング」タブで設定されているタブレットとモニタのマッピングです。標準設定により、「マッピング」タブで、特定のモニタをプライマリディスプレイに設定しないならば、すべてのモニタが含まれます。
- 次のモニタに切り替えると、ペンやマウスの有効な操作エリアがそのモニタに割り当てられます（ペンモード）。
- 最後にチェックしたモニタのあと数回切り替えると、マッピングタブの基のマッピング設定にシステムを戻します。



**重要：**「マッピング画面切り替え」で「特定のアプリケーションに対する設定」を使用している場合、アプリケーションリスト（「その他すべて」も含む）上のカスタマイズ済みのアプリケーションに「マッピング画面切り替え」が割り当てられたボタンがあるかを確認してください。「特定のアプリケーションに対する設定」を作成する前に、ファンクションキーに「マッピング画面切り替え」を割り当てることをお勧めします。

次の動作で切り替えの順番をもとのマッピングに戻すことができます。

- 筆圧をサポートするグラフィックアプリケーションを起動します。
- システムをログアウトするか、再起動します。
- ユーザを切り替えます（初めのユーザに切り替え）。
- システムをスリープモードにします。
- 「マッピング」タブまたは「マッピングタブ切り替え」タブの設定を変更します。
- システム上のディスプレイの解像度または数を変更します。
- 「マッピング切り替え」機能を使用します。
- [ラジアルメニュー](#)から「ペンモード」または「マウスモード」を選択します。

**ヒント：**「ディスプレイ全体」オプションを含めずに、ディスプレイ間を切り替えるには、「マッピング画面切り替え」タブ上の1番目のディスプレイを無効にします。次に、「マッピング」タブで1番目のディスプレイに対して現在の「表示エリア」を設定します。

## 複数デバイスでの作業

コントロールパネルは、Intuos4 デバイスのカスタマイズと管理に役立つように設計されています。コントロールパネルを開く際に使用したデバイスが自動的に選択され、そのデバイスに対する適切なタブが表示されます。

各 Intuos4 デバイスには「デバイス ID」が書き込まれ、それにより、他のデバイスと識別されます。どのような設定も、設定が行われた特定のデバイスに対してのみ適用されます。同一の Intuos4 デバイスには番号がつけられて、表示されます。選択したデバイスは、ハイライトされます。

「入力デバイス」リストには、タブレットの「ファンクション」アイコンとタブレット上で使用された Intuos4 デバイスが表示されます。

特定のアプリケーションに対する設定が追加されない場合、「すべて」アイコンが表示され、デバイスに対する設定はすべてのアプリケーションに適用されます。



タブの設定は、選択したデバイスとアプリケーションに対してのみ適用されます。

選択したデバイスを削除します。リストに項目が1つしかない場合、ボタンは働きません。「ファンクション」アイコンは削除できません。

ヒント：デバイスのアイコンをダブルクリックし、新しい名前を入力することで、デバイス名を変更できます。「ファンクション」アイコンの名前は変更できません。

コントロールパネルの「入力デバイス」リストにデバイスを追加するには、Intuos4 タブレット上で追加するデバイスを使用してください。

- 新しいデバイスを初めてタブレットに置いたとき、標準設定でデバイスは動作します。同じデバイスがあったとしても、その設定が適用されることはありません。コントロールパネルを開くと、デバイスは自動的に「入力デバイス」リストに追加されます。タブの設定を変更して、デバイスをカスタマイズすることができます。
- 「入力デバイス」リストに追加したデバイスを選択すると、そのデバイスに適したタブの設定が表示されます。タブの設定に加えた変更は、今後、そのデバイスに適用されます。変更はすぐに反映されます。

選択したデバイスを「入力デバイス」リストから削除するには、「入力デバイス」リストの「-」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから、「削除」をクリックして、選択を確認します。選択したデバイスは、そのデバイス向けに作成した設定とともにリストから削除されます。削除したデバイスをタブレットの上に戻すと、「入力デバイス」リストに再び追加されます。

## 特定のアプリケーションに対する設定

特定のアプリケーションに対して、使用する Intuos4 入力デバイスをカスタマイズします。例えば、あるアプリケーションでは、ペン先の筆圧を硬めに設定して、他のアプリケーションでは柔らかく設定することができます。「アプリケーション」リストにアプリケーションを追加し、次に追加したアプリケーションに対して入力デバイスの設定をカスタマイズします。

- アプリケーションごとの設定を行わずに、デバイスを「入力デバイス」リストから選択した場合、「アプリケーション」リストには「すべて」アイコンが表示されます。「すべて」アイコンは、アプリケーションすべてにデバイスの設定を適用します。以下の例では、特定のアプリケーションに対する設定が「マウス」に行われていません。そのため、「すべて」アイコンが表示されます。「マウス」の設定はすべてのアプリケーションに共通です。



- 特定のアプリケーションに対する設定が、「アプリケーション」リストに加わると、「すべて」アイコンは「その他すべて」に変わります。アプリケーションのアイコンが新しく追加されたアプリケーションに対して表示されます。



上記の例では、特定のアプリケーションに対する設定が、「グリップペン」に追加されています。「その他すべて」アイコンを選択してタブの設定を変更する場合、その変更は、「アプリケーションリスト」に追加したアプリケーション以外のすべてのアプリケーションで「グリップペン」に適用されます。アプリケーションのアイコンを選択してタブの設定を変更する場合は、そのアプリケーションを使用する間だけ「グリップペン」に適用されます。

特定のアプリケーションに対する設定を作成すると、選択した入力デバイスとアプリケーションに対して個別のグループを作成しています。詳細については次のセクションをご覧ください。

[特定のアプリケーションに対する設定を作成する](#)

[特定のアプリケーションに対する設定を変更する](#)

[特定のアプリケーションに対する設定を削除する](#)

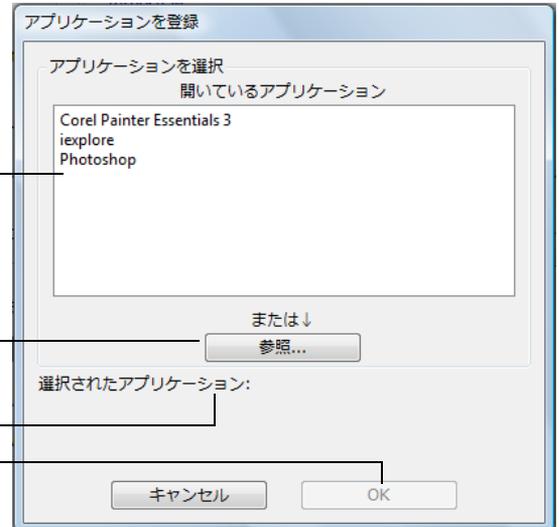
ヒント：最前面にあるアプリケーションでのファンクションキーやタッチホイールの機能を確認するには、ファンクションキーを「設定内容の表示」に設定して確かめたいキーを押してください。

## 特定のアプリケーションに対する設定を作成する

初めに、特定のアプリケーションに対する設定を作成するタブレットと入力デバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストの「+」ボタンをクリックすると、「アプリケーションを登録」ダイアログボックスが表示されます。

アプリケーションを選択するには、次の2つの方法のうちいずれかを選択します。

- 特別な設定を作成するアプリケーションを開きません。次に「開いているアプリケーション」ボックスからそのアプリケーションを選択します。
- 「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているアプリケーションの実行ファイルを選択します。



「選択されたアプリケーション」欄に、選択したアプリケーションのパスが表示されます。

「OK」をクリックして、終了します。

**補足：**2つのプログラムが同じ実行ファイル名をもつ場合、2つのプログラムはカスタマイズした設定を共有します。

アプリケーションを追加したあと、各デバイスを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したアプリケーションのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。追加したアプリケーションを選択して、次にデバイスと追加したアプリケーションに対してコントロールパネルのタブの設定をカスタマイズします。

一度、特定のアプリケーションに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったアプリケーションは「その他すべて」の入力デバイスの設定が適用されます。

**ヒント：**任意のアプリケーションに対して設定を作成してみてください。それにより、ペンが使いやすくなったなら、さらに、この設定を作成してみてください。

### 特定のアプリケーションに対する設定を変更する

指定のアプリケーションに対して入力デバイスの設定を変更するには、デバイスとアプリケーションを選択して、次にタブの設定をカスタマイズします。

### 特定のアプリケーションに対する設定を削除する

特定のアプリケーションに対する設定を削除するには、

1. 「入力デバイス」リストから、デバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストから、削除するアプリケーションを選択します。
2. 「アプリケーション」リストの「-」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして、選択を確認します。アプリケーションは、作成した入力デバイスの設定とともにリストから削除されます。

ヒント：1つの入力デバイスから特定のアプリケーションに対する設定をすべて削除するには、デバイスリストからデバイスを削除します。

次に入力デバイスをタブレットの上に戻すと、デバイスは、標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。

## トラブルシューティング

もし、トラブルがあった場合、以下のことを行ってください。

1. ペンタブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行なってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順を参照ください。
2. [トラブルシューティング情報](#)をご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってください。
3. Windows の場合「お読みください」、Macintosh の場合「Read Me .rtf」を開いて、最新情報をお読みください。
4. タブレットと入力デバイスを診断します。[タブレットのテスト](#)と[入力デバイスのテスト](#)のテストをご覧ください。
5. Intuos4 と新しいハードウェア、またはソフトウェア製品間に互換性の問題が発生した場合、更新したタブレットドライバのダウンロードに関する情報について、[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。ワコムは新しい製品との互換性を維持するためにドライバソフトウェアを定期的に更新しています。
6. ワコムのホームページの FAQ（よくある質問）を参照してください。
7. このマニュアルの解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムのサポート窓口にお問い合わせください。

[タブレットのテスト](#)

[入力デバイスのテスト](#)

[トラブルシューティング情報](#)

[テクニカルサポート](#)

[ドライバのダウンロード](#)

## タブレットのテスト

1. コンピュータの電源を入れて、システムが完全に読み込まれるまで待ちます。
2. タブレットの接続をチェック  
タブレットがコンピュータに適切に接続され、タブレットが USB デバイスとして認識されると、タブレットのステータスランプが点灯します。ランプが点灯したら、次のステップ3に進んでください。  
コンピュータの電源を入れ、システムが完全に読み込まれても、ステータスランプが点灯しない場合：
  - タブレットの USB 接続ケーブルが、コンピュータの有効な USB ポートにしっかりと接続されていることを確認してください。Intuos4 は、コンピュータ本体に設置されている USB ポートに接続する必要があります。
  - タブレットを、別の USB ポートに接続するか、または別のコンピュータの電源の入った USB ポートに接続してみてください。
  - コンピュータの電源を入れて、オペレーティングシステムの起動が終了しても、タブレットのステータスランプが点灯しない場合、USB ポートが機能していないかもしれません。タブレットが有効な USB ポートに接続されていることを確認してください。
3. グリップペンのチェック
  - タブレットの操作エリアを横切るようにペンを移動させてみてください。画面上のポインタは、ディスプレイ画面を対応する方向へ移動します。
  - タブレットにペン先を押しあてます。ステータスランプが明るく点灯します。
  - 次に、ペン先に荷重がかからないようにして、タブレットの面からおおよそ 6mm 以内のところを留めておき、サイドスイッチを押します。ステータスランプが、再度明るく点灯します。
  - ペンを回転させ、タブレットにテールスイッチを押しあてます。ステータスランプが明るく点灯します。
  - [入力デバイスのテスト](#) をご覧ください。
4. タッチホイールをチェック  
[入力デバイスのテスト](#) をご覧ください。
5. ファンクションキーをチェック  
[入力デバイスのテスト](#) をご覧ください。
6. Intuos4 マウスまたは他の入力デバイスをチェック  
[入力デバイスのテスト](#) をご覧ください。
7. これらのテストでうまく動作しない場合、タブレット、または入力デバイスに欠陥があるかもしれません。[テクニカルサポート](#) をご覧ください。
8. テスト後、コントロールパネルで、タブレットとデバイスの設定をそれまで使用していた設定に戻してください。

## 入力デバイスのテスト

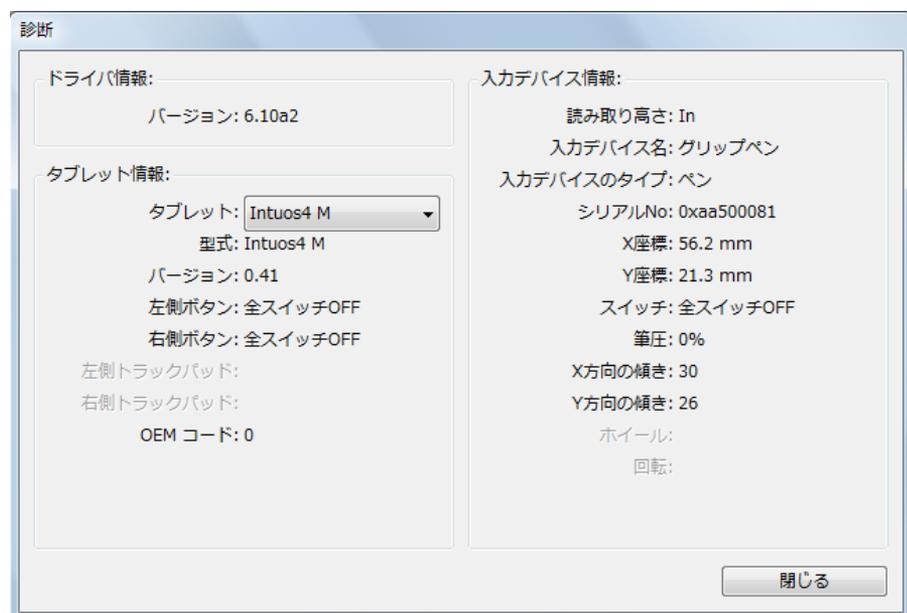
入力デバイスが、思うように動作しない場合、初めにコントロールパネルを開き、割り当てた機能をチェックするか、あるいは入力デバイスを標準設定の状態に戻すことをお勧めします。

- 入力デバイスを標準設定の状態に戻すには、コントロールパネルの「入力デバイス」リストの右端にある「-」ボタンをクリックして入力デバイスを削除します。
- 入力デバイスが削除されたあと、再び入力デバイスをタブレットに置きます。入力デバイスは標準設定の状態ですべてリストに再び追加されます。

入力デバイスをテストするには：

- コントロールパネルを開いて、「タブレットについて」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されますので、「診断」ボタンをクリックして、「診断」ダイアログボックスを開きます。
- 複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で入力デバイスをテストするタブレットを選択してください。
- タブレットや入力デバイスをテストする際は、「診断」ダイアログボックスに表示される情報をご利用ください。

補足：入力デバイスのボタンをテストする場合、ボタンが「ラジアルメニュー」または「起動」に設定されていると、ボタンを押すとその機能が実行します。このような場合、テストの前にボタンの機能を変更してください。



[ペンのテスト](#)  
[タッチホイールのテスト](#)  
[ファンクションキーのテスト](#)  
[マウスのテスト](#)

## ペンのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスの「入力デバイス情報」欄を見ながら、Intuos4 デバイスをタブレットの操作面から高さ 10mm を越えないように入れます。[「読み取り高さ」](#)「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」、「シリアル NO」の値が表示されます。複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で、デバイスをテストするタブレットが選択されていることを確認してください。

2. タブレットの面でペンを移動させます。X 座標と Y 座標のデータの値が、デバイスの位置を反映して変化します。

3. Intuos4 ペンのボタンをテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチを押したり、あるいは消しゴムをタブレットの上で押すと、タブレットのステータスランプが明るく点灯します。

- タブレット面をペン先でクリックします。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します。(筆圧は適用される圧力がない 0% から、すべての圧力が適用されるときの 100%まで変わります。)
- タブレットにペン先を押しあてずに、サイドスイッチを押します。「スイッチ」の状態が変わりません。  
(Intuos4 ペンに対して、サイドスイッチの両方のスイッチに対してこれを行います。)

ペン	ペン先 = 1 サイドスイッチ (下の位置) = 2 サイドスイッチ (上の位置) = 3 消しゴム = 1
----	---

エアブラシ	ペン先 = 1 サイドスイッチ = 2 消しゴム = 1
-------	------------------------------------

- タブレットにペンのテールスイッチ (消しゴム) を押しあてます。スイッチの状態と筆圧の値が変わります (筆圧は 0% から 100%まで変わります)。
  - エアブラシについて、奥にホイールを回します。ホイールを奥へ完全に回すと、およそ 0 の値にまで減少します。ホイールを手前に回します。ホイールの値は、手前に完全に回すと、およそ 1000 まで増加します。
4. ペンを垂直位置から右方向へ傾けて、X 軸に対する傾きをテストします。X の「傾き」の値は、およそ 0 から + 60 まで変わります。ペンを垂直位置から左方向へ傾けます。X の「傾き」の値は、およそ 0 から - 60 まで変わります。
5. ペンを垂直位置からタブレットの手前に傾けて、Y 軸に対する傾きをテストします。Y の「傾き」の値は、およそ 0 から + 60 まで変わります。ペンを垂直位置からタブレットの向こう側へ傾けます。Y の「傾き」の値は、およそ 0 から - 60 まで変わります。
6. アートペンをテストする場合、垂直にペンを持ち、ペン軸の周辺を回転させることによりペンの回転をテストします。「回転」の値が変化します。
7. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを終了します。

## タッチホイールのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、タッチホイールをテストします。「タブレット情報」欄をご覧ください。複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄にテストするタブレットが選択されていることを確認します。
2. タッチホイールの周りを一周するように指を滑らせます。タッチホイールに触れて、指先を滑らせるように動かすと、「タッチホイール」に対する現在の指の位置が数値で示されます。
3. タッチホイールの切り替えボタンを押して、カスタマイズされた4つの機能を切り替えます。設定を切り替えるたびに、対応するランプが点灯します。

補足：タッチホイール機能に「スキップ」が設定された場合、対応するLEDはタッチホイール機能の切り替え順から飛ばされます。

4. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。

**重要：**アプリケーションによっては、タッチホイールの設定が無効になったり、制御される場合があります。タッチホイールのテストを行うときは、コントロールパネル以外のアプリケーションを終了させるとよいでしょう。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたアプリケーションを使う](#)をご覧ください。

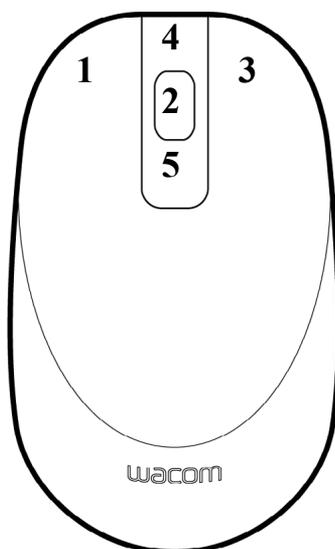
## ファンクションキーのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、各ファンクションキーをテストします。「タブレット情報」欄をご覧ください。複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄にテストするタブレットが選択されていることを確認します。
2. ファンクションキーを1つずつ押して、テストします。キーを押すと、「左側キー」カテゴリのとなり番号が表示されます。
3. タブレット上でも、ファンクションキーに対応するアイコンが表示されるか確認してください。
4. 終了後、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。

**重要：**アプリケーションによっては、ファンクションキーの設定が無効になったり、制御される場合があります。ファンクションキーのテストを行うときは、コントロールパネル以外のアプリケーションを終了させるとよいでしょう。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたアプリケーションを使う](#)をご覧ください。

## マウスのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いた状態で、Intuos4 マウスをタブレットの操作面に置きます。各ボタンをクリックして、ボタンをテストします。タブレットのステータスランプが明るく点灯し、ボタンをそれぞれクリックすると、「スイッチ」の状態が変わります。



2. 「診断」ダイアログボックスを開くと、「ホイール」の状態は0です。ホイールを手前に回します。「ホイール」の状態は0から+1に変わります。
3. ホイールを奥へ回します。「ホイール」の状態は-1に変わります。
4. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。

## トラブルシューティング情報

タブレット、または入力デバイスで問題が生じた場合、次の表を参照してください。問題が説明され、解決策が提供されていたら、試してください。または、「Read Me」ファイルを参照してください。最新の情報が記載されています。

問題のより詳細な情報については、ワコムのホームページをご覧ください。  
<http://tablet.wacom.co.jp/support>

### [一般の問題](#)

#### [Windows の問題](#)

#### [Macintosh の問題](#)

### 一般の問題

タブレットのステータスランプが点灯しない。ペン、マウス、タッチホイールの切り替えボタンをタブレット上で使用しても、ランプが点灯しない。	<p>タブレットの USB 接続ケーブルがタブレットに正しく接続されているか、有効な USB ポートに接続されているか確認してください。</p> <p>タブレットの USB 接続ケーブルがコンピュータ本体の USB ポートに接続されていることを確認してください。</p>
タブレットを接続した後、USB デバイスを動作させるのに必要な電力が不足していることを示すメッセージが表示される。	タブレットが、コンピュータ本体の USB ポートに接続されていることをご確認ください。
ペンを使ってタッチホイールを操作できない。	タッチホイールは指で操作してください。ペンでは操作できません。
ペンがマウスモードでのみ動作する。筆圧感触を使用して線が描けない。	<p>タブレットドライバがインストールされていないか、または適切に読み込まれていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• タブレットドライバがインストールされていて、コントロールパネルが開けるか確認して下さい。またインストールされている場合、設定ファイルユーティティを削除して下さい。</li> <li>• タブレットドライバがインストールされていない場合は、タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD-ROM に挿入し、タブレットドライバをインストールします。</li> </ul>
ペンが筆圧を検出しない。	アプリケーションによっては筆圧機能をオンにすることが必要なものもあります。または、ペンの前に選択したツールが筆圧検出ツールとして反応することがあります。
クリックが利かない。	「ペン先の感触」を柔らかくしてください。 <a href="#">(ペン先の感触とダブルクリックの調整</a> をご覧ください。)





ペン先でダブルクリックが利かない。

- サイドスイッチでダブルクリックして頂くことをお勧めします。[クリック](#)をご覧ください。
- タブレットの操作面の同じ場所を2回、速くたたいていることを確認してください。
- ペン先の「ダブルクリック距離」を大きくします。[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください。
- 「ペン先の感触」を柔らかく設定します。[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください。
- ファンクションキーの1つを「ダブルクリック」に設定して、ダブルクリックを実行します。
- **Windows:**1回のクリックでプログラムが起動するように設定します。[クリック](#)をご覧ください。

ペンがあらゆるものを選択して、止まらない。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「硬い」ほうへ移動させます。あるいは、「詳細設定」を選択して「クリック圧」の設定を大きくします。芯の抜き差しもおこなって下さい。これで効果がない場合、[入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。または[カスタマーサポートセンター](#)へご連絡ください。

消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。

コントロールパネルを開いて、「テールスイッチ (消しゴム)」タブを選択します。「消しゴムの感触」スライダを「硬い」ほうへ移動させます。あるいは、「詳細設定」を選択して「クリック圧」の設定を大きくします。これで効果がない場合は、[入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。または[カスタマーサポートセンター](#)へご連絡ください。

ペンのストロークやブラシストロークの開始が遅れる。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を少なくしてください。( [ペン先の感触とダブルクリックの調整](#) をご覧ください。 ) 動作しない場合、「OFF」位置へ「ダブルクリック距離」のスライダをドラッグして「ダブルクリックアシスト」をオフにします。

クリックしたり描画したり、文字を書く場合、ペンを強く押さなければならない。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」のスライダを「柔らかい」へ移動させます。また、「詳細設定」を選択して、「筆圧感度」と「クリック圧」の設定を減少させます。

ペン先が利かない。

- 必ずペンタブレットに付属のペン、またはオプションのペンを使用して下さい。それ以外のペンは Intuos4 タブレットで正しく機能しない場合があります。
- ペン先を押したとき、ステータスランプが明るく点灯することを確認してください。明るくならない場合、タブレット本体に問題があるかもしれません。( [入力デバイスのテスト](#) をご覧ください。 )
- コントロールパネルの「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。

入力デバイスに対して機能の設定を変更しても反映されていない。

使用中のデバイスとアプリケーションに対して、設定が変更されているか確認してください。[複数デバイスでの作業と特定のアプリケーションに対する設定](#)をご覧ください。





ペンのサイドスイッチが利かない。

必ずペンタブレットに付属のペン、またはオプションのペンを使用して下さい。それ以外のペンは Intuos4 タブレットで正しく機能しない場合があります。

タブレットの操作面から 10mm 以内にペン先が近づいたとき、サイドスイッチを押しているか確認してください。ペン先でタブレットを押さずにこれを行ってください。

コントロールパネルで、サイドスイッチが、使用中のアプリケーションと入力デバイスで実行する機能に設定されていることを確認してください。

「サイドスイッチエキスパートモード」も確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先をタブレット表面にタッチさせる必要があります。(サイドスイッチのカスタマイズをご覧ください。)

サイドスイッチを押すと、タブレットのステータスランプが明るく点灯することを確認してください。変わらない場合、タブレット本体に問題があるかもしれません。(入力デバイスのテストをご覧ください。)

画面のポインタがジャンプして引き戻される。

Intuos4 デバイスを使用しないとき、または他のデバイスを利用しているとき、Intuos4 デバイスをタブレットの上に置かないでください。タブレットの上に置いたままにして、通常のマウスなどを利用すると、画面のポインタの位置決めができなくなる場合があります。

ポインタが画面上の思う位置に移動しない。またはペイントアプリケーションで、描いた線とポインタの位置が合わない。

コントロールパネルを開いて、「マッピング」タブを指定します。「ペン」モードが選択され、選択したデバイスとアプリケーションに対して「表示エリア」が「操作面全体」に設定されていることを確認してください。効果がない場合、「標準設定」ボタンをクリックして、画面のマッピングにタブレットを回復します。それでも効果がない場合、タブレットの設定ファイルを削除してください。(次の項目をご覧ください。)





タブレットの設定ファイルが壊れている。

または、設定ファイルを標準設定の状態にもどす。

次のようにしてタブレットの設定ファイルを削除します。:

**Windows** : 「スタート」メニューをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。次に「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。ダイアログボックスから、「この設定ファイルを削除」ボタンをクリックして、ログインユーザーの設定ファイルを削除します。Windows Vista や XP 上の複数のユーザーの設定ファイルを削除するには「全ての設定ファイルを削除」ボタンをクリックします。すべてのユーザーの設定ファイルを削除するには、administrator 権限が必要です。実行中の、現在開いているタブレット用アプリケーションを再起動してください。

**Macintosh** : 「アプリケーション」フォルダを開きます。次に、「ワコムタブレット」フォルダを開いて、「ワコムタブレットの削除」ユーティリティを実行します。ユーティリティを起動して、「全ての設定ファイルを削除」ボタンをクリックします。タブレットドライバは再起動され、新しい設定ファイルを標準設定で作成します。

**補足** : 「Wacom Tablet.Preference」ファイルを「ライブラリ」フォルダの「PreferencePanels」フォルダから手動で削除しないでください。このファイルは、タブレットドライバをアンインストールする場合と、今後「ワコムタブレットの削除」ユーティリティを使用する場合にのみ削除されます。

コンピュータが節電モードにならない。

Intuos4 入力デバイスを使用しない場合、タブレットの上にデバイスを置いたままにしないでください。置いたままにすると、タブレットはデータを送り続け、コンピュータは節電モードにはなりません。

画面のポインタが揺れたり、飛び回ったりする。

まれに、タブレットはコンピュータディスプレイやラジオ局から電磁波の影響を受ける場合があります。ディスプレイからの電磁波による影響に気付いた場合、タブレットをディスプレイから少なくとも 30cm ほど離してみてください。あるいは、ディスプレイのリフレッシュレートまたは解像度を変更してください。





マルチディスプレイで Intuos4 を使用している場合、他のディスプレイ上でポインタが操作できない。

ファンクションキーの1つが「マッピング画面切り替え」に設定されていて、そのボタンを誤って操作した可能性があります。詳細については[マッピング画面切り替えを使う](#)をご覧ください。

「マッピング」タブの「表示エリア」が「最大」に設定されていることを確認してください。

マウスモードで、ペンで他のディスプレイを操作することもできます。マウスモードにするには、初めにサイドスイッチを「ペン⇄マウスモード」に設定します。次に、スイッチを使ってペンモードとマウスモードを切替えます。

アプリケーションによっては、ファンクションキーやタッチホイールがコントロールパネルの設定と異なる動作をする。

アプリケーションによっては、ファンクションキーやタッチホイールの設定が無効になったり制御されることがあります。

- ファンクションキーの設定がアプリケーションによって無効にされた場合は、ファンクションディスプレイに新たな機能名称か、または「アプリケーションの設定に従う」と表示されます。
- [タブレットコントロールができる処理が組み込まれたアプリケーションを使う](#)をご覧ください。

特定のアプリケーションに対する設定を利用している場合は、目的のアプリケーションに対して設定を行ったかどうか確認してください。

コントロールパネルから「タブレットの向き」を設定したにも関わらず、ログイン画面で設定したのとは違う向きで動作する。

タブレットドライバ CD-ROM からタブレットドライバを再インストールし、タブレットの向きの初期設定を変更してください。詳細については、[タブレットの向きを設定する](#)をご覧ください。

## Windows の問題

コンピュータのマウスコントロールパネルの右手と左手の設定を変更した後、ペン先が適切に機能しなくなり、Intuos4 マウスのボタン機能が反転する。

Intuos4 入力デバイスの設定を正しく認識させるには、Windows を再起動させます。



## Macintosh の問題

コンピュータを起動すると、ドライバの読み込みに失敗したか、あるいはタブレットの設定ファイルがまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示される。

タブレットが、起動時に検出されませんでした。USB 接続ケーブルがタブレットに正しく接続されているか、コンピュータ本体の有効な USB ポートに接続されているか確認してください。また、タブレットのステータスランプが点灯しているかも確認してください。タブレットが電源の入った USB ハブに接続されている場合、ハブが接続されていて有効であることを確認してください。

「移動」メニューから、「ユーティリティ」フォルダを選択して「システムプロファイラ」を起動します。「内容」一覧の「ハードウェア」から「USB」を選択します。ワコム USB タブレットがリストに表示されます。表示されない場合、USB 接続ケーブルの接続を確認するか、あるいはタブレットを別の USB ポートに接続してみてください。

問題が解決しない場合、「ユーティリティ」フォルダに移動して、「ディスクユーティリティ」プログラムを開きます。「First Aid」タブから「ディスクのアクセス権を修復」を実行します。これで解決しない場合は、ワコムのテクニカルサポートに連絡してください。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。

Inkwell (インクウェル) が、Intuos4 で正しく動作しない。

Inkwell (インクウェル) に問題があるかもしれません。次のようにして、損傷した設定ファイルを削除します。手書き入力認識が有効な場合、設定ファイルは再作成されます。

1. 「システム環境設定」画面を開き、「すべてを表示」を選び、「Ink」を選択します。次に「手書き認識」を「切」にします。
2. 「移動」メニューから、「ホーム」を選択します。「ライブラリ」を開いて、「Preferences」フォルダを開きます。次の「設定」を削除します。
  - com.apple.ink.framework.plist
  - com.apple.ink.inkpad.plist
  - com.apple.ink.inkpad.sketch
3. 再度、「システム環境設定」→「Ink」を選択します。「手書き認識」を「入」にします。
4. ワコムタブレットとペンを使って、Inkwell (インクウェル) 機能をテストします。

この処理で Inkwell (インクウェル) の問題が解決されずに、さらにサポートが必要な場合はアップルコンピュータに連絡してください。

## テクニカルサポート

ペンタブレットに問題がある場合、初めにクイックスタートガイドを読んで、正しくインストールされていることを確認してください。次に、[トラブルシューティング](#)の処理を見直してください。

このマニュアルの中に解決法が見つからない場合、「Read Me」ファイル（ワコムタブレット CD にあります）に、問題に関する最新情報が記載されていることがあります。ワコムのホームページの製品 FAQ（よくある質問）もチェックしてください。

インターネットが接続できる場合は、ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードすることができます。[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。

問題が解決せず、ワコムタブレットが適切に動作しないと思われる場合、ワコムカスタマーサポートに連絡してください。連絡先については、付属の「Intuos4 クイックスタートガイド」をご覧ください。

電話によるサポートを受ける場合、次の情報を用意してください。

- 本書
- ペンタブレットのシリアルとモデル番号（タブレット本体の背面をご覧ください）
- ドライバのバージョン（タブレットドライバ CD-ROM をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」ボタンをクリックしてください。）
- コンピュータの製造元と型式、およびオペレーティングシステムのバージョン
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生した時に使用していたソフトウェアアプリケーションとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生した時に起こったことをどう処置したか
- どのように問題を解決しようとしたか

## ドライバのダウンロード

ワコムは新しい製品との互換性を維持するために、定期的にタブレットドライバを更新します。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用可能な場合）は、ワコムのホームページからダウンロードすることができます。

ワコムのホームページ： <http://tablet.wacom.co.jp/support>

## 付録

このセクションでは、タブレットとデバイスのお手入れ、タブレットドライバのアンインストール、ライセンスと保証などに関する情報とヒントを説明しています。

### [タブレットと入力デバイスのお手入れ](#)

#### [芯を交換する](#)

#### [タブレットドライバのアンインストール](#)

#### [タブレットモードの変更](#)

#### [複数タブレットの設置](#)

#### [オプション設定](#)

#### [ファンクションディスプレイの最適化](#)

#### [タブレットコントロールができる処理が組み込まれたアプリケーションを使う](#)

#### [エアブラシとアートペンを使う](#)

#### [Intuos4 レンズカーソル](#)

#### [AutoCAD での作業](#)

#### [Windows Vista でのペンおよびデジタルインク入力機能](#)

#### [製品仕様](#)

#### [製品情報](#)

#### [部品と付属品の注文](#)

#### [利用可能な部品と付属品](#)

#### [安全上のご注意](#)

## タブレットと入力デバイスのお手入れ

Intuos4 入力デバイスとタブレットは清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりは、タブレットの表面を傷つけます。柔らかい布を水や刺激の少ない石けん水で濡らし、固く絞って、定期的にタブレットを拭いてください。タブレット、ペン、マウスなどを長い期間ご利用いただくことができます。水で薄めた刺激の少ないせっけんを使用して、布を湿らせることもできます。アルコール、シンナー、あるいはベンゼンのような揮発性の液体は、プラスチックケースを傷めますので使用しないでください。

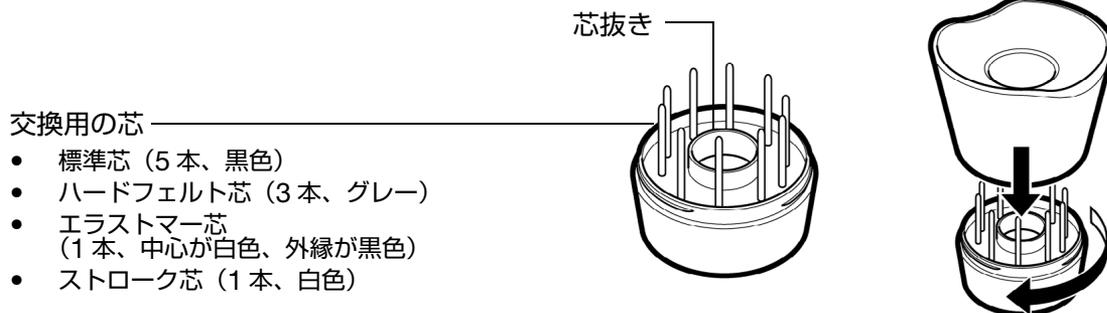
タブレットを清潔に、涼しい場所で、極端な温度変化を避けて保管してください。Intuos4 入力デバイスとタブレットは分解しないでください。ペンを強くねじると、ペンが壊れる可能性があります。製品を分解すると、保証が無効になります。

**重要：**タブレットや入力デバイスに液体をこぼさないように注意してください。タブレットのファンクションキーやタッチホイール、ペンのスイッチを濡らさないよう、特に注意してください。液体が入ると故障するデリケートな電子部品が入っています。

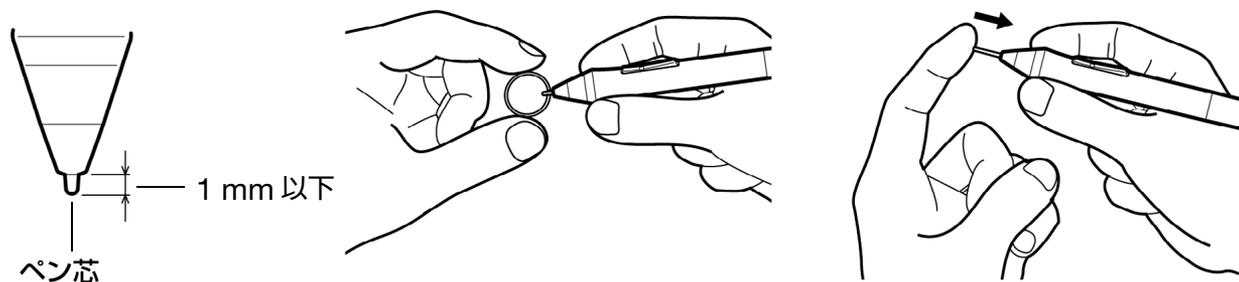
## 芯を交換する

ペン芯は、使っていく間に磨り減っていきます。過度な力を加えると、より早く磨耗します。芯が短くなりすぎたり（約1mm以下）、平らになったら交換してください。

1. ペンスタンドの底部分を回して外し、芯抜きと交換用の芯を取り出します。



2. 芯抜き、ピンセットなどで芯を挟んで、ペンからまっすぐに引き抜きます。



3. 新しい芯の先を、止まるまで差し込んでください。

補足：ストローク芯はバネ荷重で、Intuos4 ペン、あるいはエアブラシで作業するときに感触の良さが加わります。ストローク芯は、標準のペン芯と同じ方法で取り付けることができます。

**警告：**子供がペン芯やサイドスイッチを飲み込まないようにご注意ください。

交換部品の注文については、[利用可能な部品と付属品](#)をご覧ください。

**重要：**ペンを使用していない間は、ペンスタンドに置くか、あるいは机の上に横にして置いてください。オプション品のエアブラシを使用していない間は、机の上に横にして置いてください。ペン先を止めるような入れ物に入れて、保管しないでください。ペン先を押し込んだ状態でペンを収納すると、ペンが故障する場合があります。

## タブレットドライバのアンインストール

タブレットとタブレットドライバをシステムから削除するには、以下の方法で行ってください。

**重要：**タブレットドライバをシステムからアンインストールすると、ペンタブレットのタブレット機能は動作しませんが、マウスとしては機能します。

**Windows Vista (64 ビット版を含む) :** 「スタート」 ボタンをクリックして、コントロールパネルを選択します。コントロールパネルから「プログラムと機能」を選択します。ダイアログボックスから「ワコムタブレット」 オプションを選択します。「アンインストール」 ボタンをクリックして、画面の指示に従い、タブレットドライバを削除します。

**Windows XP (64 ビット版を含む) :**

「スタート」 をクリックして、「スタート」 メニューから「コントロールパネル」 を選択します。次に、「プログラムの追加と削除」を選択します。「プログラムの追加と削除」 ウィンドウで、「ワコムタブレット」 を選択して「削除」 ボタンをクリックします。画面の指示に従い、タブレットドライバを削除します。ドライバが削除されたら、タブレットをコンピュータからはずします。

**Macintosh :**

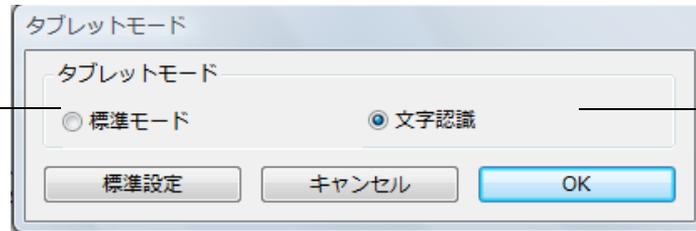
「Finder」 の「移動」 メニューから「アプリケーション」 を選択して、「ワコムタブレット」 フォルダを開きます。「タブレットドライバの削除」 アイコンをダブルクリックして、「タブレットドライバの削除」 ボタンを選択します。「ユーザー名」と「パスワード」 を入力します。削除が終了したら、「OK」 をクリックします。コンピュータからタブレットをはずします。

**補足：**パスワードとは Mac のログインパスワードです。

## タブレットモードの変更

コントロールパネルの「タブレット」リストで、タブレットアイコンをダブルクリックして、「タブレットモード」ダイアログボックスを表示させます。「タブレットモード」の設定は、すべてのデバイスとアプリケーションに適用します。

グラフィックアプリケーションで推奨します。標準設定です。



最大のデータ速度です。手書き認識ソフトウェアが必要とされます。

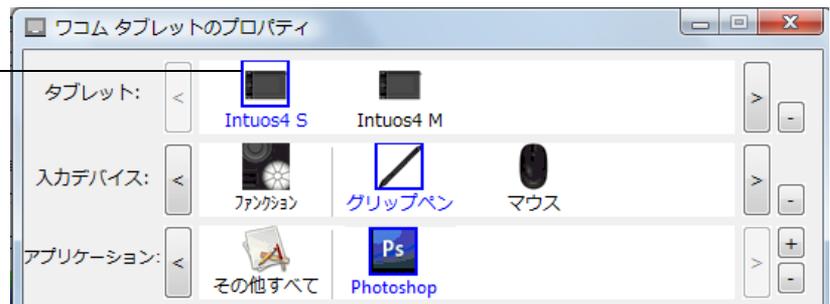
## 複数タブレットの設置

タブレットリストには、サポートされたタブレットでシステムに検出されたものがアイコンで表示されます。変更するタブレットを選択します。

新しいタブレットを追加するには、タブレットをコンピュータに接続します。

- USB タブレットに対して、システムは USB ポートを検索します。新しいタブレットが検出されると、自動的に初期化されます。
- 複数のタブレットが設置されていると、コントロールパネルを開くのに使用されるタブレットが、デフォルトのタブレットとして選択されます。

デバイスとアプリケーションをカスタマイズするタブレットのアイコンを選択します。



**重要：**複数のタブレットを Windows システムに追加する場合、追加されたタブレットではアプリケーションによって消しゴムが機能しない場合があります。最初にコントロールパネルに設置されたタブレットでは、正しく機能します。

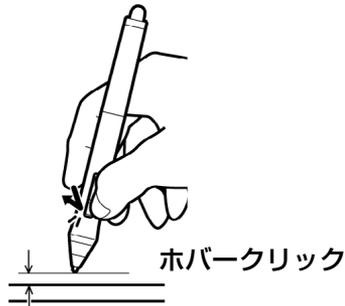
ドライバから複数あるタブレットのうちの1つを削除するには：コントロールパネルで、削除するタブレットを選択します。「タブレット」リストのとなりにある「-」ボタンをクリックします。タブレットをドライバに再度追加するには、先にコンピュータを再起動する必要があります。ご注意ください。

## オプション設定

「オプション設定」ダイアログを表示するには、コントロールパネルで「オプション」ボタンを押します。

「サイドスイッチエキスパートモード」欄では、右クリックや他のクリック機能を実行する際の操作方法を変えることができます。

- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合：ペンをタブレット面から少し浮かせた状態でサイドスイッチをクリックします。



- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合：正確なクリック位置を決めることが可能です。クリック操作を行うには、サイドスイッチを押しながら、ペン先をタブレット表面にタッチさせます。

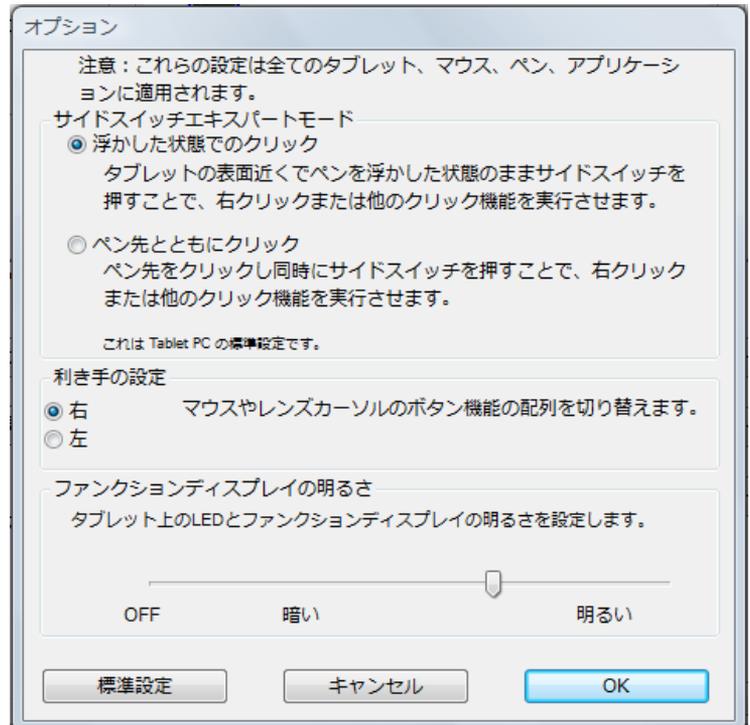


「利き手の設定」欄では、Intuos4 マウスやレンズカーソルを右手、または左手で使えるように、ボタンの向きを変更します。

「ファンクションディスプレイの明るさ」欄では、接続されたすべてのタブレット上にあるタッチホイールのステータスランプや、ファンクションディスプレイの明るさを設定することができます。スライダが左端にあるときは、タッチホイールのステータスランプが暗くなり、ファンクションディスプレイは消灯します。[ファンクションディスプレイの最適化](#)もご覧ください。

補足：タブレットの省電力モードでは、タッチホイールのステータスランプやファンクションディスプレイの明るさは次のように変化します。

3 分間操作無し：	低輝度
6 分間操作無し：	ファンクションディスプレイは消灯、 タッチホイールのステータスランプは低輝度
操作有り：	設定した明るさに戻る





## ファンクションディスプレイの最適化

ペンタブレットのファンクションディスプレイは、有機発光ダイオード(OLED)を使用しています。ディスプレイは、高度な性能を長時間維持できるように設計されていますが、ピクセルは長い間点灯し続けると、いつか明るさは低下していきます。これらの影響から、他のピクセルの明るさを最小限に抑えるには、「ファンクションディスプレイの明るさ」オプションで、アイコンの表示に十分な明るさのレベルに合わせます。詳細は[オプション設定](#)をご覧ください。

補足：3分間入力が行われない場合、ペンタブレットの消費電力機能により、ファンクションディスプレイは自動的に明るさが低下します。ペンタブレットが6分間操作されない場合、ディスプレイの電源はオフになります。

## タブレットコントロールができる処理が組み込まれたアプリケーションを使う

ソフトウェアアプリケーションによっては、ペンタブレットのファンクションキーまたはタッチホイール機能を直接操作するように設計されているものがあります。この処理を組み込んだアプリケーションで作業をおこなう場合、ファンクションキーまたはタッチホイールは、ワコムタブレットコントロールパネルで設定されている機能とは異なる動きをすることがあります。

- ファンクションキーの機能がアプリケーションによって書き換えられた場合、ファンクションディスプレイは自動的に更新され、新しい機能名か、または「アプリケーションの設定に従う」のいずれかが表示されます。アプリケーションによっては、ファンクションキーのいくつか、または全てがアプリケーションにより書き換えられることがあります。
- タッチホイールの機能がアプリケーションによって書き換えられた場合、すべてのタッチホイール機能がその影響を受けます。アプリケーションが4つのタッチホイール機能のうち1つ、2つまたは3つだけ変更されると、残りの機能はスキップされます。
- アプリケーションが実行中または画面の最前面にある場合のみ、このアプリケーションはファンクションキーあるいはタッチホイールの機能をコントロールします。そのアプリケーションを終了する（または作業するために別のアプリケーションのウィンドウ枠を選択する）と、ワコムタブレットコントロールパネルの設定は以前の状態に戻ります。
- 画面の最前面にあるアプリケーションに対して、ファンクションキーまたはタッチホイール機能の設定を確認するには、「設定内容の表示」にファンクションキーを設定してそのキーを押すと確認できます。

ワコムのペンタブレットの使用にあたり、このような処理を組み込んだアプリケーションは通常、この機能を選択しないか、または無効にすることができます。機能についての具体的な詳細、およびこの機能をカスタマイズしたり、無効にする方法についてはアプリケーションで提供される取扱説明書をご覧ください。

アプリケーション操作時に表示される説明、またはアプリケーションの取扱説明書に、この機能を無効にする方法が記載されていない場合、ワコムタブレットコントロールパネルを使って、特定のアプリケーションに対する設定を作成し、統合化されたアプリケーションの動作に優先させることができます。

特定のアプリケーションに対する設定を作成するための情報については、[特定のアプリケーションに対する設定](#)をご覧ください。

**重要：**特定のアプリケーションに対する設定を組み込みアプリケーションで作成した場合、「アプリケーションの設定に従う」をファンクションキーまたはタッチホイールに設定すると、組み込みアプリケーションによってこれらの機能がコントロールされます。



## エアブラシとアートペンを使う

オプション品の Intuos4 エアブラシはペンのように使うことができます。エアブラシにはホイールが付属しており、ホイールを使って、エアブラシの太さなどに変化を与えることができます。

ソフトウェアのサポートにより、エアブラシの写実的な描写がシミュレートできます。例えば、エアブラシを傾けると、スプレーパターンを長くしたりできます。ホイールを回転させると、スプレーの強さが調節でき、ペン先の筆圧により、ブラシのサイズがコントロールできます。

エアブラシを親指と中指で持ちます。人差し指で回転させやすい位置にホイールを配置します。筆圧を使用して、色を塗ったり、絵を描いたりしやすい位置までエアブラシを傾けます。

### サイドスイッチ

標準設定：

Windows: 「右クリック」

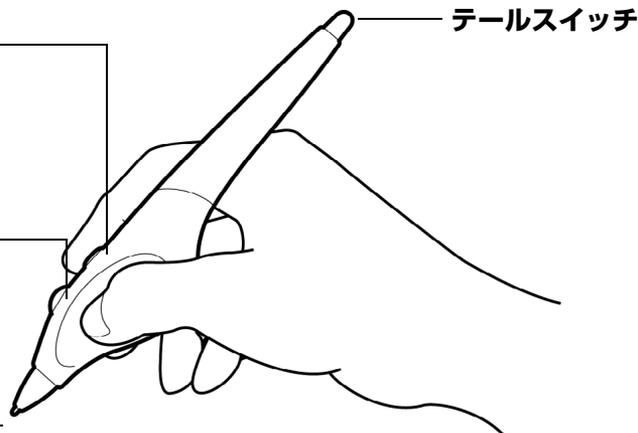
Macintosh: 「ダブルクリック」

### ホイール

手前に回転させると、インクの量またはブラシのサイズが大きくなり、奥へ回転させると小さくなります。

人差し指でホイールを操作します。ホイールはペン先に適する筆圧とは無関係に操作できます。

芯は交換可能です。



オプション品の Intuos4 アートペンは、ペンに与える筆圧、傾き、回転に対応します。

### サイドスイッチ

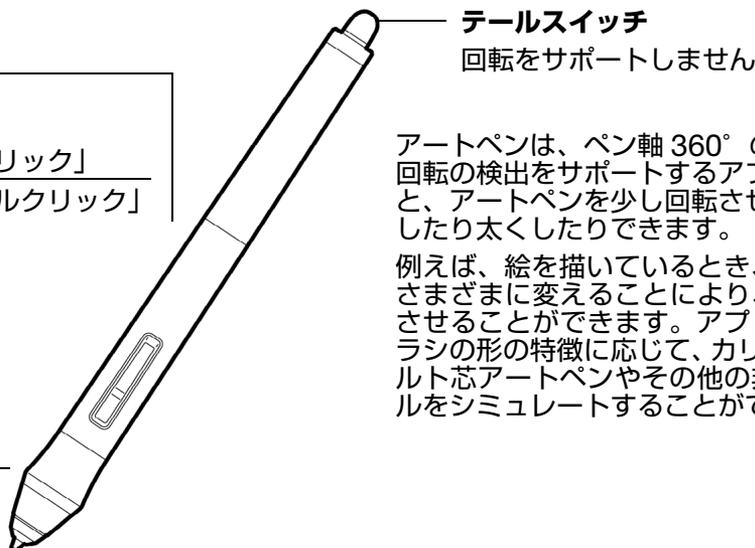
標準設定：

サイドスイッチ 「右クリック」

セカンド 「ダブルクリック」

サイドスイッチ

芯は交換可能です。



アートペンは、ペン軸 360° の回転をサポートします。回転の検出をサポートするアプリケーションで使用すると、アートペンを少し回転させるだけで、線の幅を狭くしたり太くしたりできます。

例えば、絵を描いているとき、非円形のブラシの回転をさまざまに変えることにより、ストロークの線幅を変化させることができます。アプリケーションで選択したブラシの形の特徴に応じて、カリグラフィペン、幅広のフェルト芯アートペンやその他の非円形のブラシまたはツールをシミュレートすることができます。

**重要：**エアブラシまたはアートペンを使用していないときは、机の上に横にして置いてください。入力デバイスの感度を保持するために、ペン先や消しゴムがあたるような入れ物などでは保存しないでください。また、タブレット上にペンやマウスを置いたままにすると、通常のマウスなどを使う場合、ポインタの位置決めができない場合があります。

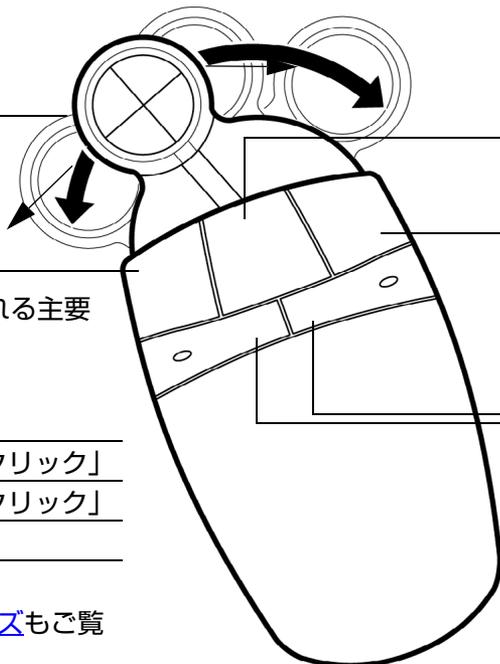
ワコムホームページで、エアブラシのホイール、アートペンの回転を現在サポートしているアプリケーションをご覧ください。

## Intuos4 レンズカーソル

レンズカーソルは座標位置を正確にコンピュータに知らせる理想的なデバイスです。Intuos4 L/XL タブレットで使うことができます。コンピュータにクロスヘアカーソルの位置を知らせ、グラフィックアプリケーションや CAD アプリケーションで図面をデジタイジングするのに特に役立ちます。

### レンズ

見やすい角度にレンズを回転させます。



### 中央ボタン

「中ボタンクリック」が実行されます。

### 右ボタン

押すと、コンテキストメニューが表示されます。

### 左奥/右奥ボタン

インターネットブラウザで、「戻る」機能と「進む」機能が設定されています。

### 左ボタン

「クリック」と選択に使用される主要なボタンです。

マウスボタンの初期設定：

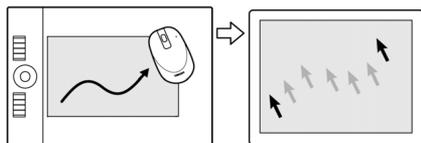
左ボタン：	「クリック」
右ボタン：	「右ボタンクリック」
中ボタン：	「中ボタンクリック」
左奥ボタン：	「戻る」
右奥ボタン：	「進む」

[レンズカーソルのカスタマイズ](#)もご覧ください。

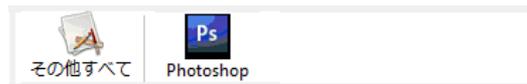
Intuos4 レンズカーソルの初期設定は「マウス」モードです。通常のマウスを使うように、画面上のポインタを移動させることができます。図面の電子化にレンズカーソルを使用する場合は、「ペン」モードに設定する必要があります。

**重要：** レンズカーソルを使用しない場合は、机の上に置いておきます。Intuos4 入力デバイスをタブレットの上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使用した場合、画面上のポインタの位置決めができないことがあります。

レンズカーソル、その他の Intuos4 入力デバイスのご購入については、[部品と付属品の注文](#)をご覧ください



### [「マウスモード」の設定](#)



### [特定のアプリケーションに対する設定](#)

## レンズカーソルのカスタマイズ

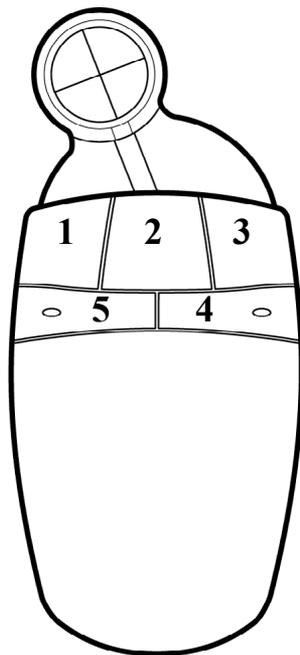
Intuos4 レンズカーソルボタンの設定を変更するには、レンズカーソルを使ってタブレットのコントロールパネルを開き、「マウス」タブを選択します。次に、各ボタンに対して実行する[ボタン機能](#)をプルダウンメニューから選択します。

レンズカーソルのボタンは、複数ボタンの同時押しが可能です。例えば、1つのボタンを [Ctrl] キーに、別のボタンを [Alt] キーストロークに設定した場合、両方のボタンを押すと、[Ctrl+Alt] が実行できます。

補足：左手で使用できるようにレンズカーソルを設定するには、必要に応じて、再度ボタン機能を割り当てます。

## レンズカーソルの診断

1. 「診断」ダイアログボックスを開いて、タブレットの入力エリアに Intuos4 レンズカーソルを置きます。各ボタンをクリックすることによりボタンをテストします。タブレットのステータスランプの色が明るく点灯して、スイッチの状態がクリックした各ボタンに応じて変わります。



2. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

## AutoCAD での作業

Intuos4 タブレットは、Windows システムのポインティング・デバイス、あるいは Wintab と互換性のあるデジタイザとして AutoCAD でサポートされています。初期設定で、AutoCAD ではシステムポインティングデバイスとして Intuos4 が使用できるように設定されています。タブレットメニューがある Intuos4 を使用して、正確な縮尺で図面を電子化する場合、以下の手順に従ってください。

補足：AutoCAD あるいは類似するアプリケーションで左手で使用するようレンズカーソルあるいはマウスを構成するには、タブレットのコントロールパネルを開いて、「オプション」をクリックし、「利き手の設定」で「左」を選択します。

[Wintab と互換性のあるデジタイザに対する AutoCAD の設定](#)

[AutoCAD におけるタブレットメニューとスクリーンポインティングエリアの設定](#)

[AutoCAD での Intuos4 の位置調整](#)

## Wintab と互換性のあるデジタイザに対する AutoCAD の設定

1. AutoCAD を起動します。「ツール」メニューを開き、「オプション」を選択します。
2. 「オプション」ウィンドウから「システム」タブを選択します。
3. 「現在使用中のポインティングデバイス」で、「オプション」を選択します。
4. AutoCAD がどのデバイスからの入力を受けかを決めます。「入力の受け入れ」セクションからオプションを選択します。
  - 「デジタイザのみ」AutoCAD 図面には、Intuos4 からだけ入力できます。
  - 「デジタイザとマウス」AutoCAD 図面には Intuos4 と通常のマウスの両方から入力できます。
5. 「OK」をクリックして「オプション」ウィンドウを閉じます。

## AutoCAD におけるタブレットメニューとスクリーンポインティングエリアの設定

システムポインタが操作できるタブレット上の長方形のエリアがスクリーンポインティングエリアです。スクリーンポインティングエリアの中では、AutoCAD の作図エリア外にあるウィンドウやメニューやその他のアプリケーションに対して操作することができます。固定またはフローティングスクリーンポインティングエリアの設定も可能です。

タブレットの設定を行う前は、タブレット有効エリア全体が固定スクリーンポインティングエリアに設定されています。AutoCAD アプリケーションは、タブレット上の小さなエリアがディスプレイスクリーンにマッピングされるよう固定スクリーンポインティングエリアのサイズを変更することを推奨しています。さらにそれが提供するデフォルトタブレットメニューや行、列を設定することを薦めています。

タブレットメニューの設定後、AutoCAD は固定あるいはフローティングスクリーンポインティングエリアの設定を促します。これにより、タブレットのエリアをウィンドウズシステムのポインタとして設定することができます。

固定スクリーンポインティングエリアは、タブレットモードをオンにして AutoCAD でポイントをタブレットから入力しているときは使うことができません。これはタブレットと AutoCAD の作図エリアが 1 対 1 で対応しているからです。タブレットからメニューを利用するには、フローティングスクリーンポインティングエリアを使用する必要があります。これにより、タブレット操作面のどこからでもメニューにアクセスして、終了したらオフに切り替えることができます。ツールボタンをフローティングスクリーンエリアのオンとオフを切り替えるようにも定義できます。

**重要：フローティングスクリーンポインティングエリアは、メニューエリア、「タブレットモードオン」、固定スクリーンポインティングエリアより優先されます。**

1. AutoCAD 図面から「ツール」メニューを開きます (Release13 では「Option」メニュー)。
2. 「タブレット設定」、次に「メニューエリア設定」を選択します。
3. タブレットメニューエリアを定義します。AutoCAD 図面の下にコマンドウィンドウが表示されます。タブレットメニューの番号 (0-4) を入力して、「Enter」を押します。メニューテンプレートを使用しない場合は「0」を入力します。メニューエリアの左上隅、左下隅、右下隅をデジタイズして「Enter」を押します。次に、列の番号を入力して「Enter」を押します。行の番号を入力して「Enter」を押します。各メニューエリアに対して繰り返します。
4. 固定スクリーンポインティングエリアを定義します。初期設定では、タブレット全体が固定スクリーンポインティングエリアです。メニューテンプレートを使用する場合、テンプレートに合うように固定スクリーンポインティングエリアを再度指定します。AutoCAD 図面画面下のコマンドウィンドウのメッセージに従ってください。
5. フローティングスクリーンポインティングエリアを定義します。それにより、画面のエリアすべてにアクセスできます。フローティングスクリーンポインティングエリアは、「タブレットモードオン」、固定スクリーンポインティングエリア、メニューエリアより優先されます。AutoCAD 図面画面下のコマンドウィンドウのメッセージに従います。

詳細は、AutoCAD のユーザーガイド等を参照してください。

## AutoCAD での Intuos4 の位置調整

Intuos4 を使って、図面をデジタル入力する場合、その図面の座標系にあわせて、Intuos4 の位置調整を行う必要があります。位置調整後は、図面上のポインティング位置が正しくデジタル入力され、図面に反映されます。

1. 図面から、「ツール」メニューを開きます。(Release13 の場合「Option」メニュー)
2. 「タブレット設定」と「位置合わせ」オプションを選びます。
  - 紙図面上のポイント #1 をタブレット上から入力（クリック）します。次に入力したポイントに紙図面からの xy 座標を入力します。
  - 紙図面上のポイント #2 をタブレット上から入力（クリック）します。次に入力したポイントに紙図面からの xy 座標を入力します。
  - 必要に応じて複数のポイントを電子化します。4つ以上のポイントをとった場合、AutoCAD がもっとも適切な射影変換を計算するのに予想以上に時間がかかることがあります。
3. 終了したら「Enter」を押します。

Intuos4 がデジタイザとして設定され、調整されたら、Intuos4 をデジタイザとして使用するかまたは Windows システムポインタとして使用するかを「Ctrl」+「T」を使って切替えることができます。



## Windows Vista でのペンおよびデジタルインク入力機能

Microsoft Windows Vista (Home Basic を除く) では、ペン入力をサポートしています。Windows Vista (Home Basic を除く) が稼働するコンピュータと、Intuos4 を組み合わせることで Windows Vista のペン入力機能を最大限に活用することができます。さらに Windows Vista、Office2007、Intuos4 を組み合わせることで、効果的な書類作成やプレゼンテーション、コミュニケーションを可能にします。

- **手書き文字認識機能** Windows Vista の「手書き文字認識機能」は、ペンタブレットで書いた手書き文字を、素早くテキストに変換する機能。クセ字を学習する高性能な手書き認識エンジンも搭載され、書いた文字を正確に認識します。Tablet PC 入力パネルの使い方については、[Windows Vista Tablet PC 入力パネルについて](#)をご覧ください。
- **ジェスチャー機能** タブレット上でペンを動かすだけで、パソコン操作を可能にする「ペンフリック」機能を備えています。上下左右斜めの 8 方向へのペンの動きにショートカットなどを設定でき、キーボードを使わずに簡単操作ができます。
- **手書きメモ作成機能** Windows Vista の「Windows Journal」をペンタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書き込むことができます。
- **Office 2007 デジタルインク機能** 「2007 Microsoft Office system」の各アプリケーション (Word・Excel・PowerPoint・Outlook) では、ペンタブレットを接続することで、ペンによる手書き文字や図形などを自在に書き込めるデジタルインク機能が使用できます。ファイル上での手書き校正などが可能になります。

補足：描画パフォーマンスを向上させ、Windows Vista で発生する誤ったダブルクリックを最小限に抑えるために、次の回避策がペンタブレットドライバでとられています。

- Wintab API を使用するほとんどのグラフィックアプリケーションで、Windows Vista のペンフリックおよびプレスアンドホールドは、無効になります。
- Windows Vista の「ペンと入力デバイス」コントロールパネルで、ペンフリックおよびプレスアンドホールドの両方の機能を無効にして、Windows Journal や他の Windows Vista のインク機能で描画する場合、筆圧が無効になります。



## Windows Vista Tablet PC 入力パネルについて

入力パネルによって、Intuos4 を使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力することができます。以下のいずれかの方法で入力パネルを起動することができます。

- 画面のポインタがテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右クリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

入力パネルのカスタマイズは以下の手順で行います。

1. 初めに、入力パネルを開いて、メニューバーの「ツール」をクリックします。
2. 「オプション」を選択して、入力パネルオプション・ダイアログボックスを開きます。
3. 作業しやすいように、入力パネルの設定をカスタマイズします。

Microsoft Windows Vista および Office 2007 については、システムおよび Microsoft Office アプリケーションに付属の資料を参照ください。

Windows Vista での活用方法については、ワコムのウェブサイト [www.wacom.co.jp/vista](http://www.wacom.co.jp/vista) もご覧ください。

## 製品仕様

### Intuos4 タブレット共通の仕様

縦横比	16 : 10
読取分解能	200lpmm
読取精度 (ペン)	+/- 0.25 mm
読取精度 (マウス)	+/- 0.5 mm
読取精度 (レンズカーソル)	+/-0.15mm (Intuos4 XL), +/-0.25mm (Intuos4 L)
傾き検出角度 (すべてのペン)	+/- 50° (Intuos4 S) / +/- 60° (Intuos4 M/L/XL)
読取可能高さ	10 mm
読取速度	最高 200 ポイント / 秒
ファンクションキーストローク	約 0.25 mm
インタフェース準拠規格	USB
コネクタ	Intuos4 S/M/L : USB mini-B タイプ (USB mini-B - A の USB 接続ケーブル付属) Intuos4 XL : USB A タイプ
ケーブル長さ	約 2.5m
電源電圧 / 消費電流	5V / 300 mA 以下 コンピュータの USB ポートから供給
使用環境	温度 : 5 ~ 40 °C 保管温度 : -20 ~ 60 °C 湿度 : 30 ~ 80% (結露がないこと) 保管湿度 : 30 ~ 85% (結露がないこと)
適合規格	FCC class B, CE, VCCI Class B, BSMI, C-Tick, MIC, GOST-R, Industry Canada Class B, RoHS, Chinese RoHS

### Intuos4 S (PTK-440) タブレット

読取可能範囲 (W x D)	157.5 x 98.4 mm
外形寸法 (W x D x H)	約 309 x 208 x 12 mm
質量	約 700 g

### Intuos4 M (PTK-640) タブレット

読取可能範囲 (W x D)	223.5 x 139.7 mm
ファンクションディスプレイ	64 x 128 ドット (x2), 白色
外形寸法 (W x D x H)	約 370 x 254 x 12 mm
質量	約 1000 g

## Intuos4 L (PTK-840) タブレット

読取可能範囲 (W x D)	325.1 x 203.2 mm
ファンクションディスプレイ	64 x 128 ドット (x2), 白色
外形寸法 (W x D x H)	約 474 x 320 x 14 mm
質量	約 1800g

## Intuos4 XL (PTK-1240) タブレット

読取可能範囲 (W x D)	487.7 x 304.8mm
ファンクションディスプレイ	64 x 128 ドット (x2), 白色
外形寸法 (W x D x H)	約 623 x 462 x 28mm
質量	約 3500g

## Intuos4 グリップペン (KP-501E)

ペン先の動作ストローク	約 0.2 mm 以下
筆圧レベル	2048 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 1.5 mm
外形寸法 (L x D)	156.5 x 14.9 mm
質量	約 18 g

## Intuos4 エアブラシ (KP-400E)

ペン先の動作ストローク	0.2 mm 以下
ホイールの回転ストローク	10 mm
ホイールの回転検出レベル	約 1024 レベル
筆圧レベル	2048 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 1.5 mm
外形寸法 (L x W x D)	162.5 x 17.5 x 32.5 mm
質量	約 23 g

エアブラシはオプション品です。

## Intuos4 インクペン (KP-130)

ペン先の動作ストローク	0.2 mm 以下
筆圧レベル	2048 レベル
外形寸法 (L x D)	151.5 x 12.5 mm
質量	約 12 g

インクペンはオプション品です。

## Intuos4 アートペン (KP-701E)

ペン先の動作ストローク	0.2 mm 以下
筆圧レベル	2048 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 1.5 mm
回転機能	360 度
外形寸法 (L x D)	156.3 x 15.9 mm
質量	約 20 g

アートペンはオプション品です。

## Intuos4 クラシックペン (KP-300E)

ペン先の動作ストローク	0.2 mm 以下
筆圧レベル	2048 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 1.5 mm
外形寸法 (L x D)	150.7 x 12.2 mm
質量	約 12 g

クラシックペンはオプション品です。

## Intuos4 マウス (KC-100)

外形寸法 (L x D x H)	102.9 x 61.8 x 38.6 mm
質量	約 83 g
ボタンの動作ストローク	約 1.3 mm 以下
ホイールのタイプ	回転式、1周 24 ピッチ

マウスはオプション品です。

## Intuos4 レンズカーソル (KC-210)

外形寸法 (L x D x H)	159 x 66 x 33.8 mm
質量	約 75 g
ボタンの動作ストローク	約 1.3 mm 以下

レンズカーソルはオプション品です。Intuos4 XL (PTK-1240) タブレットで使うことができます。

ワコムのタブレット製品は、欧州連合 RoHS 指令 (2002/95/EC) に対応しています。

## 製品情報

筆圧、傾き、消しゴムなどの Intuos4 の機能をサポートするアプリケーションソフトウェアについてはワコムのホームページをご覧ください。 <http://tablet.wacom.co.jp/>

## 部品と付属品の注文

Intuos4 はクリエイティブな仕事に携わる方に最適なデバイスです。Intuos4 グリップペンやその他のオプションデバイスを組み合わせ、イラスト作成や画像編集を行うことができます。Intuos4 グリップペンやオプションデバイスにはそれぞれ固有のデバイス ID が書き込まれ、それぞれに設定を記憶することも可能です。Intuos4 の機能を最大限に使いこなすために以下の[利用可能な部品と付属品](#)もご覧ください。これらのオプションデバイスやその他部品を購入するには、ワコムホームページをご覧ください。  
<http://tablet.wacom.co.jp>

### 利用可能な部品と付属品



**Intuos4 グリップペン (KP-501E)** : 消しゴム機能付き筆圧ペン。筆圧と傾きを検出します。ペンは電池レスでコードレスでメンテナンスフリーで幅広い用途を持つグリップペン。マウス操作はもちろんのこと描画作業や細かい作業に最適な Intuos4 の標準的なデバイスです。テールスイッチや2つのサイドスイッチにはショートカットやキーの割り当てが可能です。エルゴノミクスデザインで握りやすいラバーグリップが自然な描画を実現します。



**Intuos4 マウス (KC-100)** : Intuos4 マウスは電池レスでコードレスでメンテナンスフリー。5つのボタンを備えたマウスは通常のマウス作業がタブレット上で行える理想的なマウスデバイスです。中央部には中ボタンと上下のスクロールに便利な回転ホイールが装備されており、ボタンにはそれぞれ様々なキーストロークやショートカットなどの割り当てが可能です。



**Intuos4 エアブラシ (KP-400E)** : [Intuos4 エアブラシ](#) は筆圧検出、消しゴム機能だけでなくホイール機能を搭載したペンです。アナログのエアブラシの感覚をそのままに作業を行うことができます。



**Intuos4 インクペン (KP-130)** : インクペンは筆圧と傾きを検出します。インクペンはコンピュータ画面だけでなく紙に描かれたものをすぐに提供できるようにと作成されました。インクペンには、黒のボールペン芯と、インクを使わずに描画するための2つのポリアセタールの芯が付属しています。インクペンには筆圧を検出するペン先が備わっていますが、消しゴムとサイドスイッチはありません。

補足：インクペンを購入すると、ポリアセタールの芯が付属しています。ペン先をピンセットなどを使用して、空のペン先をペンからそっと引き抜きます。次に、インクペンに付属する銀色のボールペン芯を挿入します。ボールペン芯のペン先はワックスコートされています。インクを出し始める前に剥がしてください。



**Intuos4 アートペン (KP-701E)** : Intuos4 アートペンは筆圧、傾き検出と回転機能に対応したペンです。ペン軸の回転を検出することによりカリグラフィブラシやアナログのマーカーのような描写を実現します。幅広いニブを装備したペン先描く感覚はアナログのマーカーそのものです。



**Intuos4 クラシックペン (KP-300E)** : Intuos4 グリップペンと同じ機能を持つペン軸の細いペンです。



**Intuos4 レンズカーソル (KC-210)** : Intuos4 XL (PTK-1240) タブレットで使用可能です。レンズカーソルは、正確な座標位置を入力するデバイスです。図面のトレースやデジタル化、CAD 処理、ベクトル設計などの正確な座標情報の入力が必要なアプリケーションにとっては、最適なデバイスです。レンズは、作業中、左から右へと使いやすい位置へ移動させることができます。

	種類	型番
	ラバーグリップ (サイドスイッチ用穴有り)	PHO-A229
	ラバーグリップ、サイドスイッチ用穴無しで太めのグリップ	PHO-A234

注文については、[部品と付属品の注文](#)をご覧ください。

オプション品は、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」でお買い求めいただくことができます。

以下のホームページをご覧ください。

<http://tablet.wacom.co.jp/store/wacomclub/>

## 安全上のご注意

### 警告

タブレットや入力デバイスを子供の手の届く場所に置いたり放置したりしないでください。誤った使い方をすると、事故やけがの原因となることがあります。子供がペン芯やサイドスイッチを飲み込まないようにしてください。ペン芯、サイドスイッチ、またはその他の可動部品は、子供が噛んだりして偶然引き抜かれることがあります。ペン芯や替え芯、サイドスイッチ、ペンスタンドなどの小さな部品は、取り外され、誤って飲み込まれる場合があります。

高度な安全性や信頼性が要求される設備の制御システムには使用しない。他の電子装置に影響を与えたり、他の電子装置から影響を受けて誤動作することがあります。

電子機器の使用が禁止されている場所・場合では、タブレットの電源を切ってください。航空機内など電子機器の使用が禁止されている場所・場合では、タブレットが他の電子機器に影響を与える可能性があります。コンピュータから USB ケーブルを抜いて、タブレットの電源を切ってください。

タブレットや入力デバイスを分解しないでください。タブレットや入力デバイスを分解、改造しないでください。発熱、発火、感電、けがなどの原因となります。製品を分解した場合は、保証の対象外となります。

ケーブルの傷などにご注意ください。タブレットのケーブルが破れていたり、傷が付いていたりした場合は、故障、感電、火災の原因となることがあります。使用をやめて販売店またはワコムのカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

本製品に水や液体をこぼさないでください。タブレットや入力デバイスに液体をこぼさないようご注意ください。故障や感電の原因となります。水や液体をこぼしたときは、USB ケーブルを外してください。電源ケーブルがある場合は、電源ケーブルをコンセントから抜きます。コンピュータを終了し、タブレットとコンピュータをつなぐケーブルをすべて外してください。使用をやめて販売店またはワコムのカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

USB ポートやその他の開口部に異物を入れないでください。USB ポートやその他の開口部に金属片や異物が入ると、故障や発熱、感電の原因となることがあります。

### 注意

傾いた場所や台の上に本製品を置いたり、使用したりしないでください。ぐらついた場所や傾いた場所、振動する台の上などに本製品を置かないでください。落下して故障やけがの原因となります。

タブレットを拭くときは、USB ケーブルをコンピュータとタブレットから抜いて本機の電源を切ってください。コンピュータに接続したままタブレットを拭くと、感電の原因となることがあります。

#### ■ 不安定な場所には置かない

ぐらついたり傾いたりした場所、また振動の激しい場所に本製品を置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

#### ■ 重いものを置かない

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。故障の原因となることがあります。

#### ■ お手入れのときは USB コネクタを取り外す

お手入れのときは、USB コネクタをパソコンの USB ポートから取り外してください。感電の原因となることがあります。

#### ■ 温度が高すぎる場所や低すぎる場所に置かない

暑い場所 (40° 以上) や寒い場所 (5° 以下) に本製品を置かないでください。また、温度変化の激しい場所に置かないでください。本体や部品に悪影響を与え、故障の原因になります。

#### ■ アルコール、ベンゼン、アセトンなどの有機溶剤でタブレットやペンを拭かない

ヒビ割れが生じる場合があります。

#### ■ タブレットやペンを落下させない

故障の原因になります。

#### ■ ケーブルを持ってタブレットを持ち上げたり、引っ張ったりしない

故障の原因になります。

#### ■ 雷が近くに来ているときは使用を控え、電源を抜く

落雷により、故障、感電、火災の原因になります。

ペン、タブレットに関するその他の注意：

- ペン芯や消しゴム、サイドスイッチに過度に力を加えないでください。ペン芯の寿命を縮めたり、故障の原因となります。
- ゆがんだり、曲がったペン芯を使用すると、ペンが正しく動作しないことがあります。ペンを使用するときは過度な筆圧をかけないでください。
- ワコム製品以外のペン芯を使用すると、故障の原因となります。
- 使用中に金属物を本製品の上に置かないでください。障害、不具合、故障の原因となります。
- 付属の Intuos4 グリップペンで硬いものを叩かないでください。故障の原因になります。
- ペン先、テールスイッチおよびサイドスイッチに無理な力を加えないでください。ペンの寿命が短くなったり、故障の原因になります。
- ペン先、テールスイッチおよびサイドスイッチが押された状態で、保管しないでください。故障の原因になります。
- ペンに磁石や磁気を近づけないようにしてください。誤動作する場合があります。

## 用語

**画面のポインタ**：表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているアプリケーションにより、I型ポインタ、矢印、あるいはボックスなどさまざまな形に変わります。

**傾き感度**：デバイスが傾く角度を読み取るペン先と消しゴムの特性。これは、傾き対応のアプリケーションで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

**クイックポイント**：クイックポイントオプションは、タブレットを2つの独立した領域に分割します。描画のための大きな領域と、メニューを選択したり、機能を実行するクイックナビゲーションのための小さな領域です。

**クリック圧**：クリックする時、ペン先にかかる力の大きさ。

**消しゴム対応アプリケーション**：Intuos4の消しゴムがサポートされているソフトウェアアプリケーション。アプリケーションのサポートにもよりますが、別のかたちで消しゴムが利用されることがあります。

**修飾キー**：修飾キーには、Windowsでは[Shift]、[Alt]、[Ctrl]キーが、Macintoshでは、[shift]、[control]、[command]、[option]キーが含まれます。Intuos4デバイスを修飾キーをシミュレートするようにカスタマイズすることができます。

**縦横比**：タブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。

**芯**：ペン先で交換が可能な部分。

**操作エリア**：Intuos4デバイスが検出されるタブレットの描画領域。

**タッチホイール**：タブレット上にある、カスタマイズ可能なリング状の装置です。

**ダブルクリックアシスト**：ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単にするコントロールパネルの機能。

**ダブルクリック距離**：ペン先でダブルクリックするときに、2回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックはしやすくなりますが、グラフィックアプリケーションによっては、線の引き始めにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

**ダブルクリック速度**：ダブルクリックの2回目のクリックが1回目から遅れてもよい時間の設定。遅くするとペン先でダブルクリックはしやすくなりますが、グラフィックアプリケーションによっては、線の引き始めに「ダブルクリックの速度」で設定されている時間が過ぎるまで線が現れないことがあります。

**デジタルインク**：コンピュータへのペン入力で作成した手書きのコンテンツについての総称。この手書きのコンテンツには、画像、インク・マークアップ、手書きがあります。手書きのコンテンツは、キーボード入力されたテキストに変換するか、手書きのまま使用することができます。システムおよびアプリケーションの設定に応じて、デジタルインクによる手書きのテキストを書き終わった文字からすぐに変換することもできますし、最後にまとめて変換することもできます。

**デバイス ID**：Intuos4入力デバイスひとつひとつに書き込まれているID。ペンのタイプを認識するだけでなく、2つの同タイプのペンで作業する場合にも、タブレットは、各入力デバイスを個別に認識します。これは、ペンをカスタマイズする場合に特に役立ちます。





特定のアプリケーションに対する設定：アプリケーションごとに Intuos4 デバイスとタブレットの設定をカスタマイズします。コントロールパネルを使って、目的のアプリケーションで特別に機能するようにカスタマイズします。特定のアプリケーションに対する設定は、設定したアプリケーションを使用すると必ず実行されます。[特定のアプリケーションに対する設定](#)をご覧ください。

ピクセル：ディスプレイ画面上の最小の測定単位。

筆圧対応：筆圧の荷重を読み取るペン先と消しゴムの特性。これは、筆圧対応のアプリケーションで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

筆圧対応アプリケーション：筆圧をサポートするアプリケーション。

ファンクションキー：タブレット上にあるカスタマイズ可能なキーです。

ファンクションキーを左側：「タブレットの向き」の設定。タッチホイールとファンクションキーがタブレットの左側になります。

ファンクションキーを右側：「タブレットの向き」の設定。タッチホイールとファンクションキーがタブレットの右側になります。

ペンモード：ポインタの位置決めの方法。Intuos4 デバイスをタブレット上に置くと、画面のポインタは、画面上の対応点にジャンプします。これは絶対座標で、すべての Intuos4 ペンの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを見つける必要はなく、ポインタをすぐに配置させることができます。デスクトップを横切るようにポインタを移動させます。マウスモードもご覧ください。

ホイール：Intuos4 マウスとオプション品のエアブラシのコントロールホイール。

マウスの加速：Intuos4 デバイスがマウスモードのとき、ポインタの加速を調節することができます。

マウスモード：ポインタの位置決めの方法。Intuos4 デバイスをタブレット上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。

これは相対位置で、Intuos4 マウスと Intuos4 レンズカーソルの標準設定です。[ペンモード](#)もご覧ください。

マウス速度：Intuos4 デバイスがマウスモードのとき、ポインタのスピードを調節することができます。

マッピング：タブレット上の Intuos4 デバイスの位置とディスプレイ画面上のポインタの位置との関係。

マッピング画面切り替え：マルチディスプレイ全体、または 1 つのディスプレイを使って作業することができます。システムがマルチディスプレイで構成されている場合にお使いになれます。詳細については[マッピング画面切り替えを使う](#)をご覧ください。

読み取り高さ：Intuos4 デバイスが検出されるタブレットの[操作エリア](#)からの高さ。[ポインタの移動](#) もご覧ください。

ラジアルメニュー：円形の階層メニュー。各階層のメニューは 8 つの項目から構成され、オプション機能を設定することができます。メニューを表示するには、サイドスイッチに機能を割り当てます。



**Tablet PC 入力パネル**：Microsoft Windows Vista Tablet PC 入力パネルで、Intuos4 ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。入力パネルは、手書き文字をテキストに変換します。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。[Windows Vista でのペンおよびデジタルインク機能](#)をご覧ください。

**USB**：Universal Serial Bus。コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェースの基準。USB ポートはホットプラグをサポートし、これにより、コンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの取り外しができます。

**Windows Journal**：紙のメモ帳の電子版だが、デジタルノートだけの特長も備えた Microsoft Windows アプリケーション。例えば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal には、様々な Intuos4 ペンの消しゴムで動作する消しゴム機能が備えられています。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

**Wintab**：タブレットの情報を受け取る Windows アプリケーションによって使用されるインタフェースの基準。Intuos4は、Windows環境でWintabと互換性のあるアプリケーションをすべてサポートします。

# 索引

あ			
新しいデバイスを 「入力デバイス」リストに追加する	50		
新しい入力デバイスを追加する	50		
え			
エアブラシ ペン先の交換	69		
か			
カスタマイズ 消しゴムの感触 感触の詳細設定 サイドスイッチ ダブルクリック タブレットを画面にマッピングする ペン ペン先の感触 感触の詳細設定	29 29 30 28 36 27 28 29		
傾き 傾きを使った描画 画面を見ながらペンを使う	16 17		
き			
機能 コントロールパネル タブレット	25 8		
く			
クリックの方法	14		
け			
消しゴムで消す 消しゴムの感触のカスタマイズ 感触の詳細設定 消しゴムの感触をカスタマイズする	17 29 29		
こ			
コントロールパネル 概要 設定 タブ 開く リスト	25 26 26 24 26		
さ			
サイドスイッチのカスタマイズ サイドスイッチを使う 作業環境を整える	30 15 11		
し			
使用環境 芯の交換	68 69		
せ			
製品仕様 Intuos4 L (PTK-840) タブレット Intuos4 M (PTK-640) タブレット Intuos4 S (PTK-440) タブレット Intuos4 XL (PTK-1240) タブレット アートペン インクペン エアブラシ クラシックペン グリップペン タブレット共通 マウス レンズカーソル	82 83 82 82 83 84 83 83 84 84 83 82 84 84 84		
製品情報 設定 コントロールパネル 削除 設定の削除	84 26 53 53		
そ			
ソフトウェア ドライバダウンロード	67		
た			
縦横比を保持 ダブルクリックのカスタマイズ ダブルクリックの方法 タブレット 機能 タブレットを使って作業する テスト 保管 モードの変更 タブレットドライバ アンインストール タブレットドライバのアンインストール	39 28 14 8 19 55 68 71 70 70		
つ			
使う マウス	18		



て	テクニカルサポートの連絡先	66	へ	ペン	
	テスト			カスタマイズ	27
	タブレット	55		クリック	14
	入力デバイス	56		消しゴムを使う	17
	ペン	57		サイドスイッチを使う	15
	マウス	59		ダブルクリックする	14
と	特定のアプリケーションに対する設定			テスト	57
	削除する	53		ドラッグする	14
	作成する	52		描画	
	使用する	51		傾きを使う	16
	変更する	53		筆圧を使う	16
	ドライバダウンロード	67		ペン先の交換	69
	トラブルシューティング			ペンの持ち方	12
	Macintosh の問題	65		ペンを使う	12
	Windows の問題	64		ポインタの移動	13
	一般の問題	60		ペン先の感触のカスタマイズ	28
	情報	60		ペンでクリックする	14
	トラブルシューティングの Macintosh の問題	65		ペンでドラッグする	14
	トラブルシューティングの Windows の問題	64		ペン先の交換	69
	トラブルシューティングの一般の問題	60	ほ	ポインタの移動	13
に	入力デバイスとタブレットのお手入れ	68		本書について	5
	入力デバイスのテスト	56	ま		
	入力デバイスの持ち方			マウス	
	ペン	12		使う	18
	入力デバイスを使う			テスト	59
	ペン	12		マウスを使う	
	マウス	18		ホイールを使う	18
	マウスホイール	18		マウス、ホイール	
				マウス、マウスホイールを使う	18
ひ	筆圧を使って描く	16		マッピングのカスタマイズ	36
	描画		も		
	傾きを使う	16		モード	36
	筆圧を使う	16	よ		
ふ	複数タブレットのインストール	71		読み取り高さ	13
	部品と付属品				
	他の部品と付属品	85			
	注文	85			

このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください）。太枠内を記入してください。

お問い合わせ

FAX 送付先 : 03-5309-1514

修理依頼

受付 No. \_\_\_\_\_

発信	年	月	日
----	---	---	---

お客様	フリガナ		会社名	
	氏名		(学校名) ・所属部署	
	使用場所	会社(学校)・自宅		連絡先
	住所	〒 _____ ※修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。		
	E-mail :	_____		
TEL	( )	FAX	( )	

タブレット	型式	PTK-440, 640, 840, 1240		シリアル番号		
	タブレットドライバ	バージョン :				
	購入年月日	年	月	日		
使用環境	使用コンピュータ	メーカー :	機種名 :			
		モデム内蔵 Yes・No	使用 OS	(バージョン : )		
	使用アプリケーション	(バージョン : )				
	周辺機器など	種類	メーカー	機種名	接続ポート	
		他の USB 機器				
		USB ハブ				
		ディスプレイ				
ビデオカード						
その他						
内容	現象発生日	年	月	日		
	現象発生頻度	常時・ときどき (システム起動時・使用中・その他 : )				
	_____					

ここに記入されたお客様の個人情報は、お客様へのサポート、および修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。

## WACOM INTERNATIONAL OFFICES

### 株式会社ワコム

〒 349-1148  
埼玉県北埼玉郡大利根町豊野台 2 丁目 510 番地 1  
インターネット：  
<http://www.wacom.co.jp>  
カスタマーサポートセンター  
電話：0570-05-6000  
受付時間 平日 9:00 ~ 20:00  
土曜 10:00 ~ 17:00

### Wacom Technology Corporation

1311 S.E. Cardinal Court  
Vancouver, WA 98683  
U.S.A.  
Telephone  
General: +1.360.896.9833  
Fax: +1.360.896.9724

### Wacom China Corporation

1108 Block One, Kuntai International Bldg  
12 Chao Wai Street, Chao Yang District,  
Beijing, China 100020  
Telephone  
General: +86.10.5879.0880  
Fax: +86.10.5879.0102

### Wacom Australia Pty. Ltd.

Unit 8, Stage 1  
Cumberland Green  
2-8 South Street, Rydalmere  
NSW 2116 Australia  
Telephone  
General: +61.2.9422.6700  
Fax: +61.2.9420.2272

### Wacom Co., Ltd.

Asia Pacific Office  
Harmony Tower 21F, 1-32-2 Hon Cho,  
Nakano-Ku, Tokyo 164-0012  
Japan  
Telephone  
General: +81.3.5309.1513  
Fax: +81.3.5309.1514

### Wacom Europe GmbH

Europark Fichtenhain A9  
47807 Krefeld  
Germany  
Telephone  
General: +49.(0)2151.3614.0  
Fax: +49.(0)2151.3614.111

### Wacom Digital Solutions Co., Ltd.

Gangnam Telepia B/D 9th Fl, 662-18  
Yeoksam-dong, Gangnam-gu, Seoul, 135-080  
Korea  
Telephone  
General: +82.2.557.3894  
Fax: +82.2.557.3895

### Wacom Singapore Pte. Ltd. (Singapore)

3 Bishan Place,  
CPF Bishan Building #06-08  
Singapore 579838  
Telephone  
General: +65.6258.8640  
Fax: +65.6258.8697